

令和 6 年度食品等流通調査参考資料

【アンケート調査データ集】

令和 7 年 3 月

農林水産省

目 次

I アンケート調査の実施方法等	2
1. アンケート調査実施方法	
2. アンケート調査回答事業者数	
II アンケート調査票	2
III アンケート調査結果	3
1. アンケート回答事業者の属性	3
(1) 資本金額別規模構成比	
(2) 売上高規模別構成比	
(3) 従業員数規模別構成比	
(4) 本社所在地別構成比	
(5) 業種別構成比	
2. 食品等の取引の状況に関する調査の結果	12
(1) 価格転嫁に関する質問への回答	
(2) 物流に関する質問への回答	
(3) 商慣習の見直し及びデジタル化に関する質問への回答	
(4) 環境配慮に関する質問への回答	
3. 生鮮取引適正化ガイドラインフォローアップ調査の結果	77
(1) 生鮮取引適正化ガイドラインの定着状況に関する質問への回答	
(2) 取引シェア第1位の取引先との間の課題に関する質問への回答	
(別添) 令和6年度のアンケート調査票	99

I アンケート調査の実施方法等

1. アンケート調査実施方法

種類	対象事業者	発送方法	回収方法	調査期間
食品等の取引の 状況に関する調査 (取引状況調 査)	食品製造事業者	電子メール	WEB アンケートフォーム	令和6年9月30日～ 11月30日
	食品卸売事業者	電子メール 郵送	WEB アンケートフォーム	令和6年9月30日～ 11月30日
	小売事業者	電子メール	WEB アンケートフォーム	令和6年9月30日～ 11月30日
生鮮取引適正化 ガイドライン フォローアップ 調査	仲卸業者	電子メール	WEB アンケートフォーム	令和6年11月7日～ 12月9日
	小売事業者	電子メール	WEB アンケートフォーム	令和6年11月22日～ 12月23日

2. アンケート調査回答事業者数

取引状況調査			フォローアップ調査		合計
食品製造 事業者	食品卸売事業者	小売事業者	仲卸業者	小売事業者	
207	122	48	192	25	594

II アンケート調査票

別添のとおり。

Ⅲ アンケート調査結果

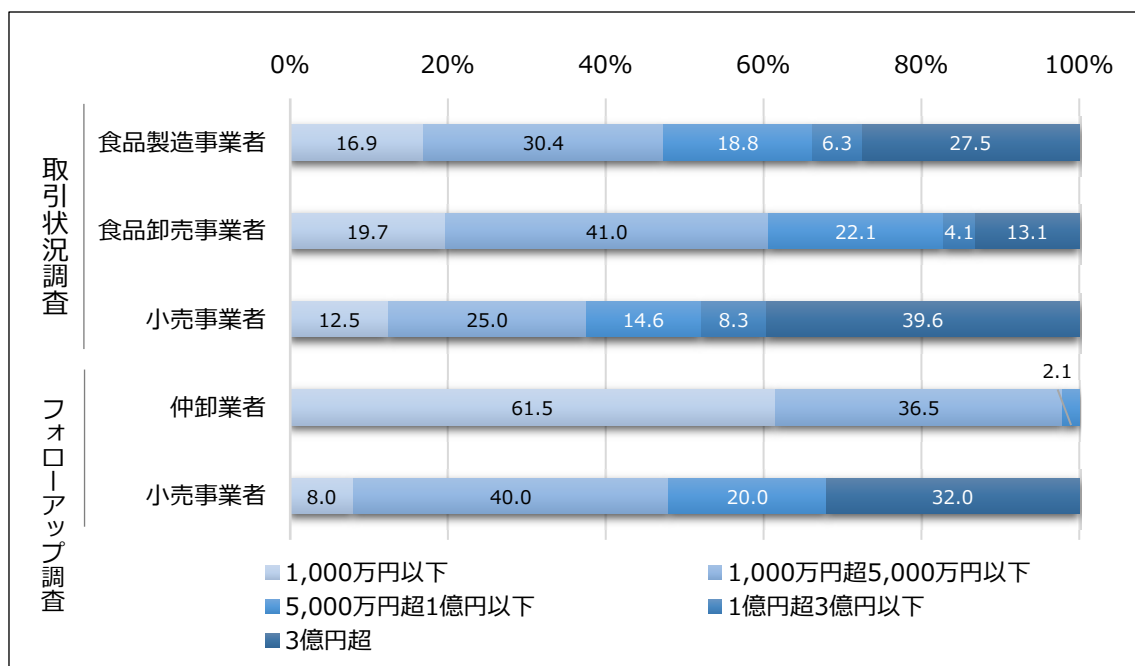
1. アンケート回答事業者の属性

(1) 資本金額規模別構成比

〔表 1 - 1〕 アンケート回答事業者の資本金額

		全体	取引状況調査			フォローアップ調査	
			製造	食品卸	小売	仲卸	小売
1,000 万円以下	回答数	185	35	24	6	118	2
	構成比 (%)	31.1	16.9	19.7	12.5	61.5	8.0
1,000 万円超 5,000 万円以下	回答数	205	63	50	12	70	10
	構成比 (%)	34.5	30.4	41.0	25.0	36.5	40.0
5,000 万円超 1 億円以下	回答数	82	39	27	7	4	5
	構成比 (%)	13.8	18.8	22.1	14.6	2.1	20.0
1 億円超 3 億円以下	回答数	22	13	5	4	0	0
	構成比 (%)	3.7	6.3	4.1	8.3	0.0	0.0
3 億円超	回答数	100	57	16	19	0	8
	構成比 (%)	16.8	27.5	13.1	39.6	0.0	32.0
合計		594	207	122	48	192	25

〔図 1 - 1〕 アンケート回答事業者の資本金額



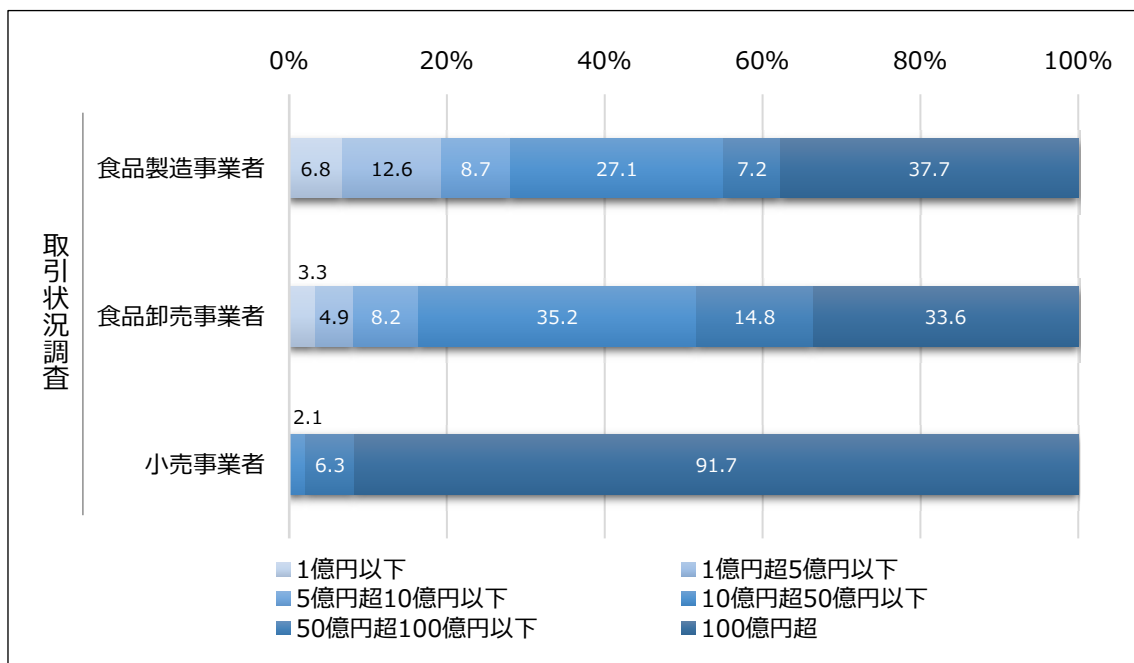
(2) 売上高規模別構成比

〔表 1 - 2〕 アンケート回答事業者の売上高

		全体	取引状況調査			フォローアップ調査	
			製造	食品卸	小売	仲卸	小売
1 億円以下	回答数	18	14	4	0		
	構成比 (%)	4.8	6.8	3.3	0.0		
1 億円超 5 億円以下	回答数	32	26	6	0		
	構成比 (%)	8.5	12.6	4.9	0.0		
5 億円超 10 億円以下	回答数	28	18	10	0		
	構成比 (%)	7.4	8.7	8.2	0.0		
10 億円超 50 億円以下	回答数	100	56	43	1		
	構成比 (%)	26.5	27.1	35.2	2.1		
50 億円超 100 億円以下	回答数	36	15	18	3		
	構成比 (%)	9.5	7.2	14.8	6.3		
100 億円超	回答数	163	78	41	44		
	構成比 (%)	43.2	37.7	33.6	91.7		
合計		377	207	122	48		

※ フォローアップ調査には設問なし。

〔図 1 - 2〕 アンケート回答事業者の売上高

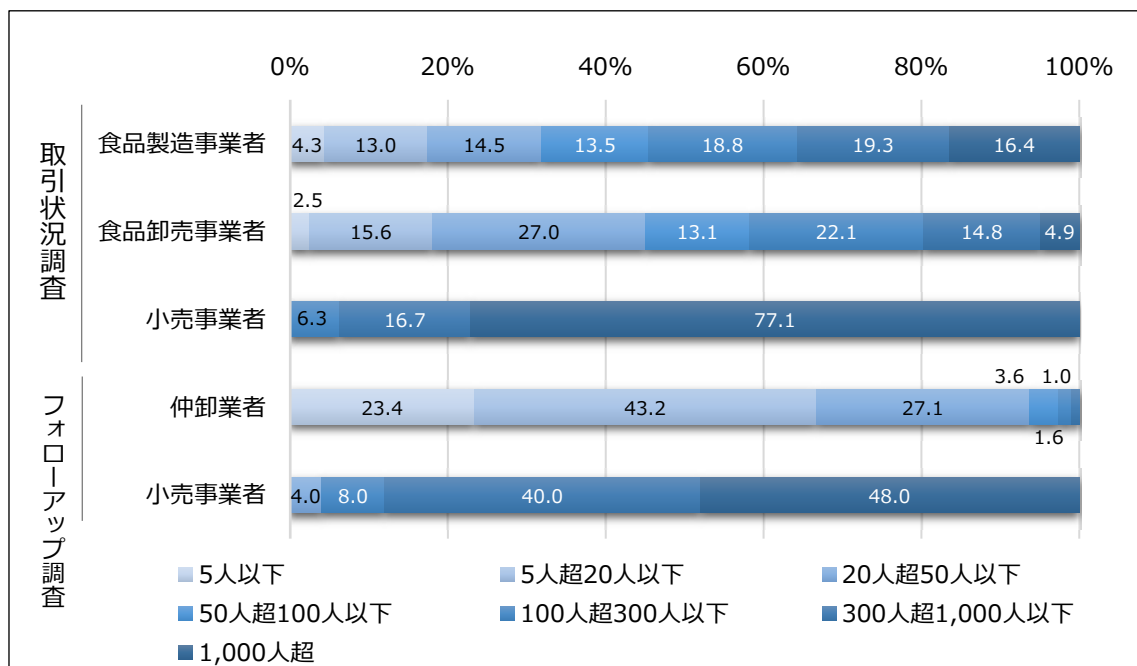


(3) 従業員数規模別構成比

[表 1 - 3] アンケート回答事業者の従業員数

		全体	取引状況調査			フォローアップ調査	
			製造	食品卸	小売	仲卸	小売
5 人以下	回答数	58	9	3	0	45	0
	構成比 (%)	9.8	4.3	2.5	0.0	23.4	0.0
5 人超 20 人以下	回答数	128	27	19	0	83	0
	構成比 (%)	21.5	13.0	15.6	0.0	43.2	0.0
20 人超 50 人以下	回答数	116	30	33	0	52	1
	構成比 (%)	19.5	14.5	27.0	0.0	27.1	4.0
50 人超 100 人以下	回答数	51	28	16	0	7	0
	構成比 (%)	8.6	13.5	13.1	0.0	3.6	0.0
100 人超 300 人以下	回答数	74	39	27	3	3	2
	構成比 (%)	12.5	18.8	22.1	6.3	1.6	8.0
300 人超 1,000 人以下	回答数	78	40	18	8	2	10
	構成比 (%)	13.1	19.3	14.8	16.7	1.0	40.0
1,000 人超	回答数	89	34	6	37	0	12
	構成比 (%)	15.0	16.4	4.9	77.1	0.0	48.0
合計		594	207	122	48	192	25

[図 1 - 3] アンケート回答事業者の従業員数



(4) 本社所在地別構成比

※ 各地域に含まれる都道府県は以下の通りである。

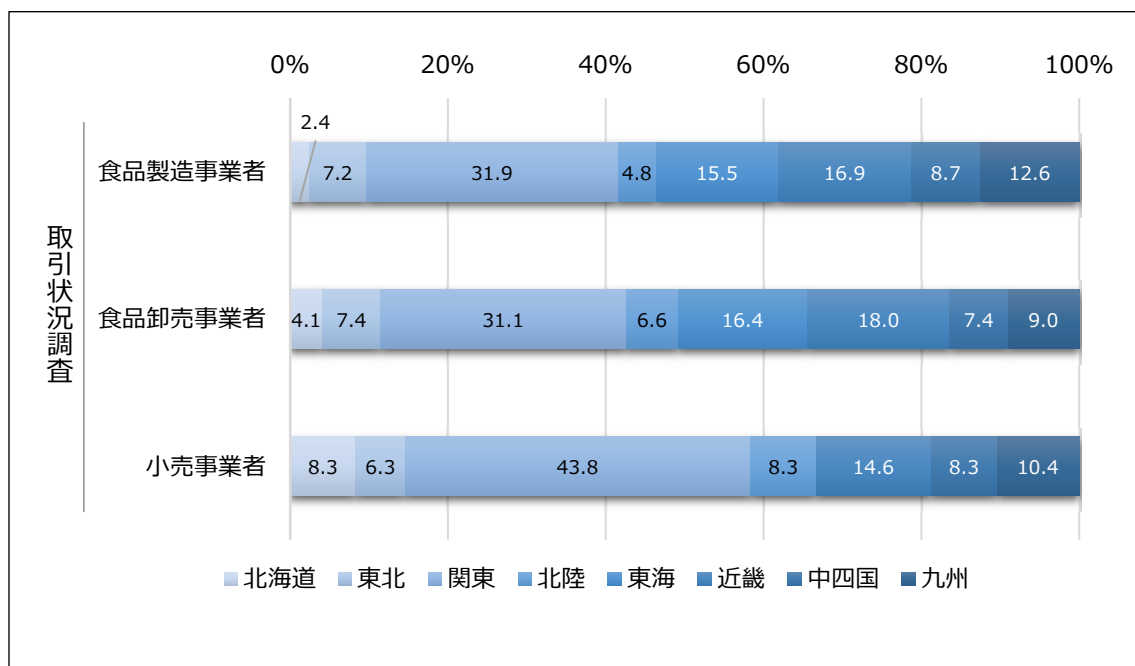
北海道 : 北海道
 東北 : 青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
 関東 : 茨城、栃木、群馬、山梨、長野、埼玉、千葉、東京、神奈川
 北陸 : 新潟、富山、石川、福井
 東海 : 岐阜、静岡、愛知、三重
 近畿 : 滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
 中四国 : 鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知
 九州 : 福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

[表1-4] 本社所在地別構成比

		全体	取引状況調査			フォローアップ調査	
			製造	食品卸	小売	仲卸	小売
北海道	回答数	14	5	5	4		
	構成比 (%)	3.7	2.4	4.1	8.3		
東北	回答数	27	15	9	3		
	構成比 (%)	7.2	7.2	7.4	6.3		
関東	回答数	125	66	38	21		
	構成比 (%)	33.2	31.9	31.1	43.8		
北陸	回答数	22	10	8	4		
	構成比 (%)	5.8	4.8	6.6	8.3		
東海	回答数	52	32	20	0		
	構成比 (%)	13.8	15.5	16.4	0.0		
近畿	回答数	64	35	22	7		
	構成比 (%)	17.0	16.9	18.0	14.6		
中四国	回答数	31	18	9	4		
	構成比 (%)	8.2	8.7	7.4	8.3		
九州	回答数	42	26	11	5		
	構成比 (%)	11.1	12.6	9.0	10.4		
合計		377	207	122	48		

※ フォローアップ調査には設問なし。

〔図 1 -4〕 本社所在地別構成比



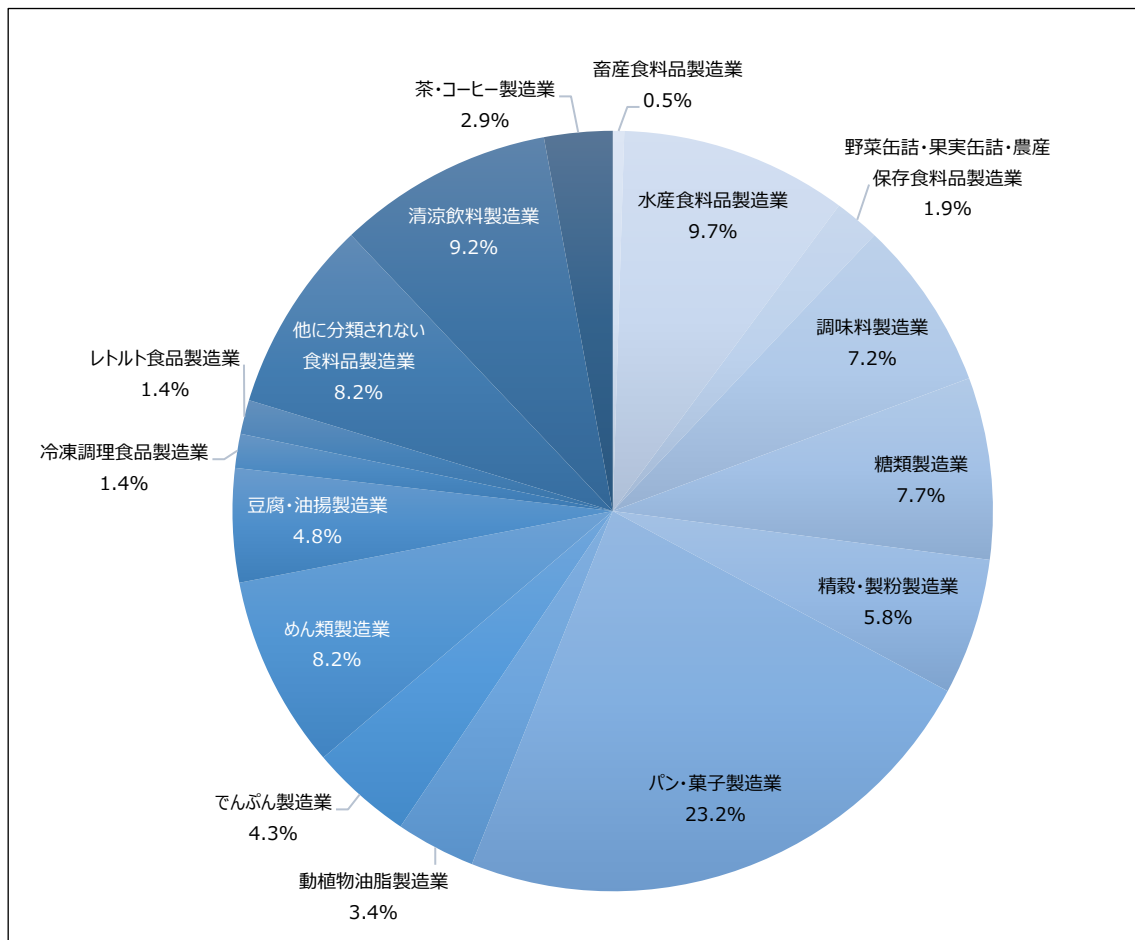
(5) 業種別構成比

① 食品製造事業者の業種別構成比（取引状況調査）

〔表 1 - 5 - 1〕 食品製造事業者の業種（取引状況調査）

	回答数	構成比 (%)
畜産食料品製造業	1	0.5
水産食料品製造業	20	9.7
野菜缶詰・果実缶詰・農産保存食料品製造業	4	1.9
調味料製造業	15	7.2
糖類製造業	16	7.7
精穀・製粉製造業	12	5.8
パン・菓子製造業	48	23.2
動植物油脂製造業	7	3.4
でんぷん製造業	9	4.3
めん類製造業	17	8.2
豆腐・油揚げ製造業	10	4.8
冷凍調理食品製造業	3	1.4
レトルト食品製造業	3	1.4
他に分類されない食料品製造業	17	8.2
清涼飲料製造業	19	9.2
酒類製造業	0	0.0
茶・コーヒー製造業	6	2.9
合計	207	100.0

〔図 1 - 5 - 1〕 食品製造事業者の業種（取引状況調査）



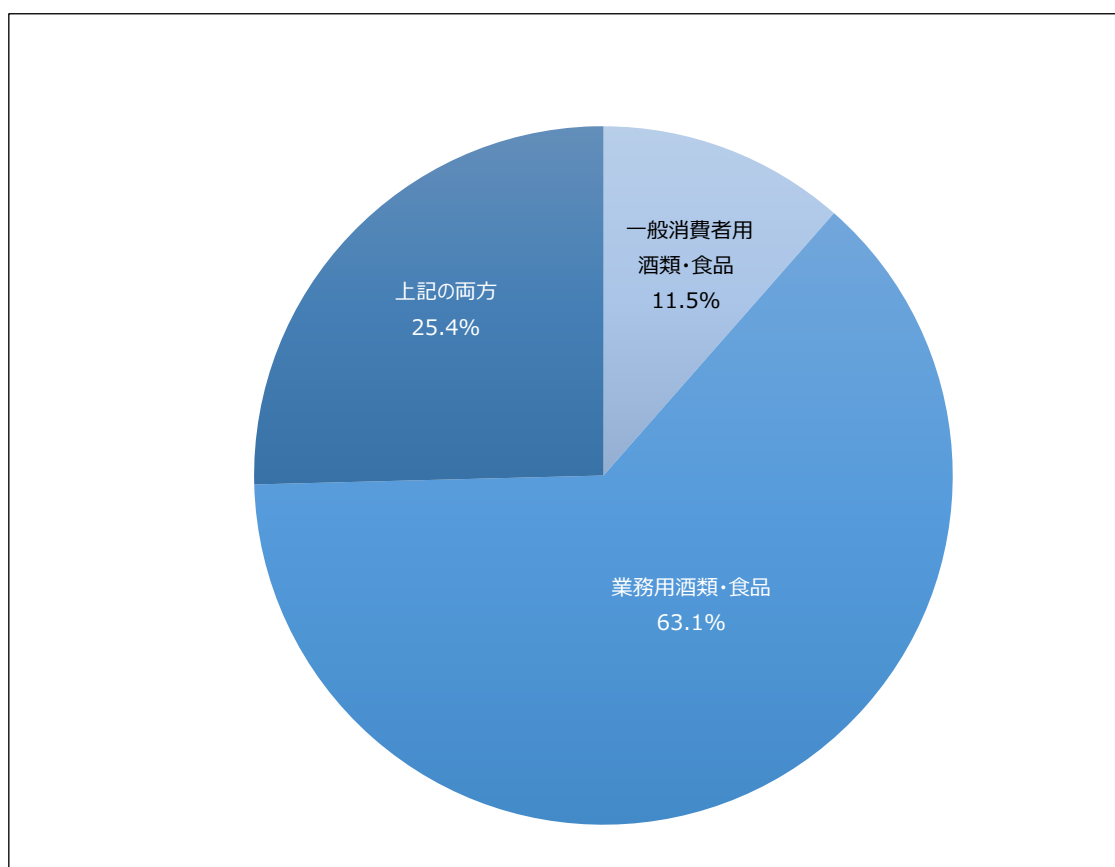
(5) 業種別構成比（続き）

② 食品卸売事業者の業種別構成比（取引状況調査）

〔表 1 - 5 - 2〕 食品卸売事業者の業種（取引状況調査）

	回答数	構成比（％）
一般消費者用酒類・食品	14	11.5
業務用酒類・食品	77	63.1
上記の両方	31	25.4
合計	122	100.0

〔図 1 - 5 - 2〕 食品卸売事業者の業種（取引状況調査）



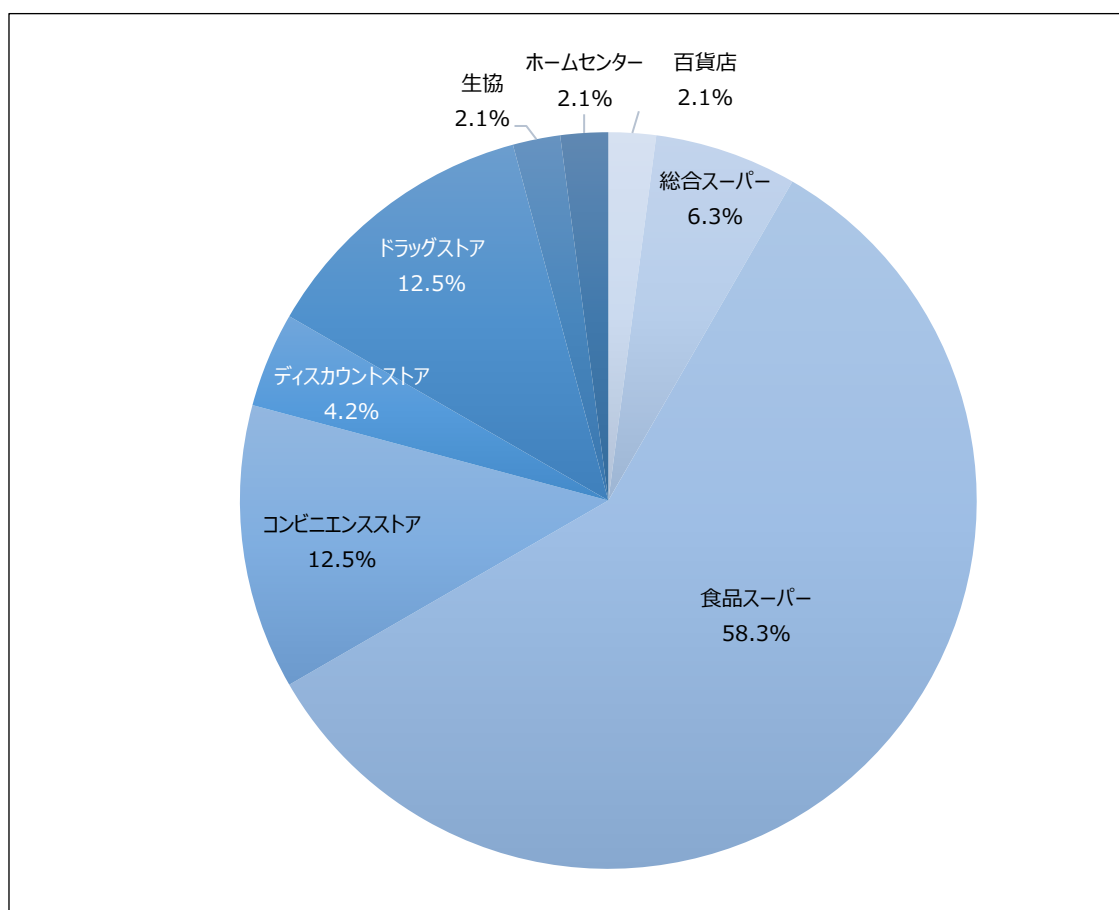
(5) 業種別構成比 (続き)

③ 小売事業者の業種別構成比 (取引状況調査)

[表 1-5-3] 小売事業者の業種 (取引状況調査)

	回答数	構成比 (%)
百貨店	1	2.1
総合スーパー	3	6.3
食品スーパー	28	58.3
コンビニエンスストア	6	12.5
ディスカウントストア	2	4.2
ドラッグストア	6	12.5
生協	1	2.1
ホームセンター	1	2.1
その他	0	0.0
合計	48	100.0

[図 1-5-3] 小売事業者の業種 (取引状況調査)



2. 食品等の取引の状況に関する調査

食品製造事業者、食品卸売事業者、小売事業者に対して、下記の質問を行った。

- (1) 価格転嫁に関する質問への回答・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
 - ① コスト転嫁の状況
 - ② 物流事業者からの運賃値上げの状況

- (2) 物流に関する質問への回答・・・・・・・・・・・・・・・・ 31
 - ① 小売事業者の物流センターの利用状況
 - ② パレット輸送の状況
 - ③ 荷待ちの状況
 - ④ トラック予約システムの整備状況

- (3) 商慣習の見直し及びデジタル化に関する質問への回答・・・・・・・・ 45
 - ① 納品期限指定の状況
 - ② リードタイムの設定状況
 - ③ デジタル化の状況

- (4) 環境配慮に関する質問への回答・・・・・・・・・・・・・・・・ 65
 - ① プラスチック条約の認知度及び関心度
 - ② 食品ロス削減・食品リサイクルの取組状況

(1) 価格転嫁に関する質問への回答

① コスト転嫁の状況

【価格転嫁の協議状況】

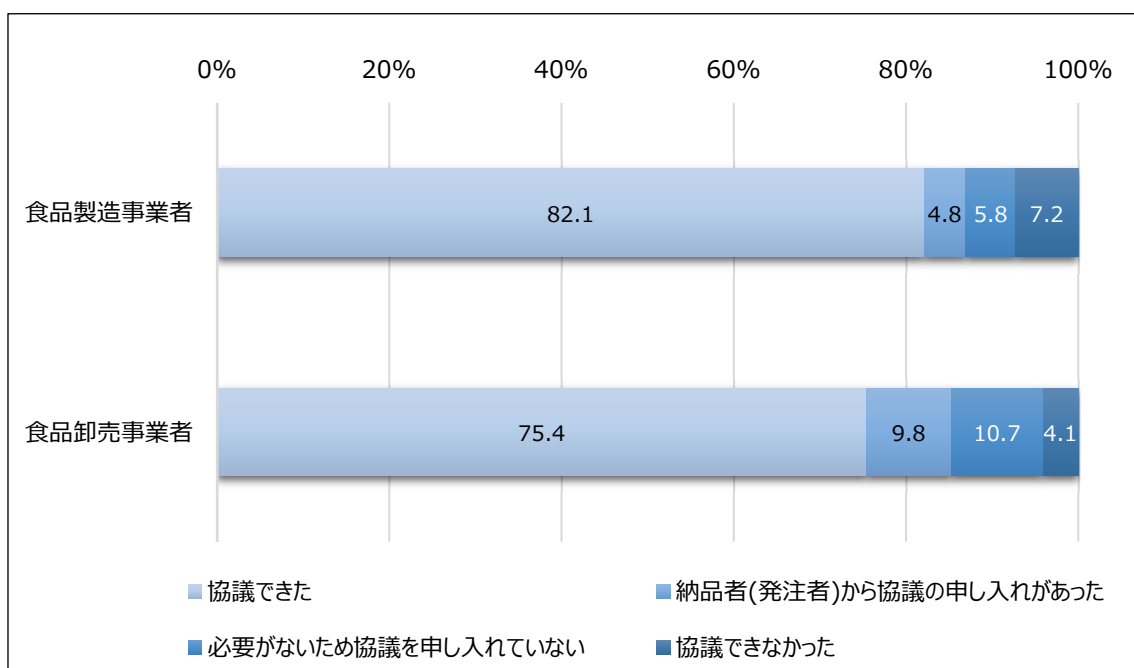
<食品製造> <食品卸>

1年以内の原材料費を根拠とした価格転嫁の協議状況について、一つ選択してください。

〔表2-1-1〕 原材料費を根拠とした価格転嫁の協議状況

	回答数			構成比 (%)		
	全体	製造	食品卸	全体	製造	食品卸
協議できた	262	170	92	79.6	82.1	75.4
納品者(発注者)から協議の 申し入れがあった	22	10	12	6.7	4.8	9.8
必要がないため協議を 申し入れている	25	12	13	7.6	5.8	10.7
協議できなかった	20	15	5	6.1	7.2	4.1
合計	329	207	122	100.0	100.0	100.0

〔図2-1-1〕 原材料費を根拠とした価格転嫁の協議状況



(1) 価格転嫁に関する質問への回答（続き）

【価格転嫁の協議状況】

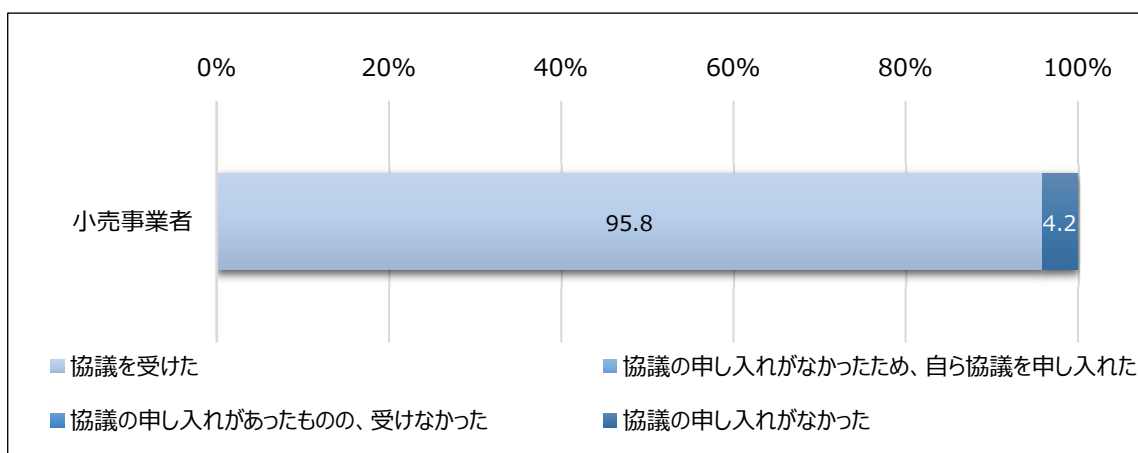
<小売>

1年以内の原材料費を根拠とした価格転嫁の協議状況について、一つ選択してください。

〔表 2 - 1 - 2〕 原材料費を根拠とした価格転嫁の協議状況

	回答数	構成比 (%)
協議を受けた	46	95.8
協議の申し入れがなかったため、自ら協議を申し入れた	0	0.0
協議の申し入れがあったものの、受けなかった	0	0.0
協議の申し入れがなかった	2	4.2
合計	48	100.0

〔図 2 - 1 - 2〕 原材料費を根拠とした価格転嫁の協議状況



(1) 価格転嫁に関する質問への回答(続き)

【価格転嫁の反映状況】

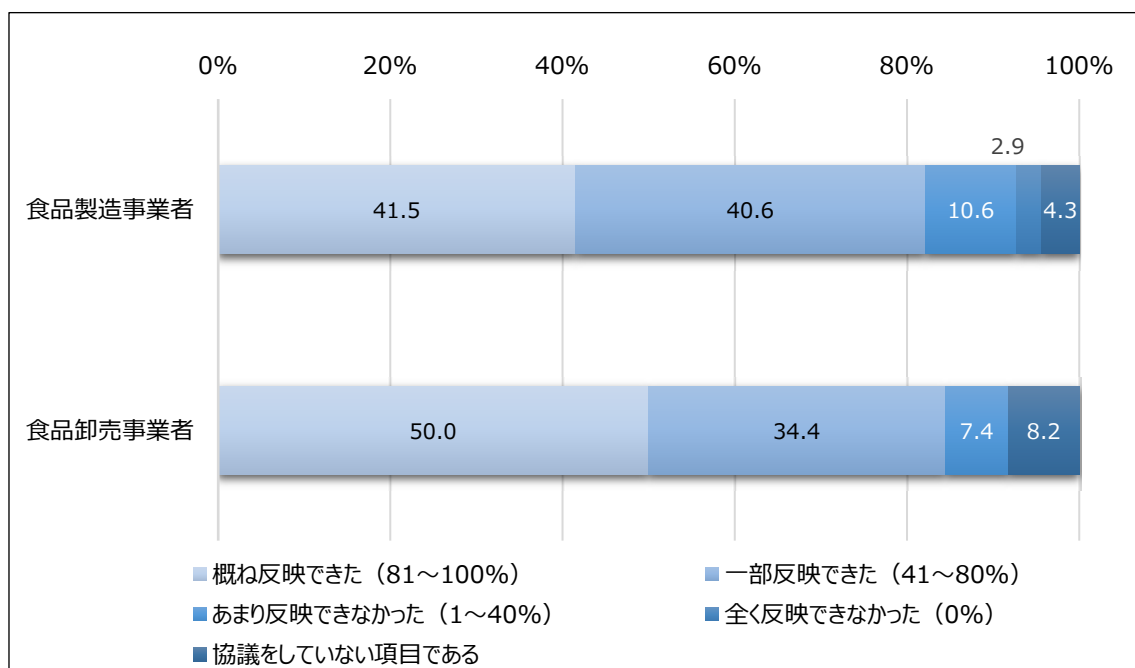
<食品製造> <食品卸>

前質問の協議の反映状況について、一つ選択してください。

〔表 2 - 1 - 3〕 原材料費を根拠とした協議の反映状況

	回答数			構成比 (%)		
	全体	製造	食品卸	全体	製造	食品卸
概ね反映できた (81~100%)	147	86	61	44.7	41.5	50.0
一部反映できた (41~80%)	126	84	42	38.3	40.6	34.4
あまり反映できなかった (1~40%)	31	22	9	9.4	10.6	7.4
全く反映できなかった (0%)	6	6	0	1.8	2.9	0.0
協議をしていない項目である	19	9	10	5.8	4.3	8.2
合計	329	207	122	100.0	100.0	100.0

〔図 2 - 1 - 3〕 原材料費を根拠とした協議の反映状況



(1) 価格転嫁に関する質問への回答(続き)

【価格転嫁の反映状況】

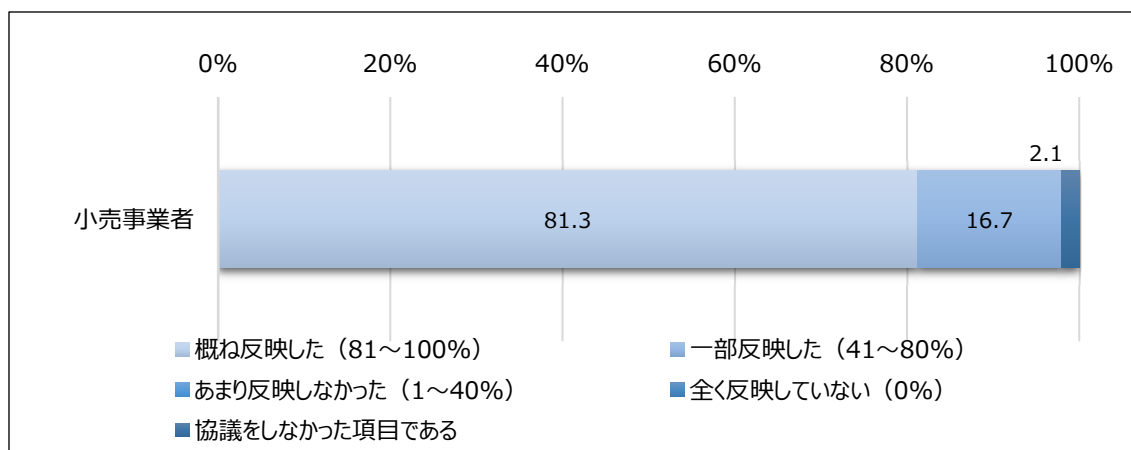
<小売>

前質問の協議の反映状況について、一つ選択してください。

〔表 2 - 1 - 4〕 原材料費を根拠とした協議の反映状況

	回答数	構成比 (%)
概ね反映した (81~100%)	39	81.3
一部反映した (41~80%)	8	16.7
あまり反映しなかった (1~40%)	0	0.0
全く反映していない (0%)	0	0.0
協議をしなかった項目である	1	2.1
合計	48	100

〔図 2 - 1 - 4〕 原材料費を根拠とした協議の反映状況



(1) 価格転嫁に関する質問への回答(続き)

【価格転嫁の協議状況】

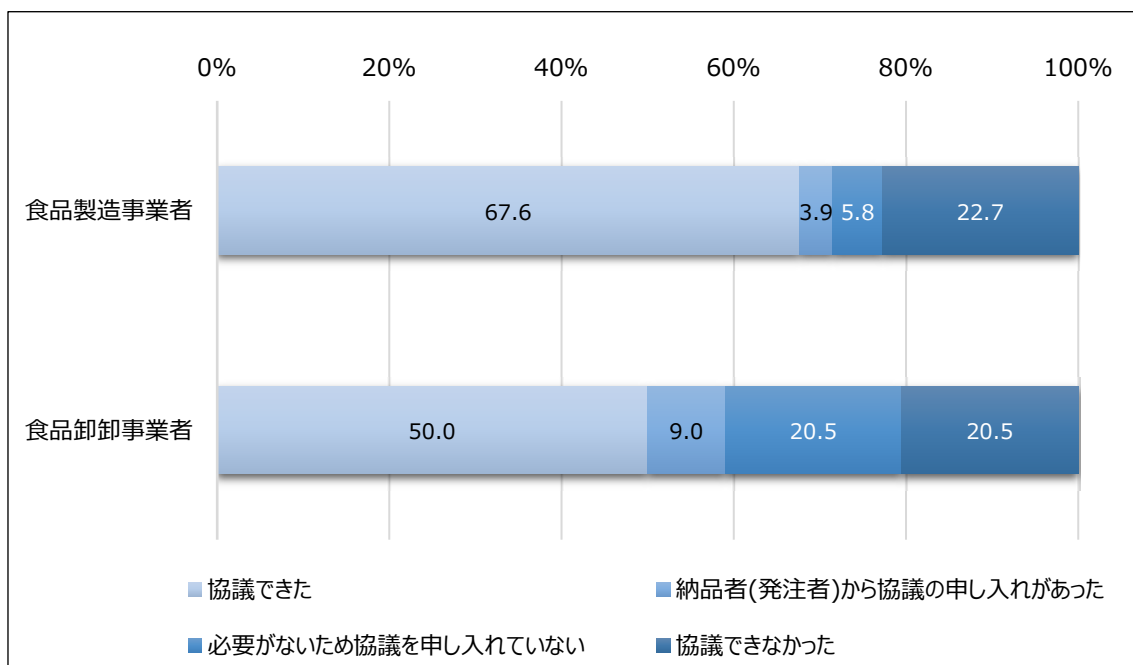
＜食品製造＞ ＜食品卸＞

1年以内のエネルギーコストを根拠とした価格転嫁の協議状況について、一つ選択してください。

〔表2-1-5〕 エネルギーコストを根拠とした価格転嫁の協議状況

	回答数			構成比(%)		
	全体	製造	食品卸	全体	製造	食品卸
協議できた	201	140	61	61.1	67.6	50.0
納品者(発注者)から協議の申し入れがあった	19	8	11	5.8	3.9	9.0
必要がないため協議を申し入れていない	37	12	25	11.2	5.8	20.5
協議できなかった	72	47	25	21.9	22.7	20.5
合計	329	207	122	100.0	100.0	100.0

〔図2-1-5〕 エネルギーコストを根拠とした価格転嫁の協議状況



(1) 価格転嫁に関する質問への回答(続き)

【価格転嫁の協議状況】

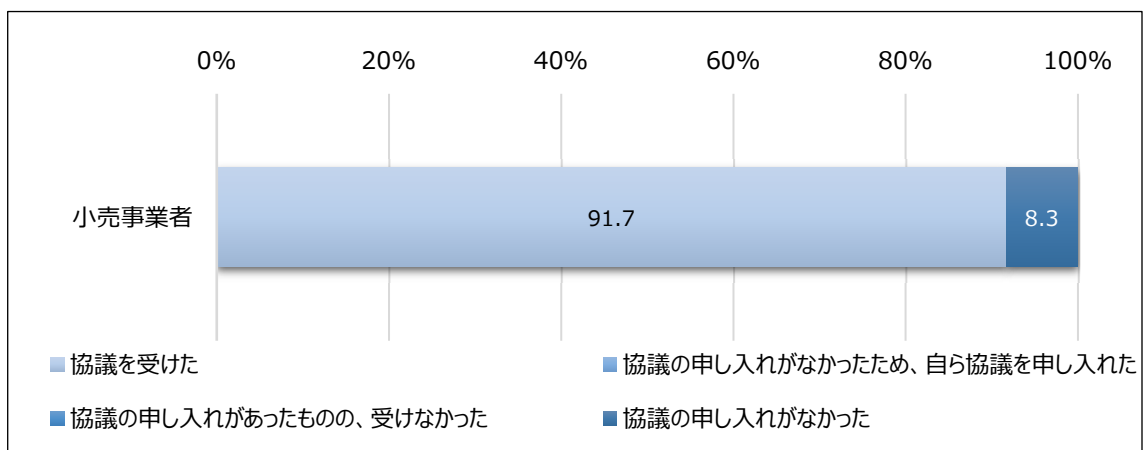
<小売>

1年以内のエネルギーコストを根拠とした価格転嫁の協議状況について、一つ選択してください。

【表2-1-6】 エネルギーコストを根拠とした価格転嫁の協議状況

	回答数	構成比 (%)
協議を受けた	44	91.7
協議の申し入れがなかったため、自ら協議を申し入れた	0	0.0
協議の申し入れがあったものの、受けなかった	0	0.0
協議の申し入れがなかった	4	8.3
合計	48	100.0

【図2-1-6】 エネルギーコストを根拠とした価格転嫁の協議状況



(1) 価格転嫁に関する質問への回答(続き)

【価格転嫁の反映状況】

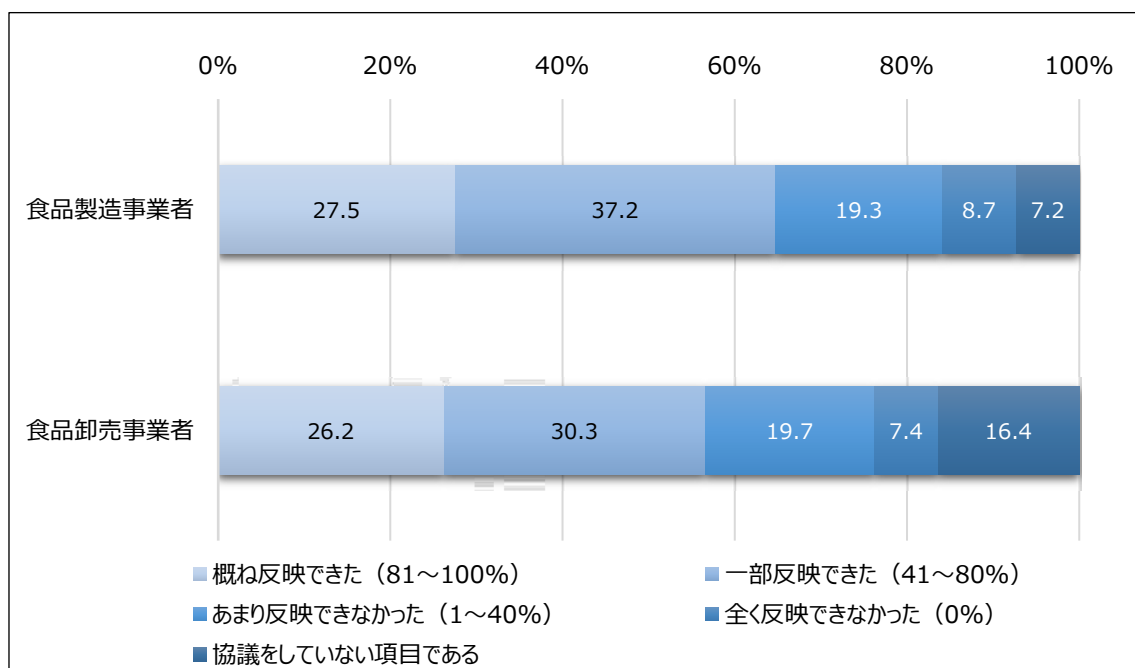
＜食品製造＞ ＜食品卸＞

前質問の協議の反映状況について、一つ選択してください。

〔表 2 - 1 - 7〕 エネルギーコストを根拠とした協議の反映状況

	回答数			構成比 (%)		
	全体	製造	食品卸	全体	製造	食品卸
概ね反映できた (81～100%)	89	57	32	27.1	27.5	26.2
一部反映できた (41～80%)	114	77	37	34.7	37.2	30.3
あまり反映できなかった (1～40%)	64	40	24	19.5	19.3	19.7
全く反映できなかった (0%)	27	18	9	8.2	8.7	7.4
協議をしていない項目である	35	15	20	10.6	7.2	16.4
合計	329	207	122	100.0	100.0	100.0

〔図 2 - 1 - 7〕 エネルギーコストを根拠とした価格転嫁の反映状況



(1) 価格転嫁に関する質問への回答(続き)

【価格転嫁の反映状況】

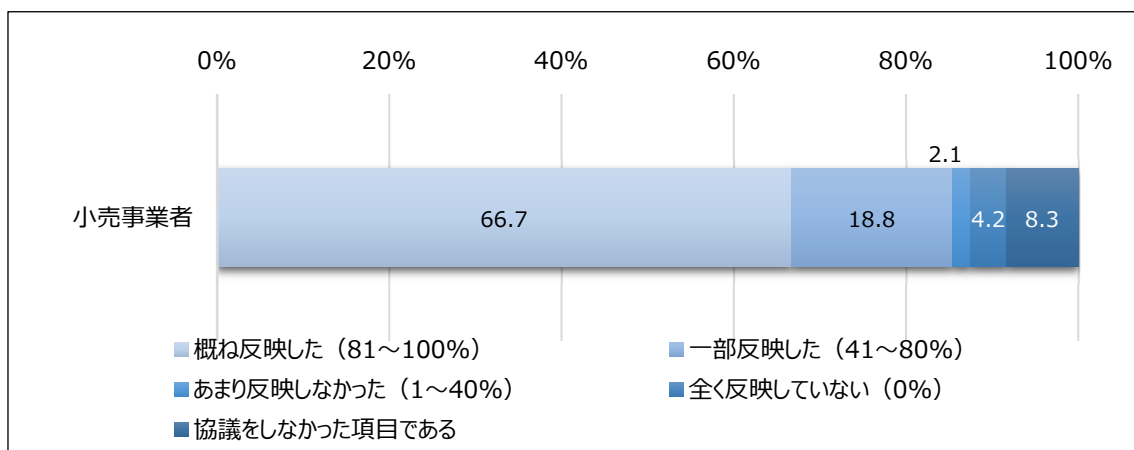
<小売>

前質問の協議の反映状況について、一つ選択してください。

〔表 2 - 1 - 8〕 エネルギーコストを根拠とした協議の反映状況

	回答数	構成比 (%)
概ね反映した (81~100%)	32	66.7
一部反映した (41~80%)	9	18.8
あまり反映しなかった (1~40%)	1	2.1
全く反映していない (0%)	2	4.2
協議をしなかった項目である	4	8.3
合計	48	100

〔図 2 - 1 - 8〕 エネルギーコストを根拠とした価格転嫁の反映状況



(1) 価格転嫁に関する質問への回答(続き)

【価格転嫁の協議状況】

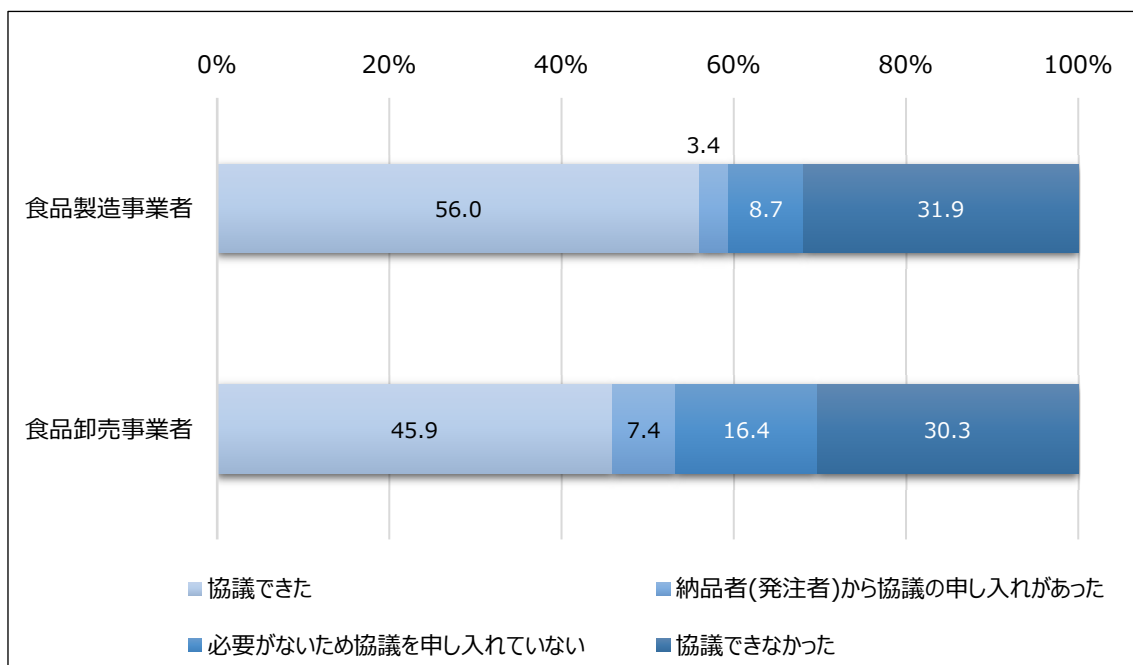
<食品製造> <食品卸>

1年以内の労務費を根拠とした価格転嫁の協議状況について、一つ選択してください。

〔表2-1-9〕 労務費を根拠とした価格転嫁の協議状況

	回答数			構成比(%)		
	全体	製造	食品卸	全体	製造	食品卸
協議できた	172	116	56	52.3	56.0	45.9
納品者(発注者)から協議の申し入れがあった	16	7	9	4.9	3.4	7.4
必要がないため協議を申し入れていない	38	18	20	11.6	8.7	16.4
協議できなかった	103	66	37	31.3	31.9	30.3
合計	329	207	122	100.0	100.0	100.0

〔図2-1-9〕 労務費を根拠とした価格転嫁の協議状況



(1) 価格転嫁に関する質問への回答(続き)

【価格転嫁の協議状況】

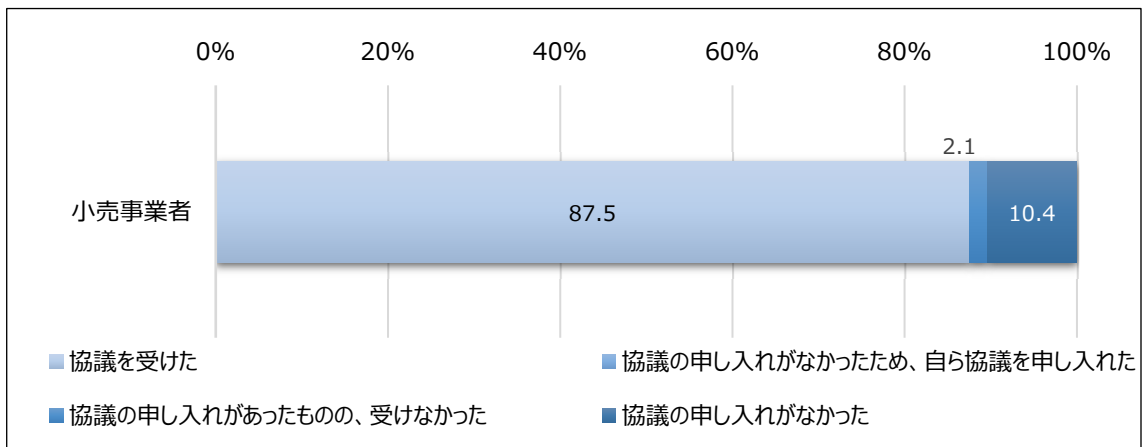
<小売>

1年以内の労務費を根拠とした価格転嫁の協議状況について、一つ選択してください。

〔表2-1-10〕 労務費を根拠とした価格転嫁の協議状況

	回答数	構成比 (%)
協議を受けた	42	87.5
協議の申し入れがなかったため、自ら協議を申し入れた	0	0.0
協議の申し入れがあったものの、受けなかった	1	2.1
協議の申し入れがなかった	5	10.4
合計	48	100.0

〔図2-1-10〕 労務費を根拠とした価格転嫁の協議状況



(1) 価格転嫁に関する質問への回答(続き)

【価格転嫁の反映状況】

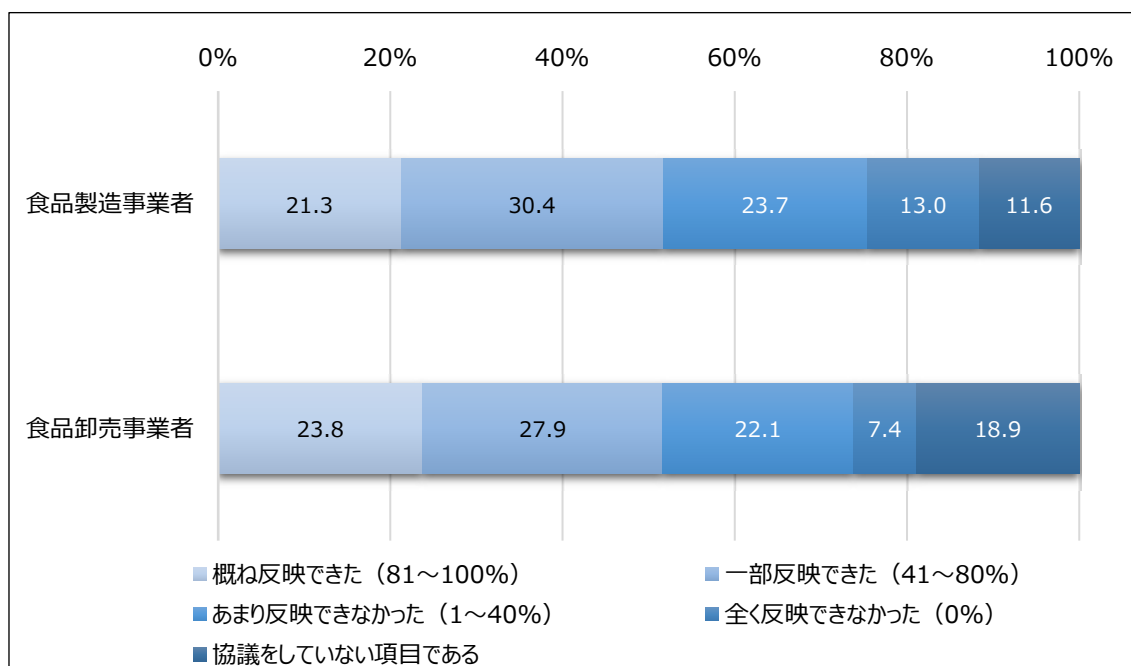
<食品製造> <食品卸>

前質問の協議の反映状況について、一つ選択してください。

【表2-1-11】労務費を根拠とした協議の反映状況

	回答数			構成比(%)		
	全体	製造	食品卸	全体	製造	食品卸
概ね反映できた(81~100%)	73	44	29	22.2	21.3	23.8
一部反映できた(41~80%)	97	63	34	29.5	30.4	27.9
あまり反映できなかった(1~40%)	76	49	27	23.1	23.7	22.1
全く反映できなかった(0%)	36	27	9	10.9	13.0	7.4
協議をしていない項目である	47	24	23	14.3	11.6	18.9
合計	329	207	122	100.0	100.0	100.0

【図2-1-11】労務費を根拠とした価格転嫁の反映状況



(1) 価格転嫁に関する質問への回答(続き)

【価格転嫁の反映状況】

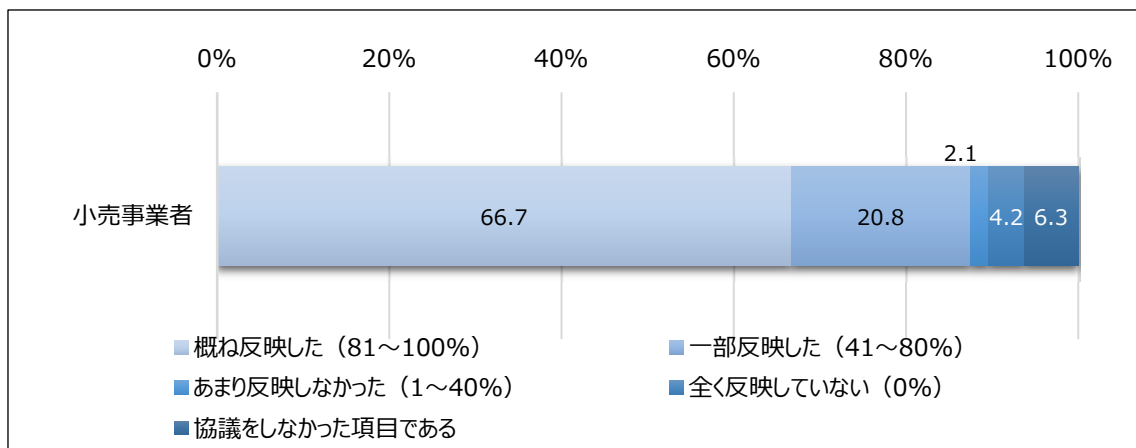
<小売>

前質問の協議の反映状況について、一つ選択してください。

〔表 2 - 1 -12〕 労務費を根拠とした協議の反映状況

	回答数	構成比 (%)
概ね反映した (81~100%)	32	66.7
一部反映した (41~80%)	10	20.8
あまり反映しなかった (1~40%)	1	2.1
全く反映していない (0%)	2	4.2
協議をしなかった項目である	3	6.3
合計	48	100

〔図 2 - 1 -12〕 労務費を根拠とした価格転嫁の反映状況



(1) 価格転嫁に関する質問への回答(続き)

【価格転嫁の協議状況】

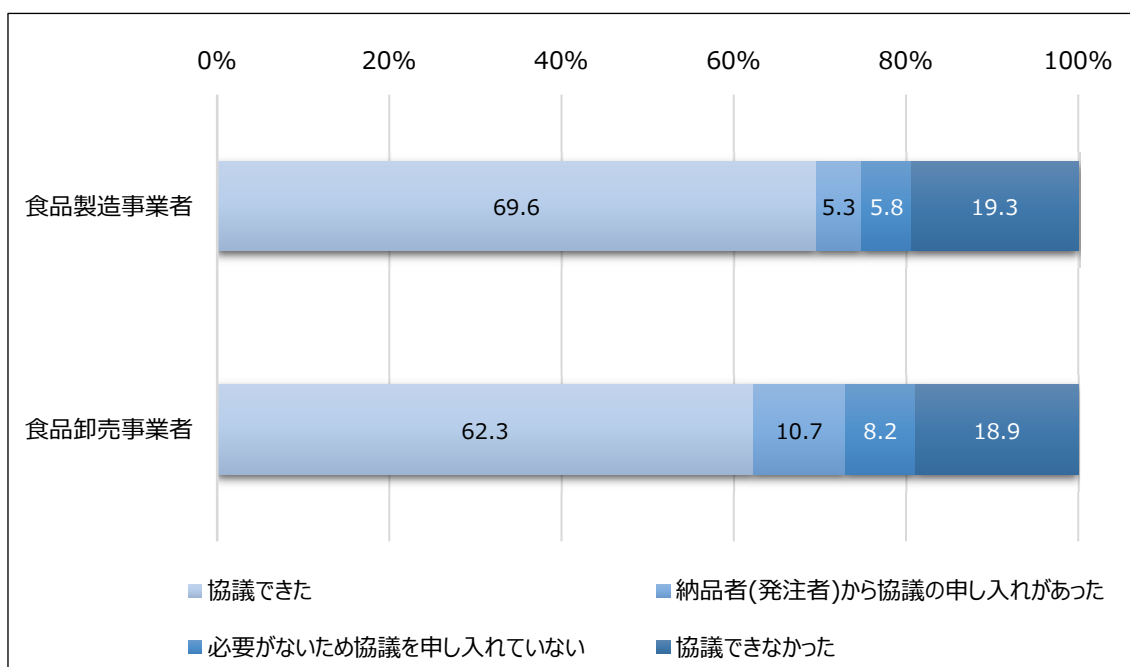
＜食品製造＞ ＜食品卸＞

1年以内の物流費を根拠とした価格転嫁の協議状況について、一つ選択してください。

〔表2-1-13〕 物流費を根拠とした価格転嫁の協議状況

	回答数			構成比 (%)		
	全体	製造	食品卸	全体	製造	食品卸
協議できた	220	144	76	66.9	69.6	62.3
納品者（発注者）から協議の申し入れがあった	24	11	13	7.3	5.3	10.7
必要がないため協議を申し入れていない	22	12	10	6.7	5.8	8.2
協議できなかった	63	40	23	19.1	19.3	18.9
合計	329	207	122	100.0	100.0	100.0

〔図2-1-13〕 物流費を根拠とした価格転嫁の協議状況



(1) 価格転嫁に関する質問への回答(続き)

【価格転嫁の協議状況】

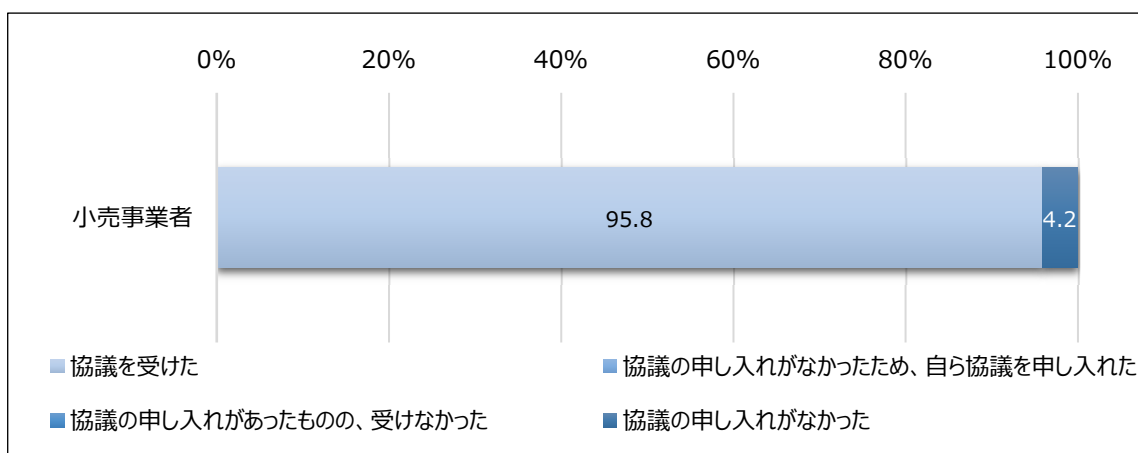
<小売>

1年以内の物流費を根拠とした価格転嫁の協議状況について、一つ選択してください。

〔表 2 - 1 -14〕 物流費を根拠とした価格転嫁の協議状況

	回答数	構成比 (%)
協議を受けた	46	95.8
協議の申し入れがなかったため、自ら協議を申し入れた	0	0.0
協議の申し入れがあったものの、受けなかった	0	0.0
協議の申し入れがなかった	2	4.2
合計	48	100.0

〔図 2 - 1 -14〕 物流費を根拠とした価格転嫁の協議状況



(1) 価格転嫁に関する質問への回答(続き)

【価格転嫁の反映状況】

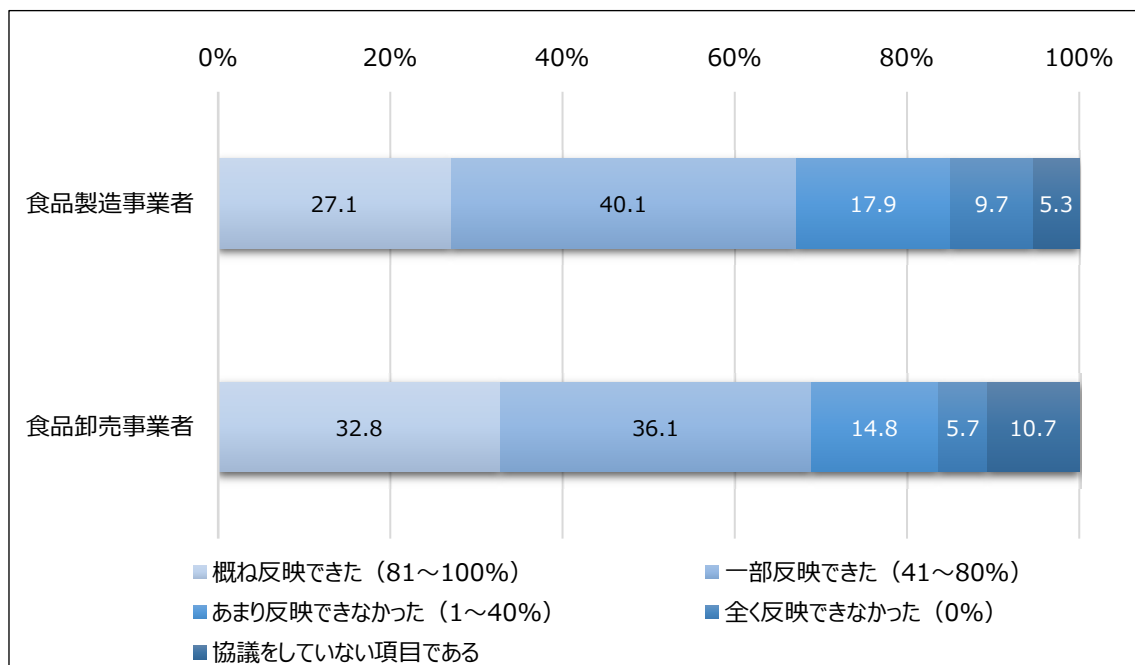
<製造> <食品卸>

前質問の協議の反映状況について、一つ選択してください。

〔表 2 - 1 - 15〕 物流費を根拠とした協議の反映状況

	回答数			構成比 (%)		
	全体	製造	食品卸	全体	製造	食品卸
概ね反映できた (81~100%)	96	56	40	29.2	27.1	32.8
一部反映できた (41~80%)	127	83	44	38.6	40.1	36.1
あまり反映できなかった (1~40%)	55	37	18	16.7	17.9	14.8
全く反映できなかった (0%)	27	20	7	8.2	9.7	5.7
協議をしていない項目である	24	11	13	7.3	5.3	10.7
合計	329	207	122	100.0	100.0	100.0

〔図 2 - 1 - 15〕 物流費を根拠とした価格転嫁の反映状況



(1) 価格転嫁に関する質問への回答(続き)

【価格転嫁の反映状況】

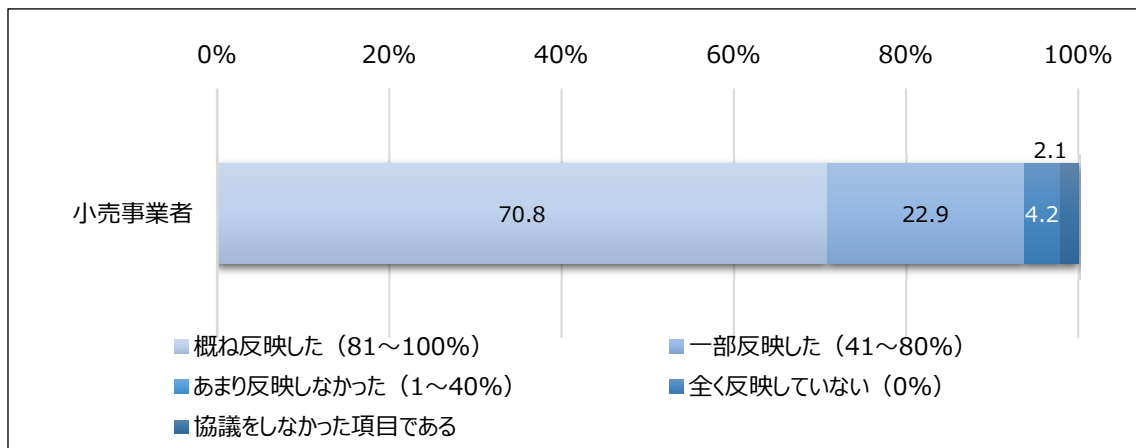
<小売>

前質問の協議の反映状況について、一つ選択してください。

【表 2 - 1 - 1 6】 物流費を根拠とした協議の反映状況

	回答数	構成比 (%)
概ね反映した (81~100%)	34	70.8
一部反映した (41~80%)	11	22.9
あまり反映しなかった (1~40%)	0	0.0
全く反映していない (0%)	2	4.2
協議をしなかった項目である	1	2.1
合計	48	100

【図 2 - 1 - 1 6】 物流費を根拠とした価格転嫁の反映状況



(1) 価格転嫁に関する質問への回答(続き)

② 物流事業者からの運賃値上げの状況

【物流事業者からの運賃値上げ要請への反映状況】

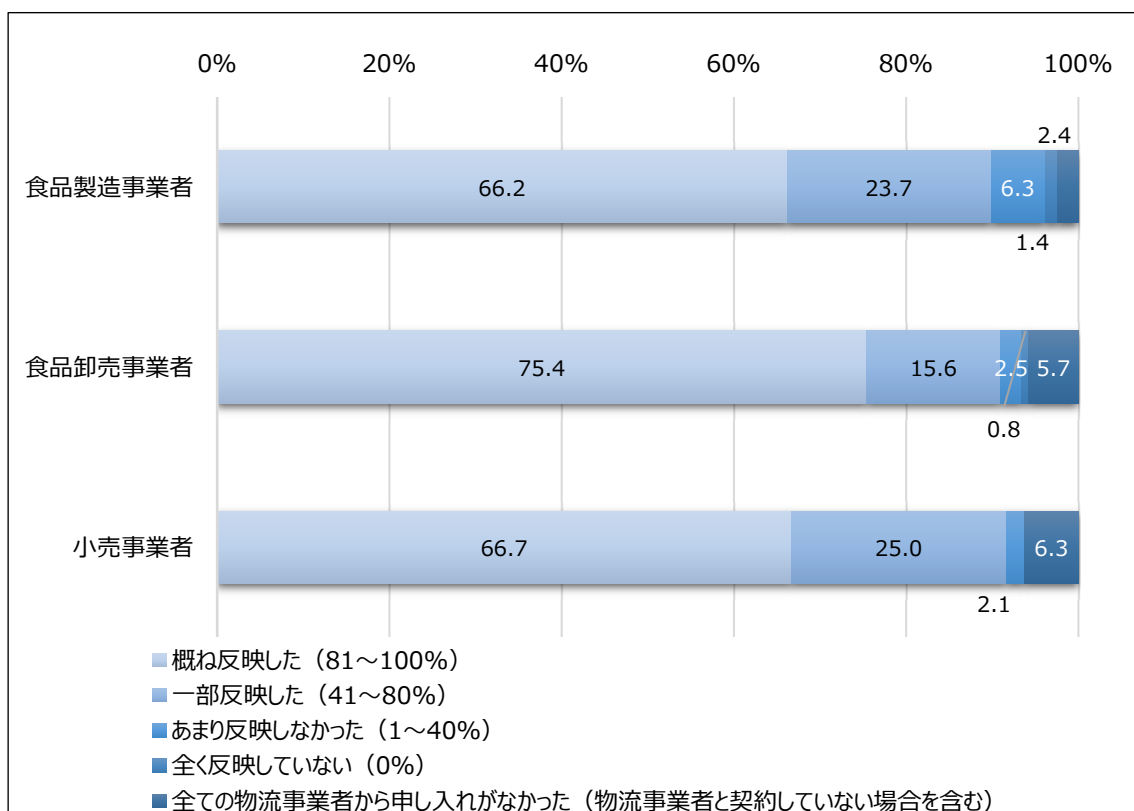
<製造> <食品卸> <小売>

運賃の値上げについて、物流事業者から申し入れがあった場合の反映状況について、一つ選択してください。

[表2- 1 -17] 物流事業者からの運賃値上げの反映状況

	回答数				構成比 (%)			
	全体	製造	食品卸	小売	全体	製造	食品卸	小売
概ね反映した (81~100%)	261	137	92	32	69.2	66.2	75.4	66.7
一部反映した (41~80%)	80	49	19	12	21.2	23.7	15.6	25.0
あまり反映しなかった (1~40%)	17	13	3	1	4.5	6.3	2.5	2.1
全く反映していない (0%)	4	3	1	0	1.1	1.4	0.8	0.0
全ての物流事業者から申し入れがなかった (物流事業者と契約していない場合を含む)	15	5	7	3	4.0	2.4	5.7	6.3
合計	377	207	122	48	100.0	100.0	100.0	100.0

[図2- 1 -17] 物流事業者からの運賃値上げの反映状況



(1) 価格転嫁に関する質問への回答(続き)

【物流事業者からの運賃値上げへの申し入れがなかった場合の対応状況】

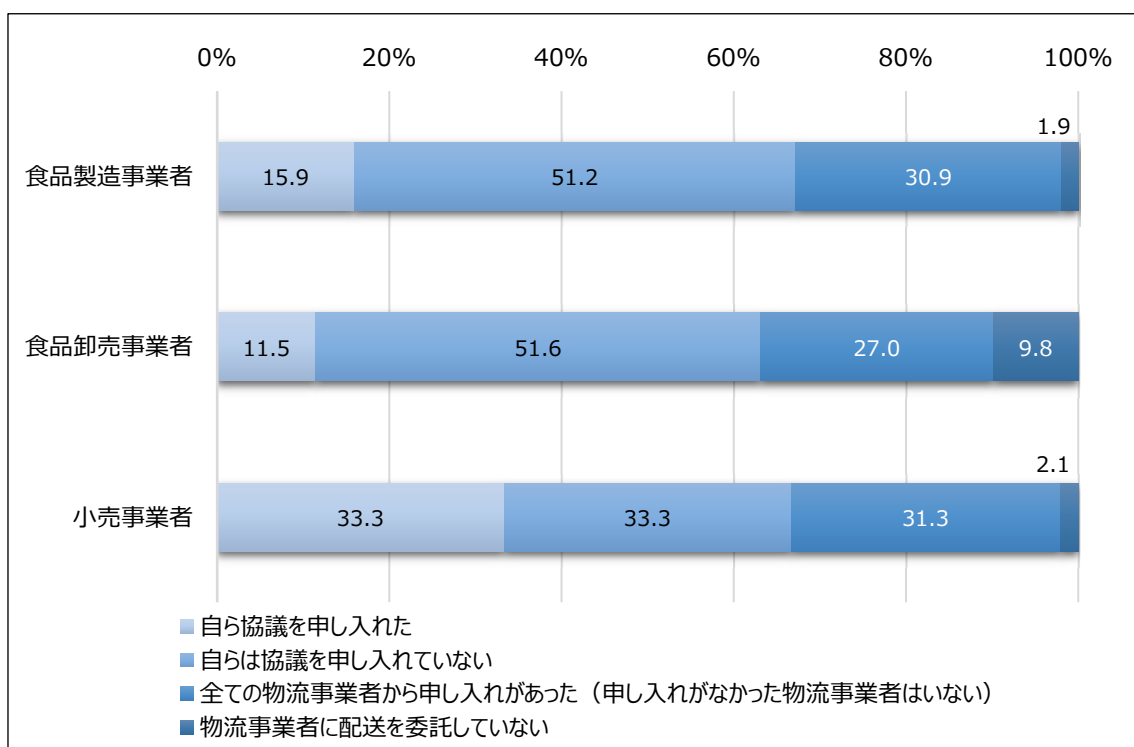
<製造> <食品卸> <小売>

運賃の値上げについて、申し入れがなかった物流事業者への対応状況について、一つ選択してください。

[表 2-1-18] 物流事業者からの運賃値上げの協議状況

	回答数				構成比 (%)			
	全体	製造	食品卸	小売	全体	製造	食品卸	小売
自ら協議を申し入れた	63	33	14	16	16.7	15.9	11.5	33.3
自らは協議を申し入れていない	185	106	63	16	49.1	51.2	51.6	33.3
全ての物流事業者から申し入れがあった (申し入れがなかった物流事業者はいない)	112	64	33	15	29.7	30.9	27.0	31.3
物流事業者に配送を委託していない	17	4	12	1	4.5	1.9	9.8	2.1
合計	377	207	122	48	100.0	100.0	100.0	100.0

[図2-1-18] 物流事業者からの運賃値上げの協議状況



(2) 物流に関する質問への回答

① 小売事業者の物流センターの利用状況

【物流センターの利用状況】

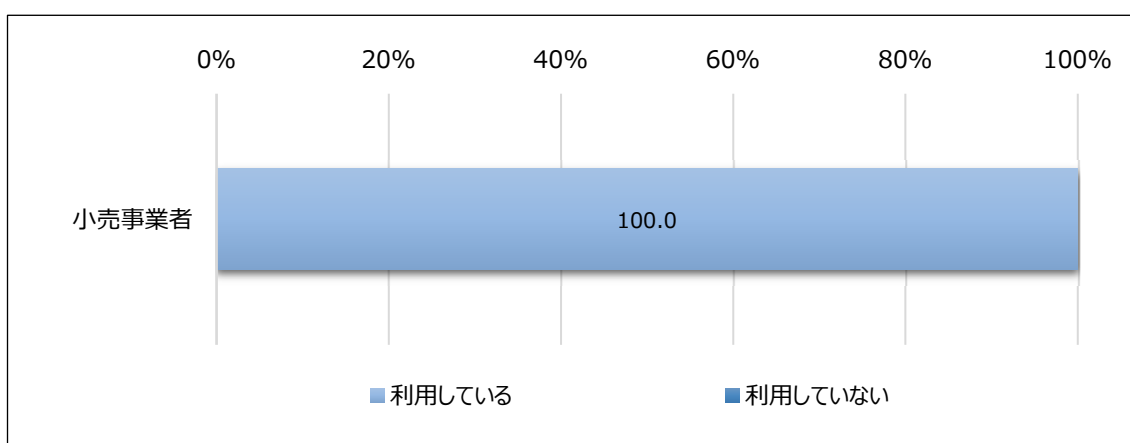
<小売>

貴社の物流センターの利用状況について、選択してください。

〔表 2 - 2 - 1〕 物流センターの利用状況

	回答数	構成比 (%)
利用している	42	100.0
利用していない	0	0.0
合計	42	100.0

〔図 2 - 2 - 1〕 物流センターの利用状況



（２） 物流に関する質問への回答（続き）

【物流センターの種類】

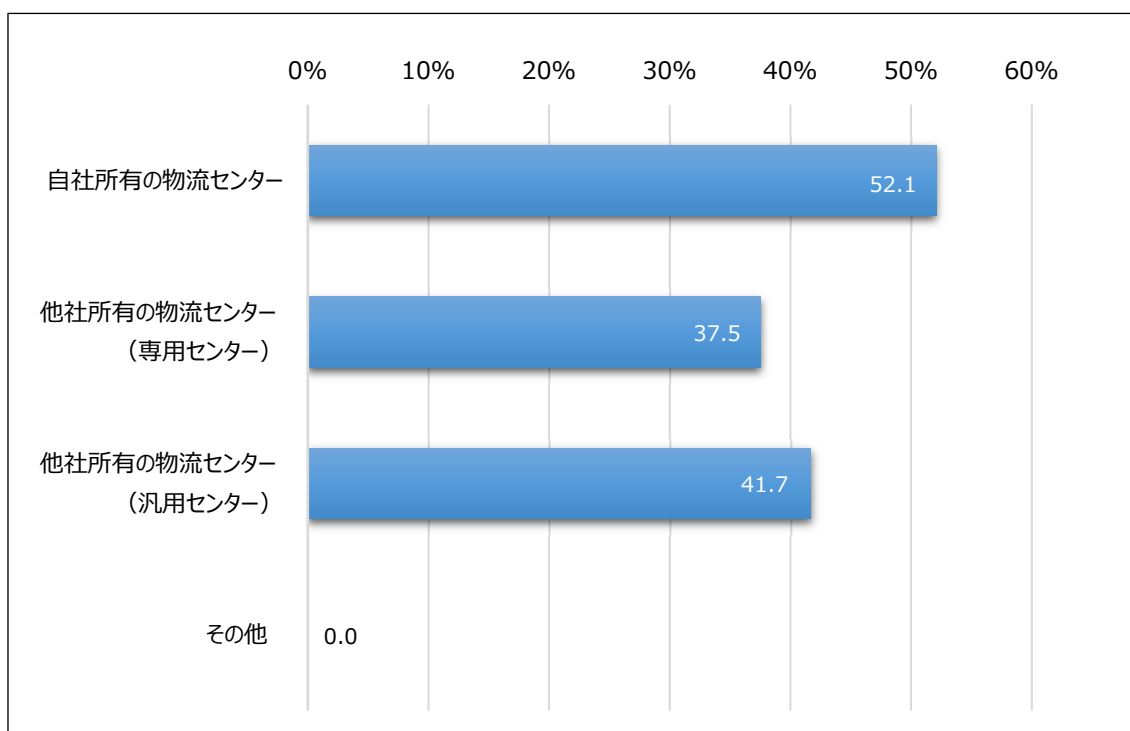
＜小売＞

貴社で利用している物流センター（食品）のみで該当するものを選択してください（複数選択可）。

〔表 2 - 2 - 2〕 物流センターの種類

	回答数	構成比（％）
自社所有の物流センター	25	52.1
他社所有の物流センター（専用センター）	18	37.5
他社所有の物流センター（汎用センター）	20	41.7
その他	0	0.0
合計	48	100.0

〔図 2 - 2 - 2〕 物流センターの種類



(2) 物流に関する質問への回答（続き）

② パレット化輸送の状況

【パレット輸送の状況】

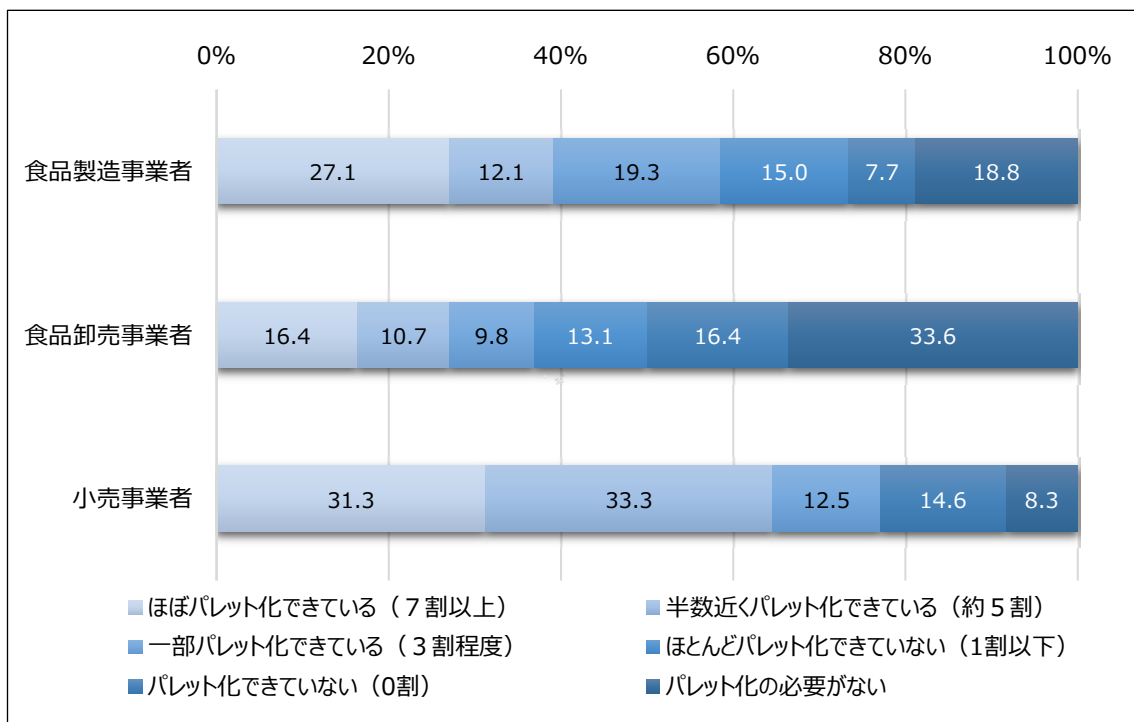
<製造> <食品卸> 全体出荷量のうち、パレット輸送の割合について、一つ選択してください。

<小売> 物流センターの入荷量のうち、パレット輸送の割合について、一つ選択してください。

〔表 2 - 2 - 3〕 パレット化輸送の状況

	回答数				構成比 (%)			
	全体	製造	食品卸	小売	全体	製造	食品卸	小売
ほぼパレット化できている（7割以上）	91	56	20	15	24.1	27.1	16.4	31.3
半数近くパレット化できている（約5割）	54	25	13	16	14.3	12.1	10.7	33.3
一部パレット化できている（3割程度）	58	40	12	6	15.4	19.3	9.8	12.5
ほとんどパレット化できていない（1割以下）	47	31	16	0	12.5	15.0	13.1	0.0
パレット化できていない（0割）	43	16	20	7	11.4	7.7	16.4	14.6
パレット化の必要がない	84	39	41	4	22.3	18.8	33.6	8.3
合計	377	207	122	48	100.0	100.0	100.0	100.0

〔図 2 - 2 - 3〕 パレット化輸送の状況



(2) 物流に関する質問への回答 (続き)

【パレットサイズの割合】

<製造> <食品卸>

出荷時に使用しているパレットについて、T11型 (1,100x1,100mm) 、T12型 (1,200x1,000mm) 、Pパレット(ビール) (900x1,100mm) 、左記以外のサイズの
およその割合 (%) を数字で入力してください (使用していない場合は0と入力してください) 。

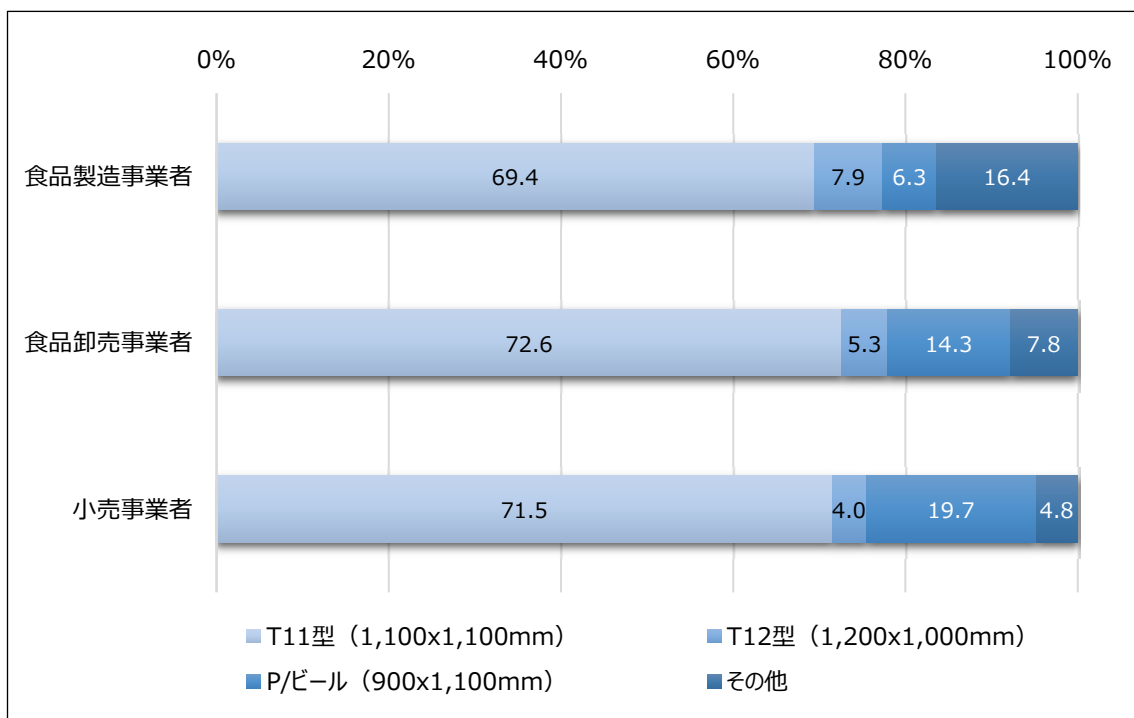
<小売>

入荷時に使用されているパレットについて、T11型 (1,100x1,100mm) 、T12型 (1,200x1,000mm) 、Pパレット(ビール) (900x1,100mm) 、左記以外のサイズの
およその割合 (%) を数字で入力してください (使用していない場合は0と入力してください) 。

〔表2-2-4〕 パレットサイズの割合

	回答数				構成比 (%)			
	全体	製造	食品卸	小売	全体	製造	食品卸	小売
T11 型 (1,100x1,100mm)	205	121	50	34	70.5	69.4	72.6	71.5
T12 型 (1,200x1,000mm)	60	32	13	15	6.7	7.9	5.3	4.0
P/ビール (900x1,100mm)	64	19	21	24	10.3	6.3	14.3	19.7
その他	65	43	10	12	12.5	16.4	7.8	4.8
合計	221	134	51	36	100.0	100.0	100.0	100.0

〔図2-2-4〕 パレットサイズの割合



(2) 物流に関する質問への回答 (続き)

【パレットの種類】

<製造> <食品卸>

貴社で使用しているパレットの種類について選択してください。(複数選択可)

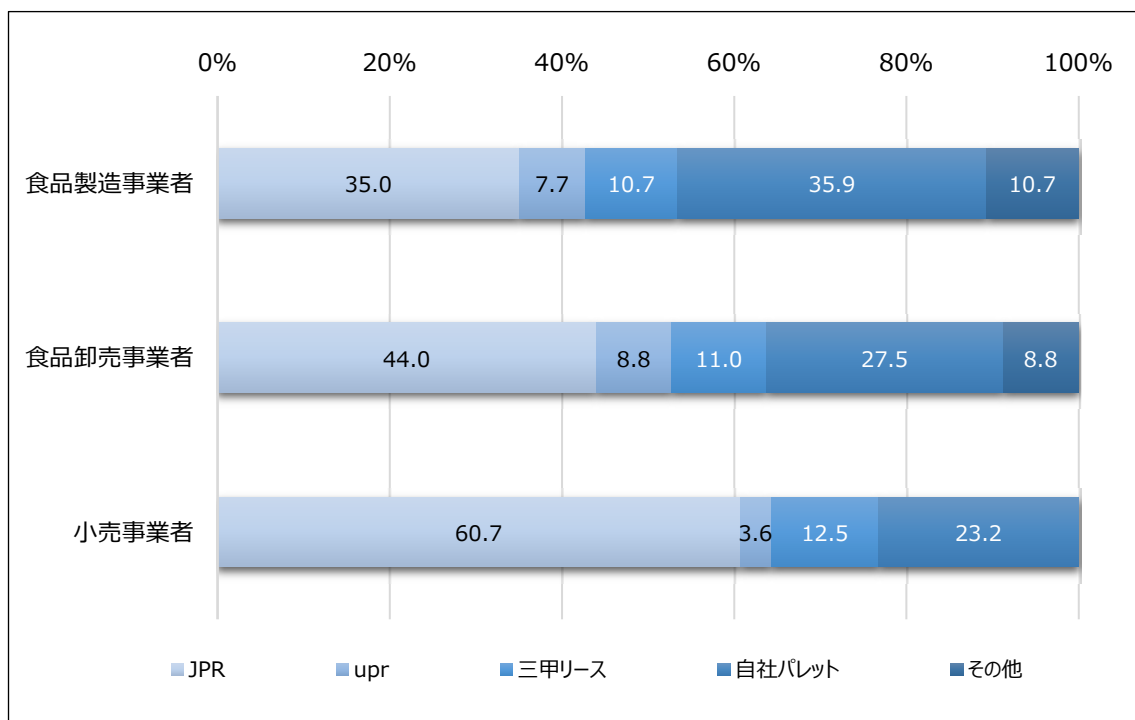
<小売>

貴社の物流センターで使用しているパレットについて選択してください。(複数選択可)

【表2-2-5】 パレットの種類

		回答数				構成比 (%)			
		全体	製造	食品卸	小売	全体	製造	食品卸	小売
パ レ ッ ト	JPR	156	82	40	34	40.9	35.0	44.0	60.7
	upr	28	18	8	2	7.3	7.7	8.8	3.6
	三甲リース	42	25	10	7	11.0	10.7	11.0	12.5
自社パレット		122	84	25	13	32.0	35.9	27.5	23.2
その他		33	25	8	0	8.7	10.7	8.8	0.0
合計		381	234	91	56	100.0	100.0	100.0	100.0

【図2-2-5】 パレットの種類



(2) 物流に関する質問への回答(続き)

③ 荷待ちの状況

【納品先での荷待ちの発生状況】

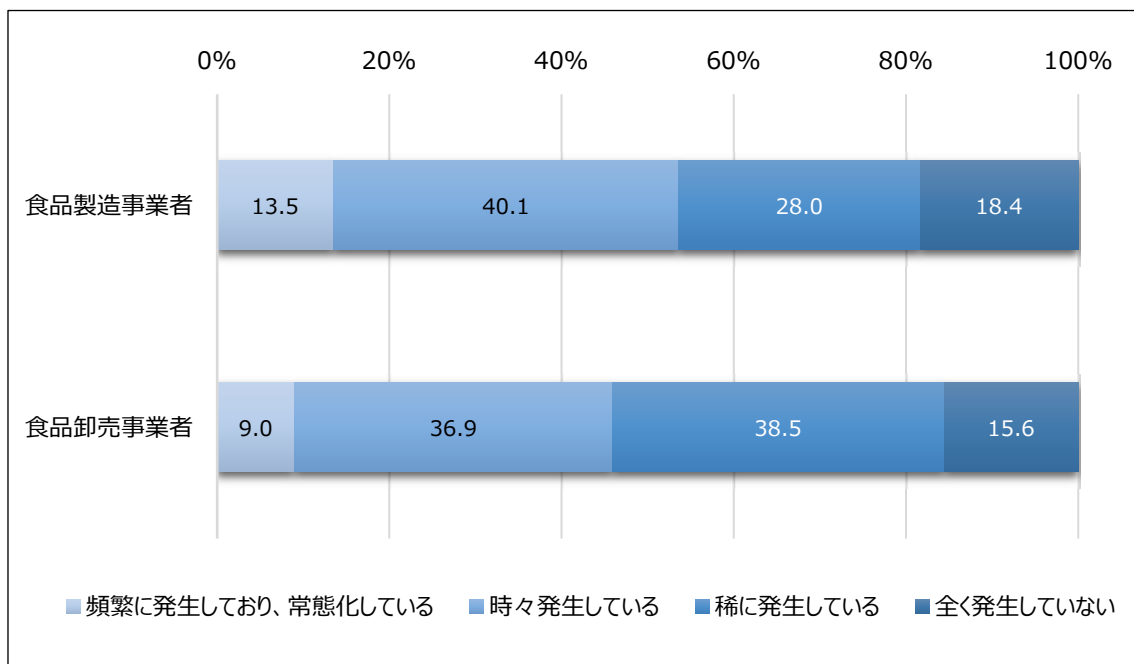
<製造> <食品卸>

貴社が発荷主となる場合の納品先での荷待ち(30分以上)の発生状況について、一つ選択してください。(納品先の件数のうち、最も割合の高いものを回答してください。)

〔表2-2-6〕 納品先での荷待ちの発生状況

	回答数			構成比(%)		
	全体	製造	食品卸	全体	製造	食品卸
頻繁に発生しており、常態化している	39	28	11	11.9	13.5	9.0
時々発生している	128	83	45	38.9	40.1	36.9
稀に発生している	105	58	47	31.9	28.0	38.5
全く発生していない	57	38	19	17.3	18.4	15.6
合計	329	207	122	100.0	100.0	100.0

〔図2-2-6〕 納品先での荷待ちの発生状況



(2) 物流に関する質問への回答 (続き)

【納品先での荷待ちの改善状況】

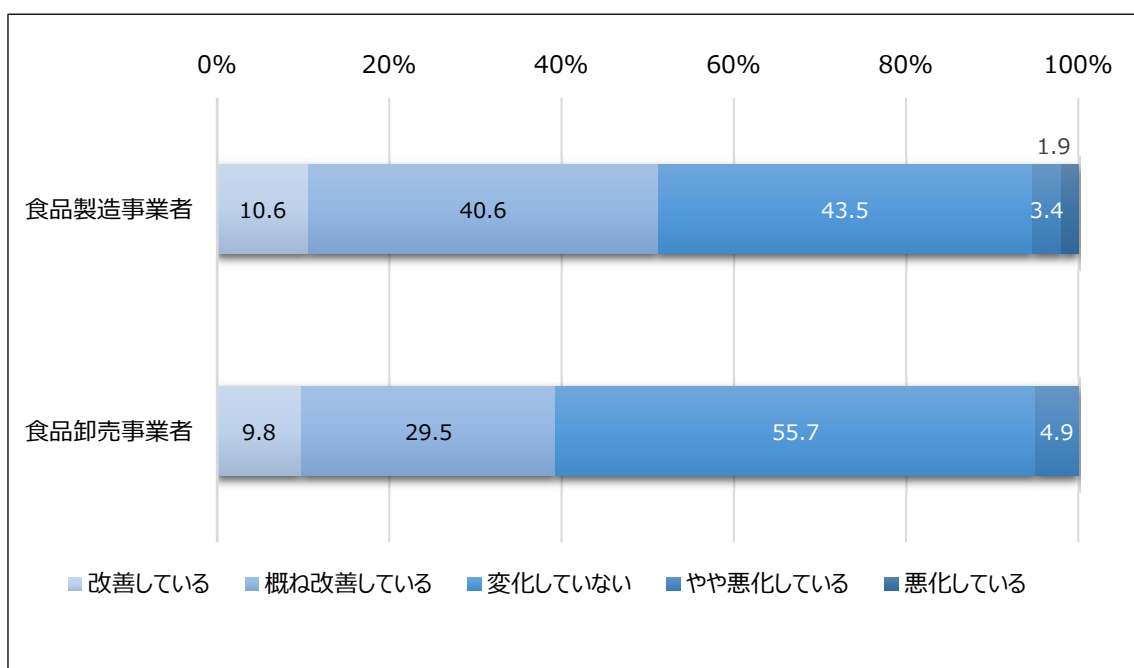
<製造> <食品卸>

納品先での荷待ちの改善状況について、ここ2～3年の状況の変化について、一つ選択してください。
(納品先の件数のうち、最も割合の高いものを回答してください。)

〔表2-2-7〕 納品先での荷待ちの改善状況

	回答数			構成比 (%)		
	全体	製造	食品卸	全体	製造	食品卸
改善している	34	22	12	10.3	10.6	9.8
概ね改善している	120	84	36	36.5	40.6	29.5
変化していない	158	90	68	48.0	43.5	55.7
やや悪化している	13	7	6	4.0	3.4	4.9
悪化している	4	4	0	1.2	1.9	0.0
合計	329	207	122	100.0	100.0	100.0

〔図2-2-7〕 納品先での荷待ちの改善状況



(2) 物流に関する質問への回答（続き）

【自社での荷待ちの発生状況】

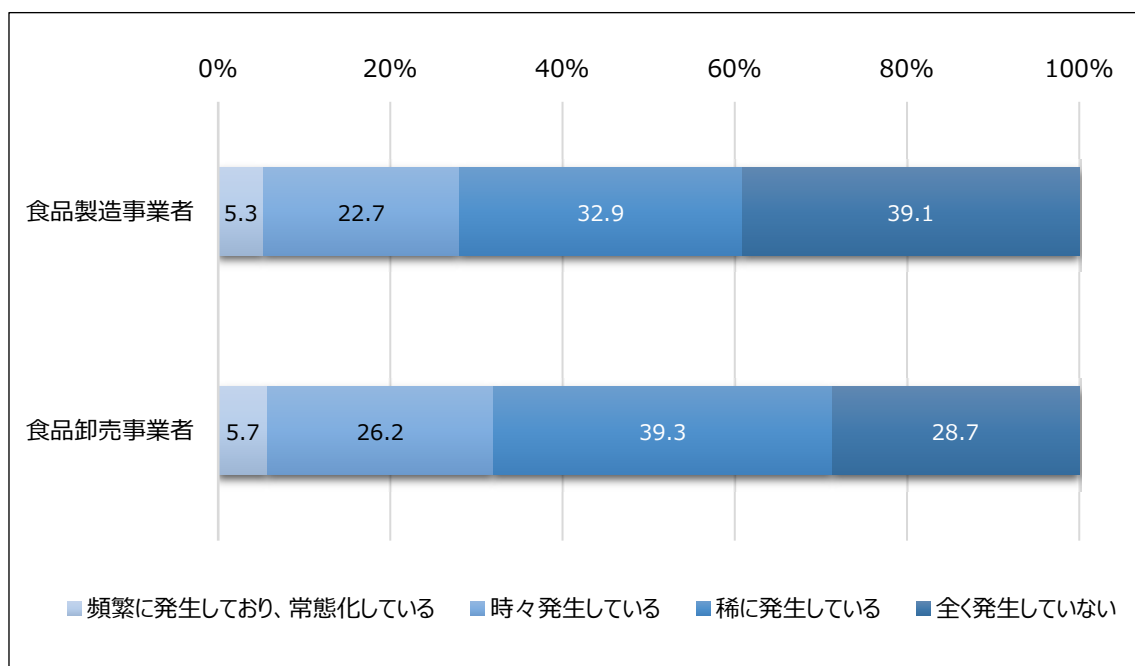
<製造> <食品卸>

貴社が着荷主となる場合の荷待ち（30分以上）の発生頻度について、一つ選択してください。

【表 2 - 2 - 8】 自社での荷待ちの発生状況

	回答数			構成比 (%)		
	全体	製造	食品卸	全体	製造	食品卸
頻繁に発生しており、常態化している	18	11	7	5.5	5.3	5.7
時々発生している	79	47	32	24.0	22.7	26.2
稀に発生している	116	68	48	35.3	32.9	39.3
全く発生していない	116	81	35	35.3	39.1	28.7
合計	329	207	122	100.0	100.0	100.0

【図 2 - 2 - 8】 自社での荷待ちの発生状況



(2) 物流に関する質問への回答（続き）

【自社での荷待ちの改善状況】

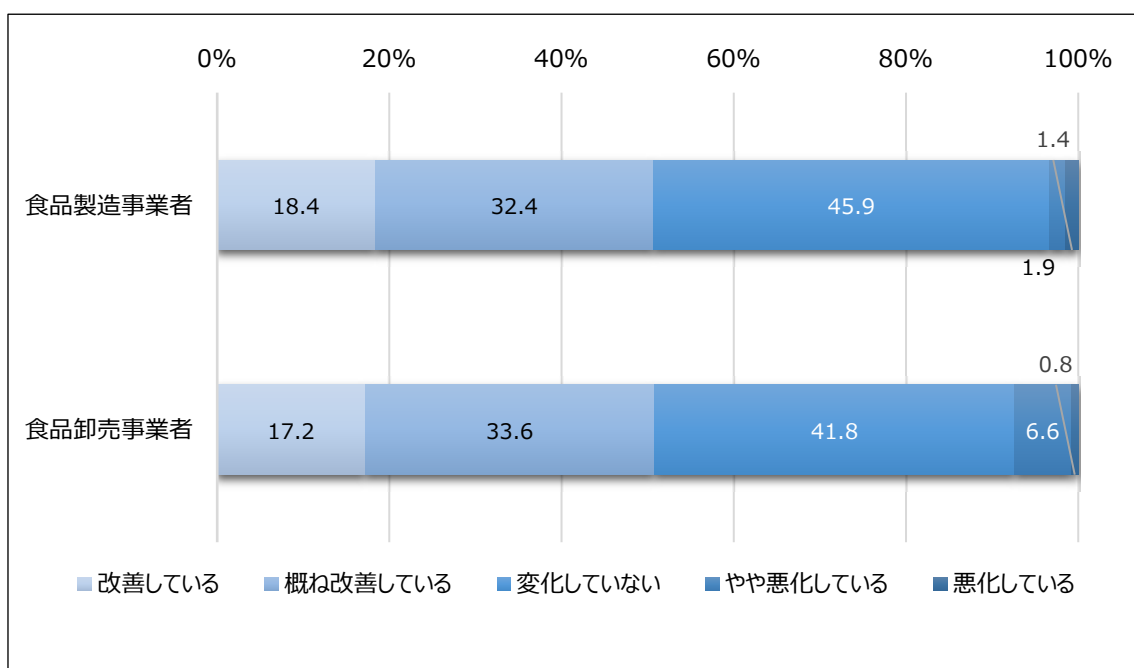
<製造> <食品卸>

貴社が着荷主となる場合の荷待ちの発生状況について、ここ2～3年の状況の変化について、一つ選択してください。

〔表2-2-9〕 自社での荷待ちの改善状況

	回答数			構成比 (%)		
	全体	製造	食品卸	全体	製造	食品卸
改善している	59	38	21	17.9	18.4	17.2
概ね改善している	108	67	41	32.8	32.4	33.6
変化していない	146	95	51	44.4	45.9	41.8
やや悪化している	12	4	8	3.6	1.9	6.6
悪化している	4	3	1	1.2	1.4	0.8
合計	329	207	122	100.0	100.0	100.0

〔図2-2-9〕 自社での荷待ちの改善状況



(2) 物流に関する質問への回答（続き）

【物流センターでの荷待ちの発生状況】

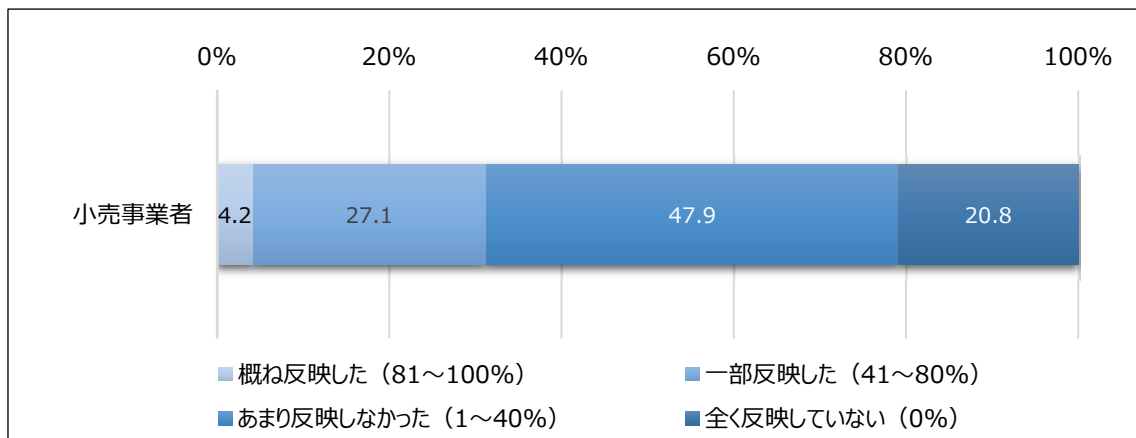
＜小売＞

貴社が着荷主となる場合の荷待ち（30分以上）の発生頻度について、一つ選択してください。

〔表 2 - 2 - 10〕 物流センターでの荷待ちの発生状況

	回答数	構成比 (%)
頻繁に発生しており、常態化している	2	4.2
時々発生している	13	27.1
稀に発生している	23	47.9
全く発生していない	10	20.8
合計	48	100.0

〔図 2 - 2 - 10〕 物流センターでの荷待ちの発生状況



(2) 物流に関する質問への回答 (続き)

【物流センターでの荷待ちの改善状況】

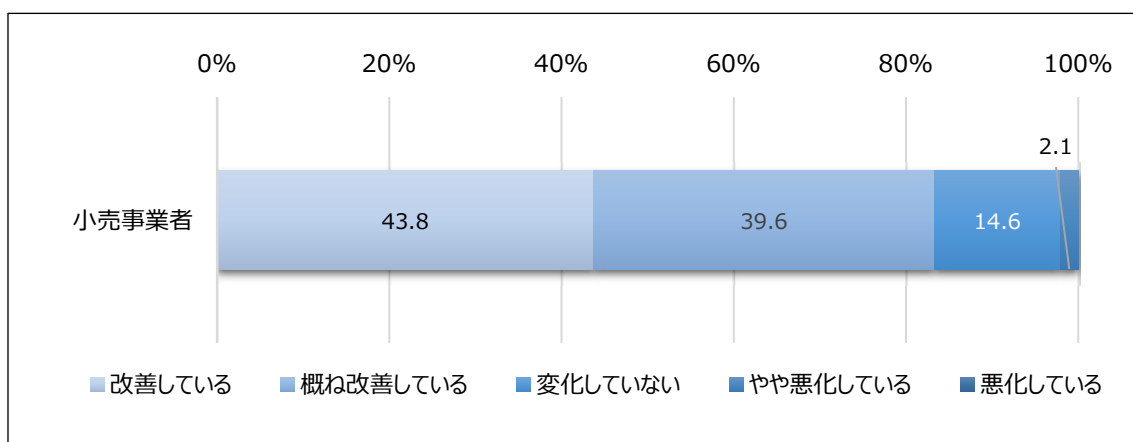
＜小売＞

貴社が着荷主となる場合の荷待ちの発生状況について、ここ2～3年の状況の変化について、一つ選択してください。

〔表2-2-11〕 物流センターでの荷待ちの改善状況

	回答数	構成比 (%)
改善している	21	43.8
概ね改善している	19	39.6
変化していない	7	14.6
やや悪化している	1	2.1
悪化している	0	0.0
合計	48	100.0

〔図2-2-11〕 物流センターでの荷待ちの改善状況



(2) 物流に関する質問への回答（続き）

④ トラック予約システムの整備状況

【納品先でのトラック予約システムの整備状況】

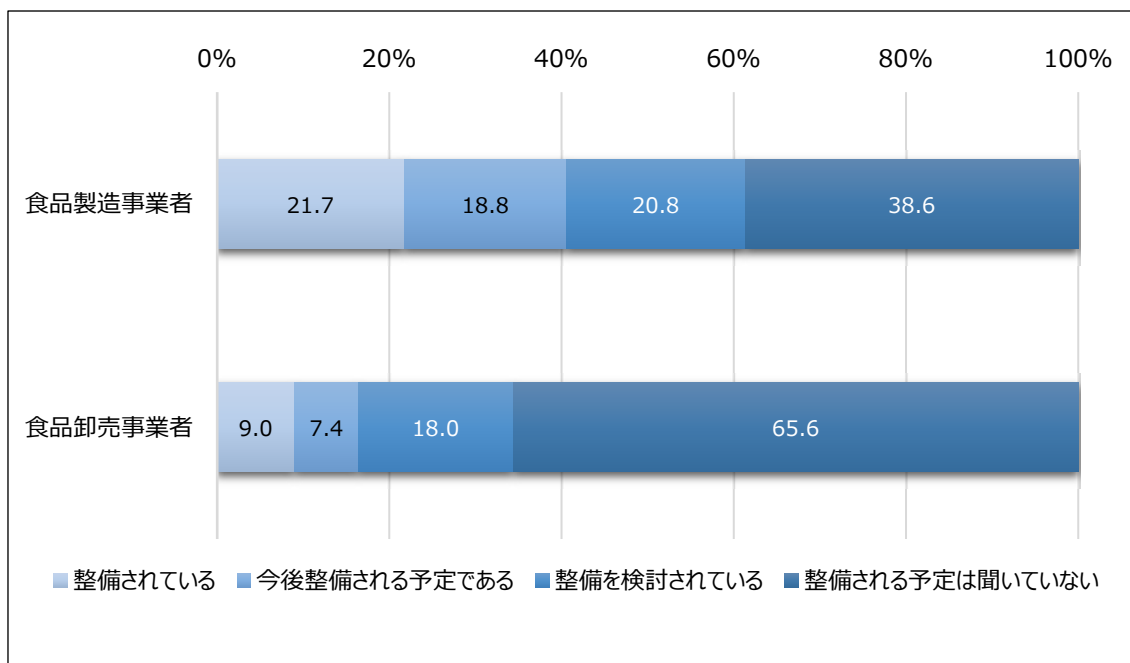
<製造> <食品卸>

納品先のトラック予約システムの整備状況について、一つ選択してください。（納品先の件数のうち、最も割合の高いものを回答してください。）

〔表 2 - 2 - 12〕 納品先でのトラック予約システムの整備状況

	回答数			構成比（％）		
	全体	製造	食品卸	全体	製造	食品卸
整備されている	56	45	11	17.0	21.7	9.0
今後整備される予定である	48	39	9	14.6	18.8	7.4
整備を検討されている	65	43	22	19.8	20.8	18.0
整備される予定は聞いていない	160	80	80	48.6	38.6	65.6
合計	329	207	122	100.0	100.0	100.0

〔図 2 - 2 - 12〕 納品先でのトラック予約システムの整備状況



(2) 物流に関する質問への回答（続き）

【自社でのトラック予約システムの整備状況】

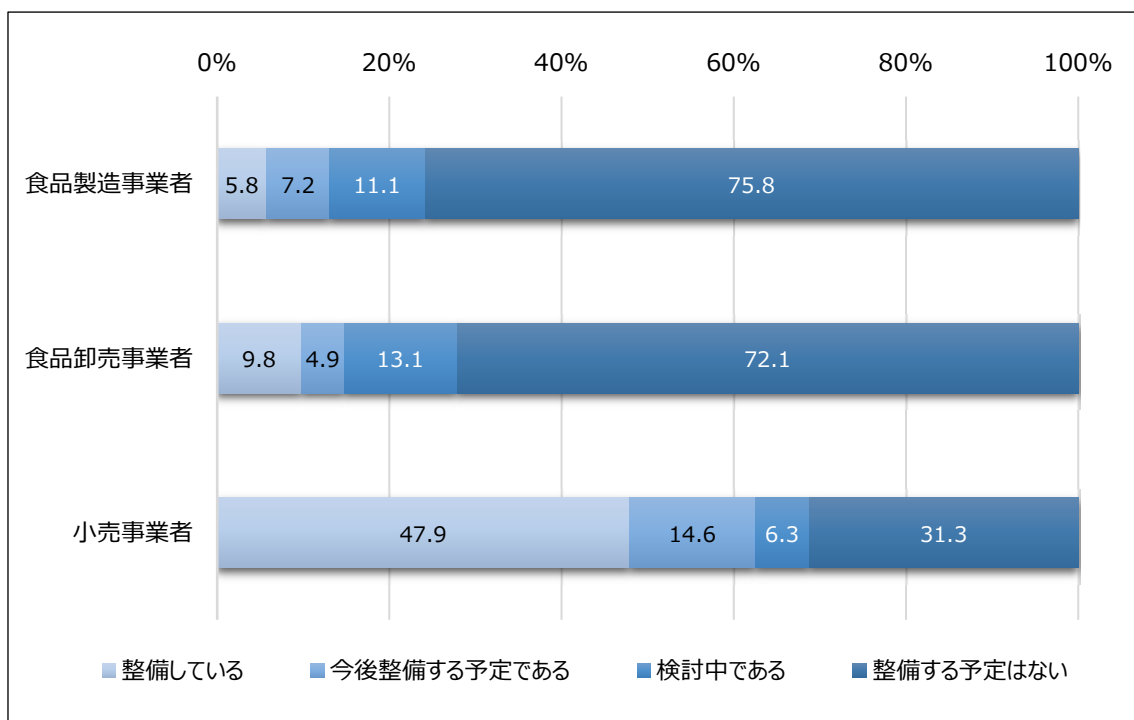
<製造> <食品卸> <小売>

貴社のトラック予約システムの整備状況について、一つ選択してください。

〔表 2 - 2 -13〕 自社のトラック予約システムの整備状況

	回答数				構成比 (%)			
	全体	製造	食品卸	小売	全体	製造	食品卸	小売
整備している	47	12	12	23	12.5	5.8	9.8	47.9
今後整備する予定である	28	15	6	7	7.4	7.2	4.9	14.6
検討中である	42	23	16	3	11.1	11.1	13.1	6.3
整備する予定はない	260	157	88	15	69.0	75.8	72.1	31.3
合計	377	207	122	48	100.0	100.0	100.0	100.0

〔図 2 - 2 -13〕 自社のトラック予約システムの整備状況



(2) 物流に関する質問への回答 (続き)

【自社のトラック予約システムの種類】

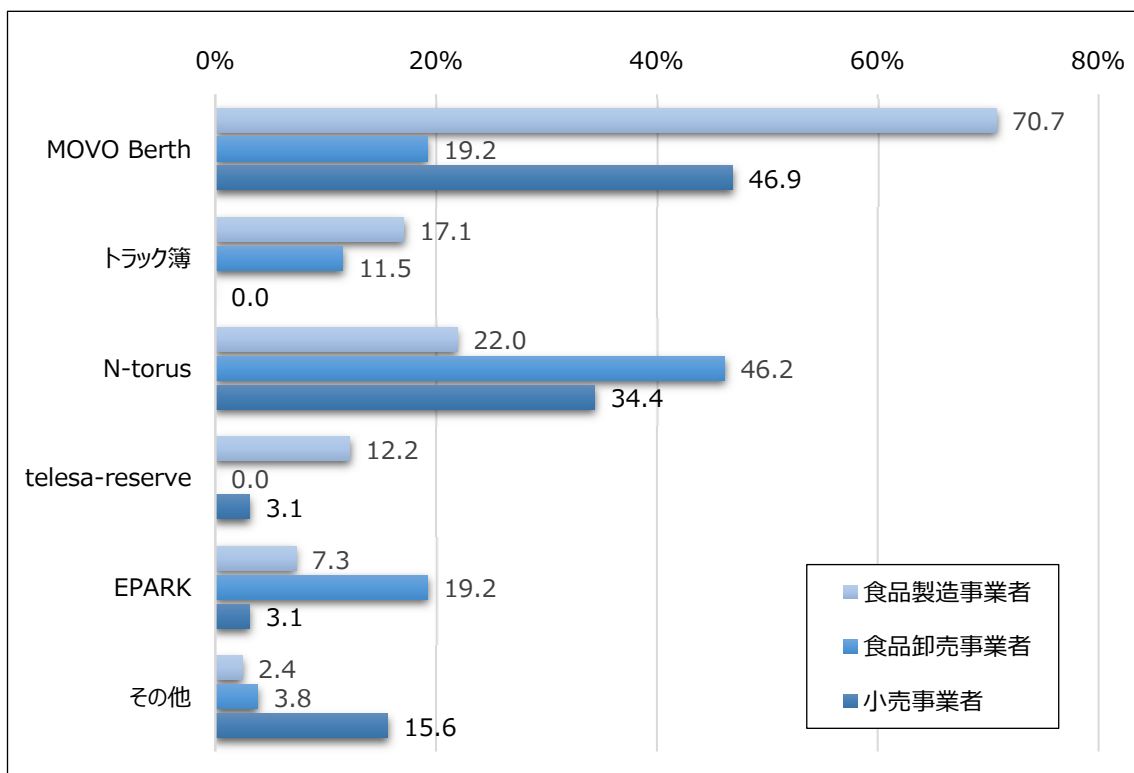
<製造> <食品卸> <小売>

貴社で導入した又は導入予定のトラック予約システムについて、選択してください（複数選択可）。

〔表 2 - 2 -14〕 自社のトラック予約システムの種類

	回答数				構成比 (%)			
	全体	製造	食品卸	小売	全体	製造	食品卸	小売
MOVO Berth (株式会社 Hacobu)	49	29	5	15	49.5	70.7	19.2	46.9
トラック簿 (株式会社モノフル)	10	7	3	0	10.1	17.1	11.5	0.0
N-torus (一般社団法人日本加工食品卸協会)	32	9	12	11	32.3	22.0	46.2	34.4
telesa-reserve (株式会社 TSUNAGUTE)	6	5	0	1	6.1	12.2	0.0	3.1
EPARK (株式会社 EPARK)	9	3	5	1	9.1	7.3	19.2	3.1
その他	7	1	1	5	7.1	2.4	3.8	15.6
合計	99	41	26	32	100.0	100.0	100.0	100.0

〔図 2 - 2 -14〕 自社のトラック予約システムの種類



(3) 商慣習の見直し及びデジタル化に関する質問への回答

① 納品期限指定の状況

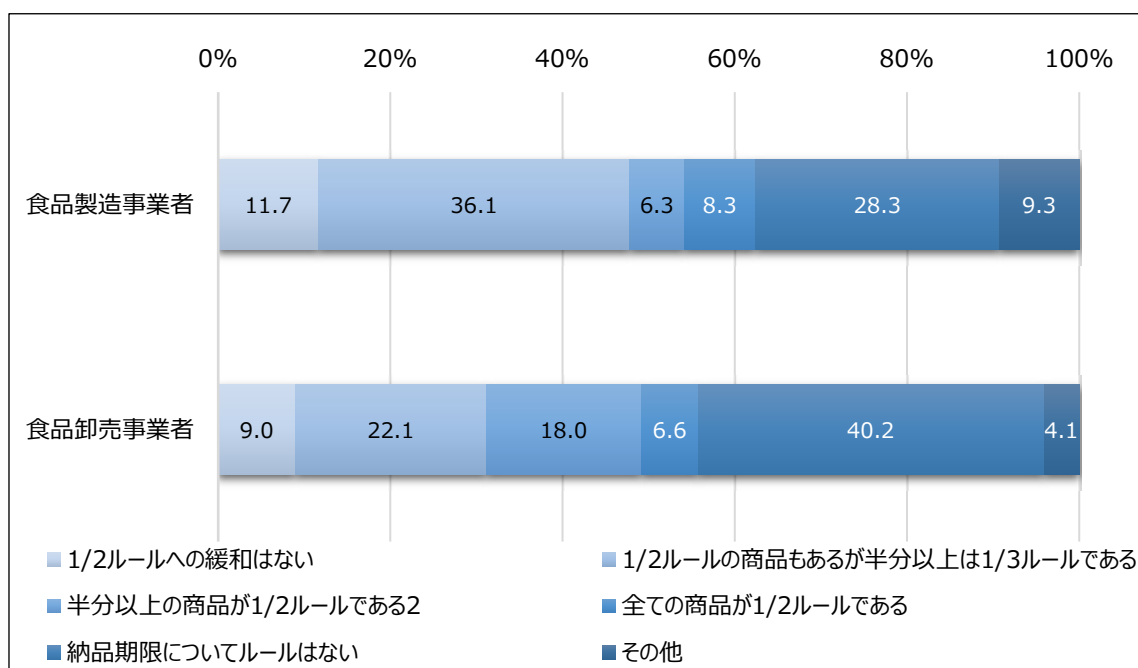
【納品期限の指定の状況】

<製造> <食品卸> 納品先の納品期限の状況について、一つ選択してください。

〔表 2 - 3 - 1〕 納品期限指定の状況

	回答数			構成比 (%)		
	全体	製造	食品卸	全体	製造	食品卸
1/2 ルールへの緩和はない	35	24	11	10.7	11.7	9.0
1/2 ルールの商品もあるが半分以上は 1/3 ルールである	101	74	27	30.9	36.1	22.1
半分以上の商品が 1/2 ルールである	35	13	22	10.7	6.3	18.0
全ての商品が 1/2 ルールである	25	17	8	7.6	8.3	6.6
納品期限についてルールはない	107	58	49	32.7	28.3	40.2
その他	24	19	5	7.3	9.3	4.1
合計	327	205	122	100.0	100.0	100.0

〔図 2 - 3 - 1〕 納品期限指定の状況



(3) 商慣習の見直し及びデジタル化に関する質問への回答 (続き)

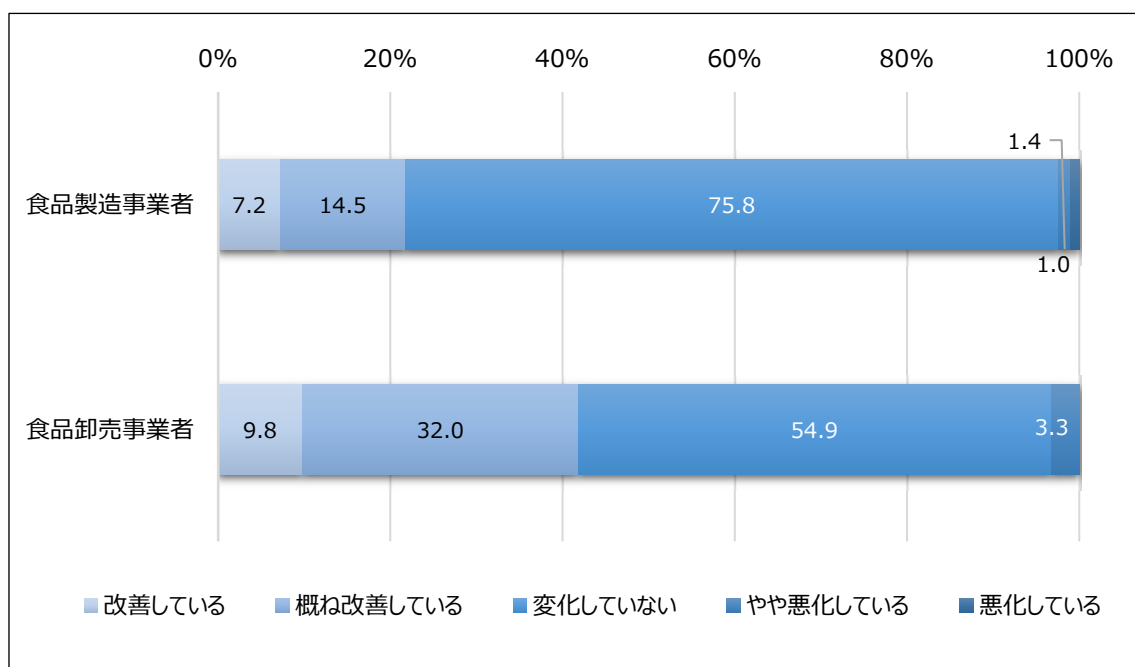
【納品期限指定の改善状況】

＜製造＞ ＜食品卸＞ ここ2～3年の納品期限の状況の変化について、一つ選択してください。

〔表2-3-2〕 納品期限指定の改善状況

	回答数			構成比 (%)		
	全体	製造	食品卸	全体	製造	食品卸
改善している	27	15	12	8.2	7.2	9.8
概ね改善している	69	30	39	21.0	14.5	32.0
変化していない	224	157	67	68.1	75.8	54.9
やや悪化している	7	3	4	2.1	1.4	3.3
悪化している	2	2	0	0.6	1.0	0.0
合計	329	207	122	100.0	100.0	100.0

〔図2-3-2〕 納品期限指定の改善状況



（３） 商慣習の見直し及びデジタル化に関する質問への回答（続き）

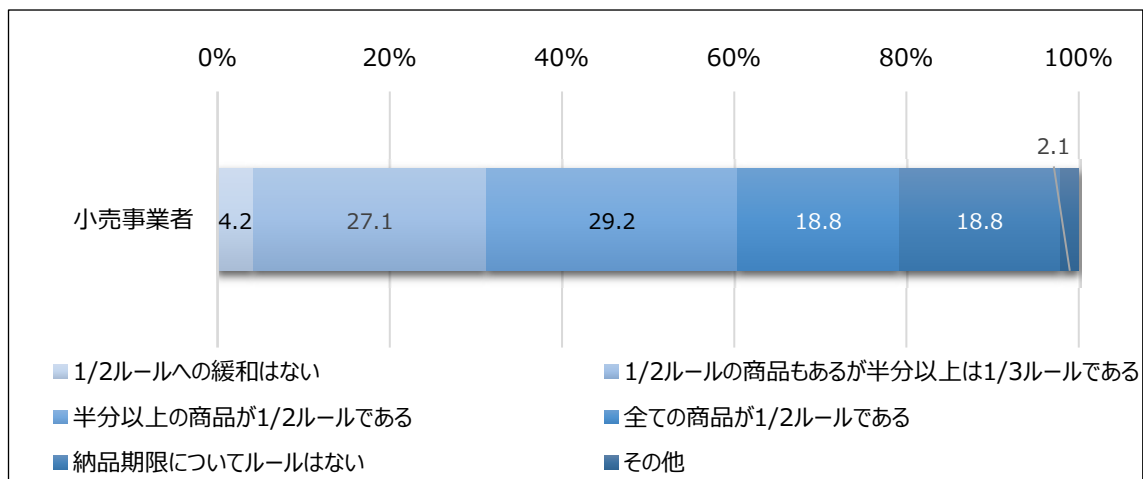
【納品期限指定の状況】

＜小売＞ 納品先の納品期限の状況について、一つ選択してください。

〔表 2 - 3 - 3〕 納品期限指定の状況

	回答数	構成比（％）
1/2 ルールへの緩和はない	2	4.2
1/2 ルールの商品もあるが半分以上は 1/3 ルールである	13	27.1
半分以上の商品が 1/2 ルールである	14	29.2
全ての商品が 1/2 ルールである	9	18.8
納品期限についてルールはない	9	18.8
その他	1	2.1
合計	48	100.0

〔図 2 - 3 - 3〕 納品期限指定の状況



（３） 商慣習の見直し及びデジタル化に関する質問への回答（続き）

【納品期限指定の対象カテゴリー】

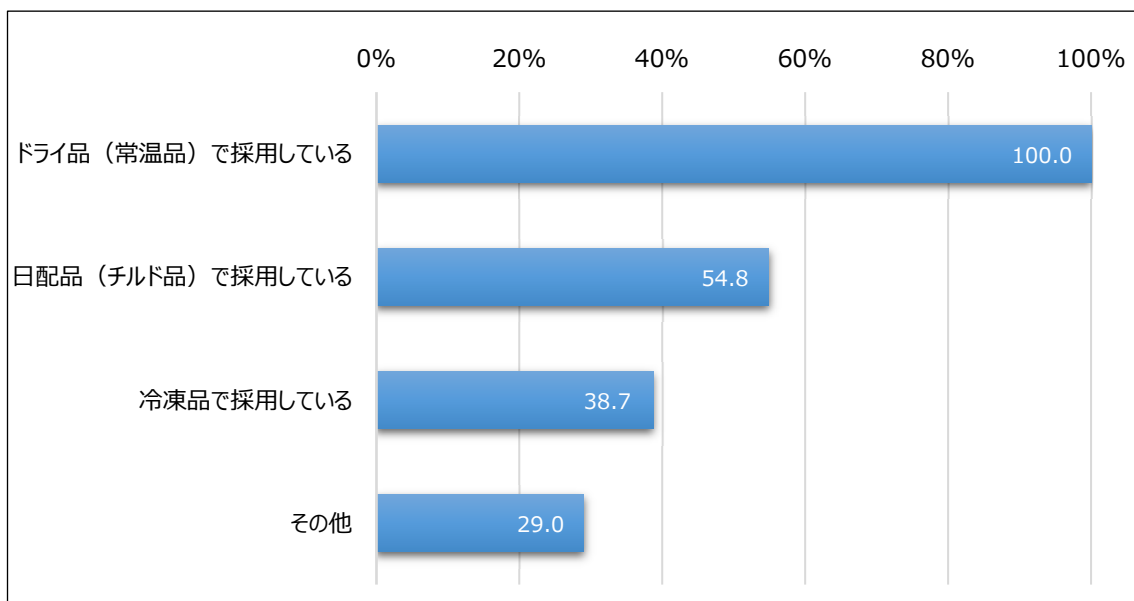
<小売>

前問で「半分以上の商品が1/2ルールである」及び「1/2ルールの商品もあるが半分以上は1/3ルールである」を選択した場合、対象となるカテゴリーについて選択してください（複数回答可）。

〔表 2 - 3 - 4〕 納品期限指定の対象カテゴリー

	回答数	構成比 (%)
ドライ品（常温品）で採用している	31	100.0
日配品（チルド品）で採用している	17	54.8
冷凍品で採用している	12	38.7
その他	9	29.0
合計	31	100.0

〔図 2 - 3 - 4〕 納品期限指定の対象カテゴリー



(3) 商慣習の見直し及びデジタル化に関する質問への回答（続き）

【納品期限指定の改善状況】

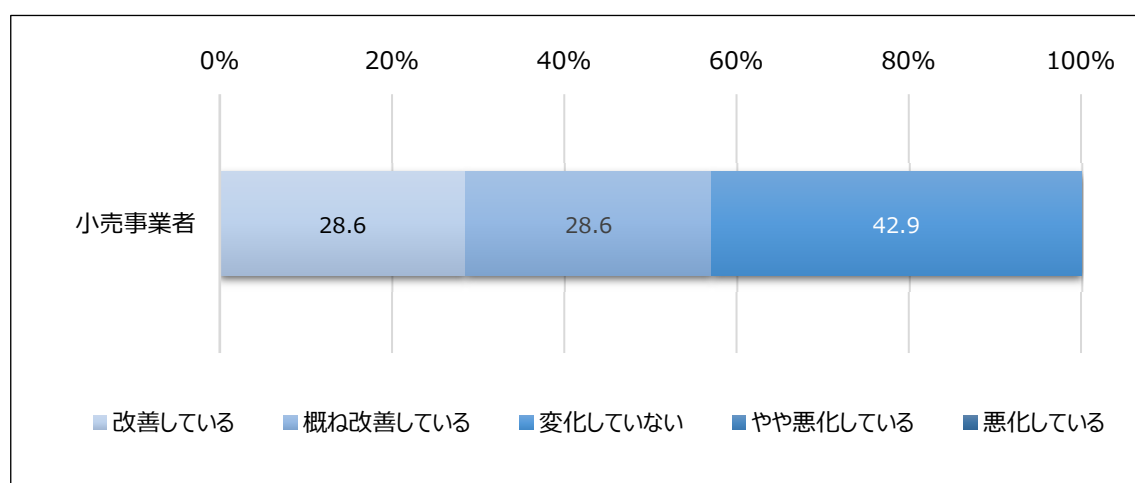
<小売>

ここ2～3年の納品期限の状況の変化について、一つ選択してください。

〔表2-3-5〕 納品期限指定の改善状況

	回答数	構成比 (%)
改善している	12	28.6
概ね改善している	12	28.6
変化していない	18	42.9
やや悪化している	0	0.0
悪化している	0	0.0
合計	42	100.0

〔図2-3-5〕 納品期限指定の改善状況



(3) 商慣習の見直し及びデジタル化に関する質問への回答 (続き)

② リードタイムの設定状況

【リードタイムの設定状況】

＜製造＞ ＜食品卸＞

貴社の商品のうち、ドライ品（常温品）について、発注を受けてから納品するまでのリードタイムについて、下記の納品先ごとに、最も割合が高いものを選択してください。（該当しない場合には「扱っていない」を選択してください。）

→ 結果は p.51

【リードタイムの設定状況】

＜製造＞ ＜食品卸＞

貴社の商品のうち、日配品（チルド品）について、発注を受けてから納品するまでのリードタイムについて、下記の納品先ごとに、最も割合が高いものを選択してください。（該当しない場合には「扱っていない」を選択してください。）

→ 結果は p.52

【リードタイムの設定状況】

＜製造＞ ＜食品卸＞

貴社の商品のうち、冷凍品について、発注を受けてから納品するまでのリードタイムについて、下記の納品先ごとに、最も割合が高いものを選択してください。（該当しない場合には「扱っていない」を選択してください。）

→ 結果は p.53

(3) 商慣習の見直し及びデジタル化に関する質問への回答 (続き)

[表2-3-6] リードタイムの設定状況：ドライ品（常温品）

	回 答 数											
	全 体				食品製造事業者				食品卸売事業者			
	BrOB（工場等）	食品卸の物流センター	小売の物流センター	店舗（スーパーマーケット、レストラン等）	BrOB（工場等）	食品卸の物流センター	小売の物流センター	店舗（スーパーマーケット、レストラン等）	BrOB（工場等）	食品卸の物流センター	小売の物流センター	店舗（スーパーマーケット、レストラン等）
リードタイム0日 （当日納品）	13	15	24	16	10	13	16	11	3	2	8	5
リードタイム1日 （翌日納品）	64	62	60	81	25	24	25	23	39	38	35	58
リードタイム2日	46	52	35	39	23	21	19	21	23	31	16	18
リードタイム3日	13	17	12	7	4	5	4	4	9	12	8	3
リードタイム4日以降	19	15	8	9	9	7	5	4	10	8	3	5
リードタイムはない	27	26	25	23	17	19	19	18	10	7	6	5
扱っていない	147	142	165	154	119	118	119	126	28	24	46	28
合計	329	329	329	329	207	207	207	207	122	122	122	122
	構 成 比 (%)											
	全 体				食品製造事業者				食品卸売事業者			
リードタイム0日 （当日納品）	7.1	8.0	14.6	9.1	11.4	14.6	18.2	13.6	3.2	2.0	10.5	5.3
リードタイム1日 （翌日納品）	35.2	33.2	36.6	46.3	28.4	27.0	28.4	28.4	41.5	38.8	46.1	61.7
リードタイム2日	25.3	27.8	21.3	22.3	26.1	23.6	21.6	25.9	24.5	31.6	21.1	19.1
リードタイム3日	7.1	9.1	7.3	4.0	4.5	5.6	4.5	4.9	9.6	12.2	10.5	3.2
リードタイム4日以降	10.4	8.0	4.9	5.1	10.2	7.9	5.7	4.9	10.6	8.2	3.9	5.3
リードタイムはない	14.8	13.9	15.2	13.1	19.3	21.3	21.6	22.2	10.6	7.1	7.9	5.3
扱っていない												
合計	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

※ 構成比は「扱っていない」を除く

(3) 商慣習の見直し及びデジタル化に関する質問への回答 (続き)

[表2-3-7] リードタイムの設定状況：日配品（チルド品）

	回 答 数											
	全 体				食品製造事業者				食品卸売事業者			
	BtoB（工場等）	食品卸の物流センター	小売の物流センター	店舗（スーパーマーケット、レストラン等）	BtoB（工場等）	食品卸の物流センター	小売の物流センター	店舗（スーパーマーケット、レストラン等）	BtoB（工場等）	食品卸の物流センター	小売の物流センター	店舗（スーパーマーケット、レストラン等）
リードタイム0日 （当日納品）	13	11	23	19	11	9	13	10	2	2	10	9
リードタイム1日 （翌日納品）	65	69	69	81	32	30	35	32	33	39	34	49
リードタイム2日	69	85	71	67	42	56	56	47	27	29	15	20
リードタイム3日	33	42	35	20	23	29	26	14	10	13	9	6
リードタイム4日以降	47	33	23	19	39	27	20	16	8	6	3	3
リードタイムはない	23	15	13	15	14	10	9	10	9	5	4	5
扱っていない	79	74	95	108	46	46	48	78	33	28	47	30
合計	329	329	329	329	207	207	207	207	122	122	122	122
	構 成 比（%）											
	全 体				食品製造事業者				食品卸売事業者			
リードタイム0日 （当日納品）	5.2	4.3	9.8	8.6	6.8	5.6	8.2	7.8	2.2	2.1	13.3	9.8
リードタイム1日 （翌日納品）	26.0	27.1	29.5	36.7	19.9	18.6	22.0	24.8	37.1	41.5	45.3	53.3
リードタイム2日	27.6	33.3	30.3	30.3	26.1	34.8	35.2	36.4	30.3	30.9	20.0	21.7
リードタイム3日	13.2	16.5	15.0	9.0	14.3	18.0	16.4	10.9	11.2	13.8	12.0	6.5
リードタイム4日以降	18.8	12.9	9.8	8.6	24.2	16.8	12.6	12.4	9.0	6.4	4.0	3.3
リードタイムはない	9.2	5.9	5.6	6.8	8.7	6.2	5.7	7.8	10.1	5.3	5.3	5.4
扱っていない												
合計	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

※ 構成比は「扱っていない」を除く

(3) 商慣習の見直し及びデジタル化に関する質問への回答 (続き)

[表2-3-8] リードタイムの設定状況：冷凍品

	回 答 数											
	全 体				食品製造事業者				食品卸売事業者			
	BOB (工場等)	食品卸の物流センター	小売の物流センター	店舗 (スーパーマーケット、レストラン等)	BOB (工場等)	食品卸の物流センター	小売の物流センター	店舗 (スーパーマーケット、レストラン等)	BOB (工場等)	食品卸の物流センター	小売の物流センター	店舗 (スーパーマーケット、レストラン等)
リードタイム0日 (当日納品)	10	10	15	13	8	8	9	7	2	2	6	6
リードタイム1日 (翌日納品)	43	49	49	65	10	18	19	13	33	31	30	52
リードタイム2日	44	47	28	31	21	18	15	15	23	29	13	16
リードタイム3日	17	20	16	13	6	6	6	6	11	14	10	7
リードタイム4日以降	22	18	14	11	11	11	10	8	11	7	4	3
リードタイムはない	29	28	31	27	21	21	22	22	8	7	9	5
扱っていない	164	157	176	169	130	125	126	136	34	32	50	33
合計	329	329	329	329	207	207	207	207	122	122	122	122
	構 成 比 (%)											
	全 体				食品製造事業者				食品卸売事業者			
リードタイム0日 (当日納品)	6.1	5.8	9.8	8.1	10.4	9.8	11.1	9.9	2.3	2.2	8.3	6.7
リードタイム1日 (翌日納品)	26.1	28.5	32.0	40.6	13.0	22.0	23.5	18.3	37.5	34.4	41.7	58.4
リードタイム2日	26.7	27.3	18.3	19.4	27.3	22.0	18.5	21.1	26.1	32.2	18.1	18.0
リードタイム3日	10.3	11.6	10.5	8.1	7.8	7.3	7.4	8.5	12.5	15.6	13.9	7.9
リードタイム4日以降	13.3	10.5	9.2	6.9	14.3	13.4	12.3	11.3	12.5	7.8	5.6	3.4
リードタイムはない	17.6	16.3	20.3	16.9	27.3	25.6	27.2	31.0	9.1	7.8	12.5	5.6
扱っていない												
合計	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

※ 構成比は「扱っていない」を除く

〔3〕 商慣習の見直し及びデジタル化に関する質問への回答（続き）

【リードタイムの改善状況】

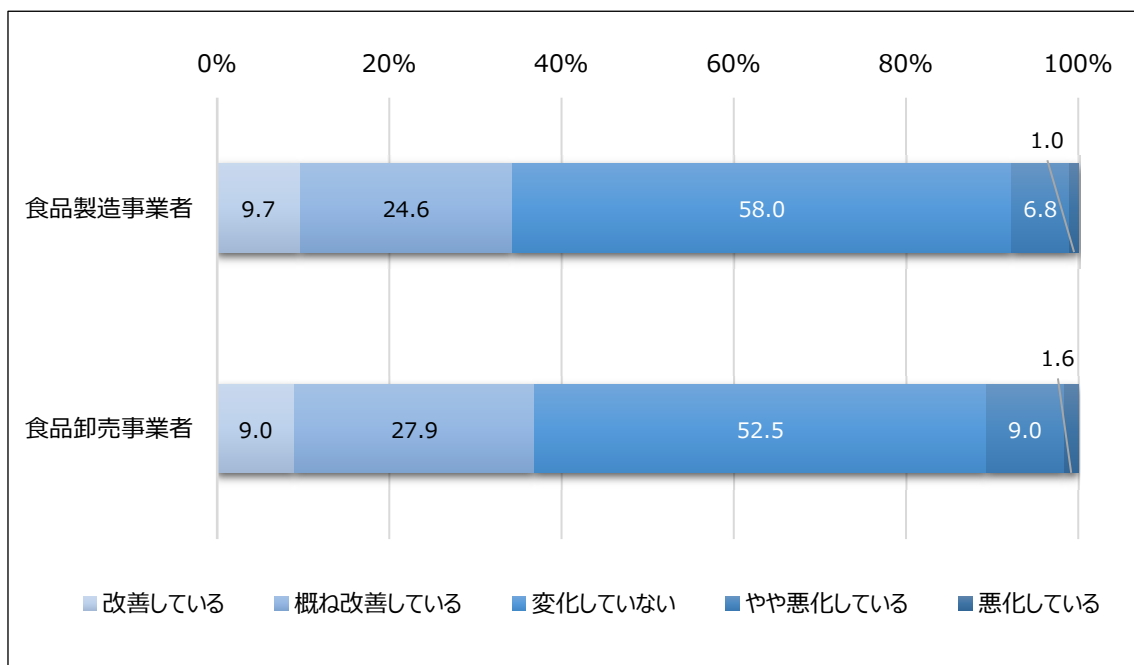
＜製造＞ ＜食品卸＞

ここ2～3年のリードタイムの状況の変化について、一つ選択してください。

〔表2-3-9〕 リードタイムの改善状況

	回答数			構成比（％）		
	全体	製造	食品卸	全体	製造	食品卸
改善している	31	20	11	9.4	9.7	9.0
概ね改善している	85	51	34	25.8	24.6	27.9
変化していない	184	120	64	55.9	58.0	52.5
やや悪化している	25	14	11	7.6	6.8	9.0
悪化している	4	2	2	1.2	1.0	1.6
合計	329	207	122	100.0	100.0	100.0

〔図2-3-9〕 リードタイムの改善状況



(3) 商慣習の見直し及びデジタル化に関する質問への回答 (続き)

【リードタイムの設定状況】

<小売>

貴社の商品について、発注してから納品されるまでのリードタイムについて、下記の商品ごとに、最も割合が高いものを選択してください。(該当しない場合には「扱っていない」を選択してください。)

[表2-3-10] リードタイムの設定状況 (小売への納品)

※ 構成比は「扱っていない」を除く

	回 答 数				構成比 (%)			
	ドライ品 (常温品)	日配品 (チルド品)	冷凍品	店舗直送品 (パン等)	ドライ品 (常温品)	日配品 (チルド品)	冷凍品	店舗直送品 (パン等)
リードタイム0日(当日納品)	5	3	4	2	13.5	8.3	11.1	6.1
リードタイム1日(翌日納品)	21	20	21	18	56.8	55.6	58.3	54.5
リードタイム2日	9	13	11	13	24.3	36.1	30.6	39.4
リードタイム3日	1	0	0	0	2.7	0.0	0.0	0.0
リードタイム4日以降	1	0	0	0	2.7	0.0	0.0	0.0
リードタイムはない	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
扱っていない	0	1	1	4				
合計	37	37	37	37	100.0	100.0	100.0	100.0

(3) 商慣習の見直し及びデジタル化に関する質問への回答（続き）

【リードタイムの改善状況】

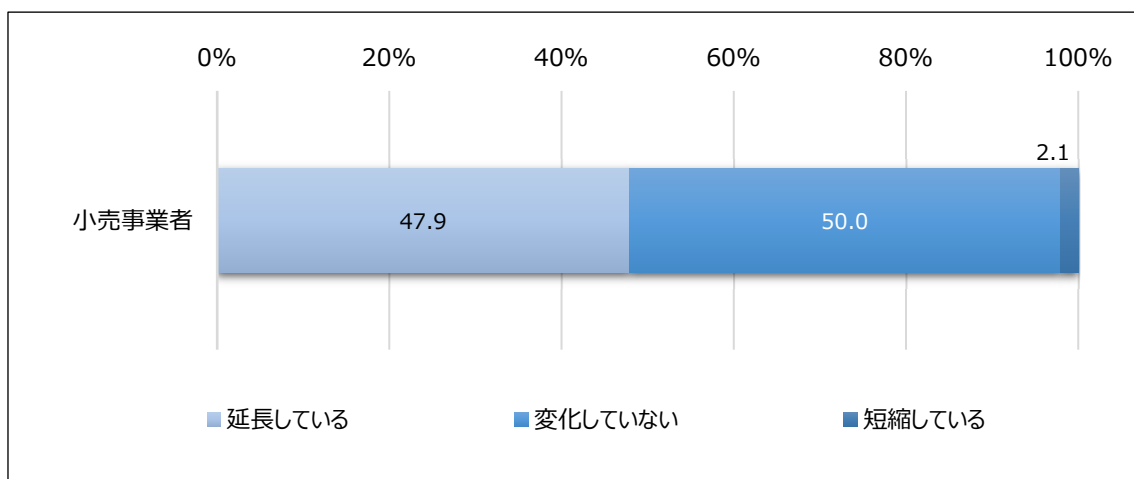
<小売>

ここ2～3年のリードタイムの状況の変化について、一つ選択してください。

〔表2-3-11〕 リードタイムの改善状況

	回答数	構成比 (%)
延長している	23	47.9
変化していない	24	50.0
短縮している	1	2.1
合計	48	100.0

〔図2-3-11〕 リードタイムの改善状況



(3) 商慣習の見直し及びデジタル化に関する質問への回答 (続き)

[表2-3-12] 納品先、カテゴリごとの平均リードタイム

	平均リードタイム (日)											
	BtoB (工場等)			食品卸の 物流センター			小売の 物流センター			店舗 (SM、レストラン等)		
	ドライ品 (常温品)	日配品 (チルド品)	冷凍品	ドライ品 (常温品)	日配品 (チルド品)	冷凍品	ドライ品 (常温品)	日配品 (チルド品)	冷凍品	ドライ品 (常温品)	日配品 (チルド品)	冷凍品
食品製造事業者	1.68	2.32	2.04	1.56	2.23	1.90	1.38	2.03	1.81	1.48	1.95	1.90
食品卸売事業者	1.81	1.86	1.95	1.85	1.80	1.92	1.47	1.45	1.62	1.38	1.37	1.39

※ 「リードタイム4日以降」は4日として、日数と回答者数から平均リードタイムを算出、
「リードタイムはない」の回答は除く。

[表2-3-13] 小売店舗に納品する場合の平均リードタイム

	平均リードタイム (日)			
	ドライ品 (常温品)	日配品 (チルド品)	冷凍品	店舗直送品 (パン等)
小売事業者	1.68	2.32	2.04	1.56

※ 「リードタイム4日以降」は4日として、日数と回答者数から平均リードタイムを算出、
「リードタイムはない」の回答は除く。

(3) 商慣習の見直し及びデジタル化に関する質問への回答 (続き)

③ デジタル化の状況

【納品伝票の電子化の状況】

<製造>

(貴社が発荷主となる場合の) 伝票の電子化の状況について、一つ選択してください。

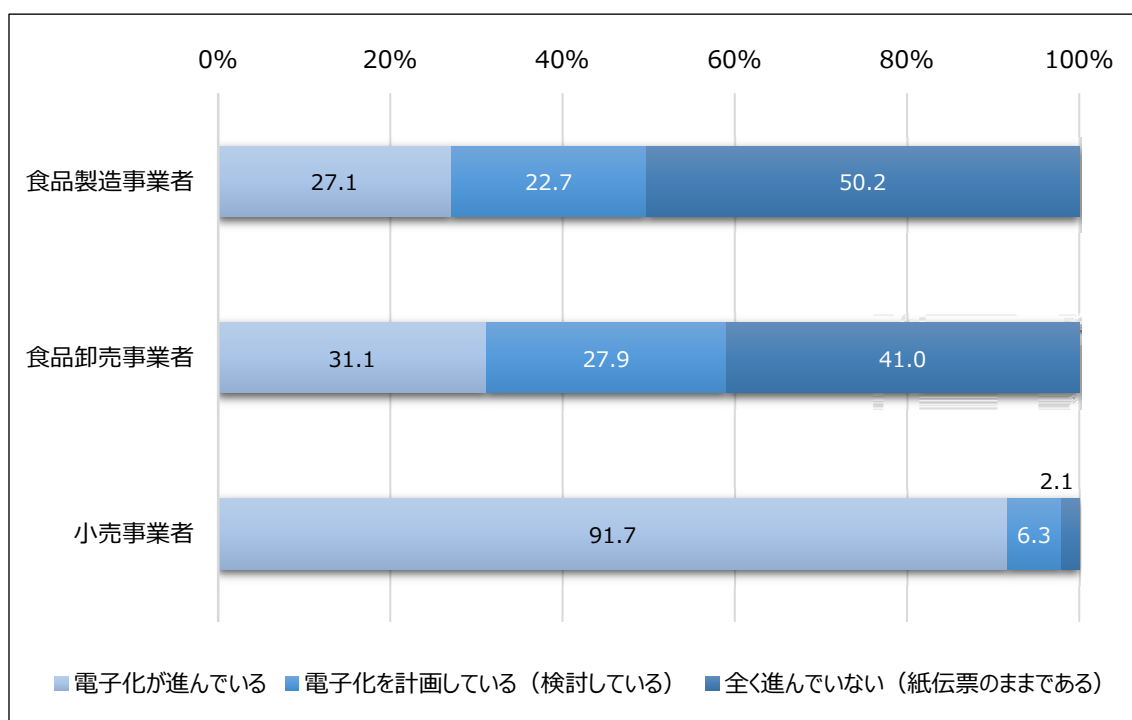
<食品卸> <小売>

貴社が着荷主となる場合の伝票の電子化の状況について、一つ選択してください。

〔表 2 - 3 -14〕 納品伝票の電子化の状況

	回答数				構成比 (%)			
	製造	全体 (着荷側)	食品卸	小売	製造	全体 (着荷側)	食品卸	小売
電子化が進んでいる	56	82	38	44	27.1	48.2	31.1	91.7
電子化を計画している (検討している)	47	37	34	3	22.7	21.8	27.9	6.3
全く進んでいない (紙伝票のままである)	104	51	50	1	50.2	30.0	41.0	2.1
合計	207	170	122	48	100.0	100.0	100.0	100.0

〔図 2 - 3 -14〕 納品伝票の電子化の状況



(3) 商慣習の見直し及びデジタル化に関する質問への回答 (続き)

【納品伝票の電子化の改善状況】

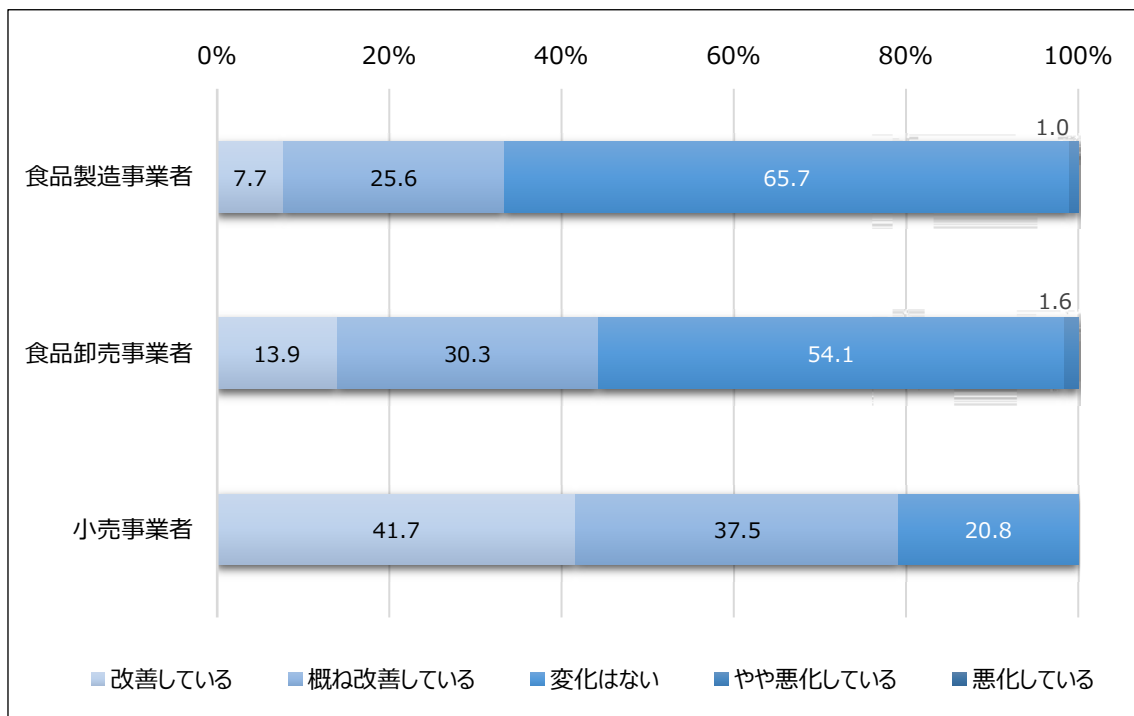
<製造> <食品卸> <小売>

伝票の電子化について、ここ2～3年の状況の変化について、一つ選択してください。

〔表2-3-15〕 納品伝票の電子化の改善状況

	回答数				構成比 (%)			
	製造	全体 (着荷側)	食品卸	小売	製造	全体 (着荷側)	食品卸	小売
改善している	16	37	17	20	7.7	21.8	13.9	41.7
概ね改善している	53	55	37	18	25.6	32.4	30.3	37.5
変化はない	136	76	66	10	65.7	44.7	54.1	20.8
やや悪化している	2	2	2	0	1.0	1.2	1.6	0.0
悪化している	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	207	170	122	48	100.0	100.0	100.0	100.0

〔図2-3-15〕 納品伝票の電子化の改善状況



(3) 商慣習の見直し及びデジタル化に関する質問への回答（続き）

【ASN（事前出荷情報）の導入状況】

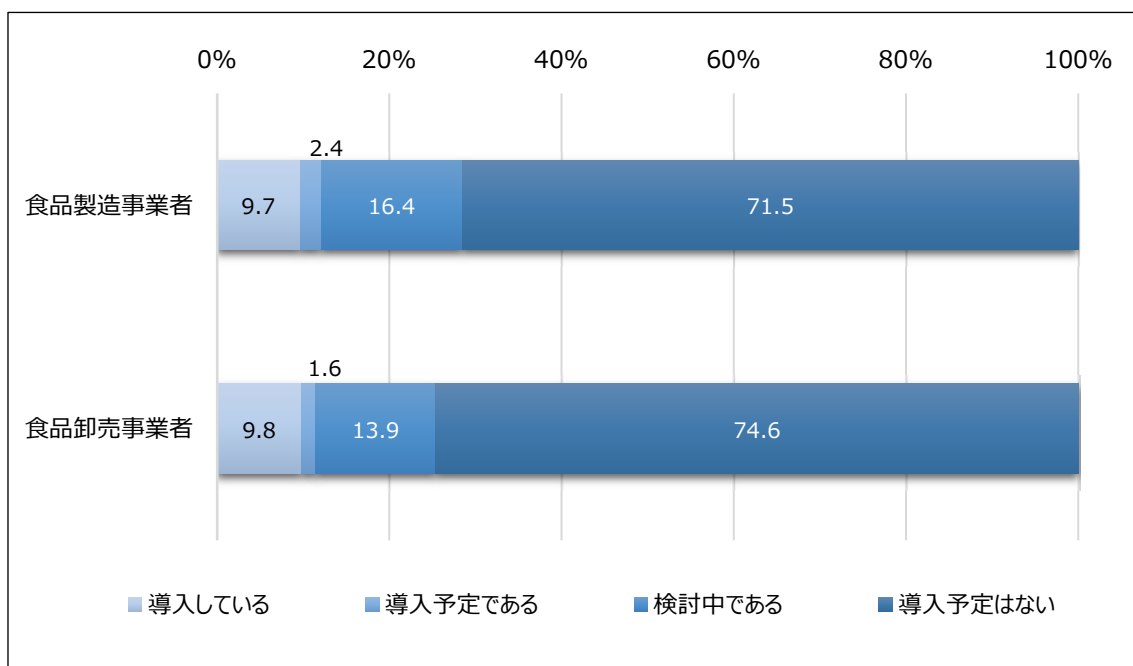
<製造> <食品卸>

貴社におけるASNの導入状況について、一つ選択してください。

〔表2-3-16〕ASNの導入状況

	回答数			構成比 (%)		
	全体	製造	食品卸	全体	製造	食品卸
導入している	32	20	12	9.7	9.7	9.8
導入予定である	7	5	2	2.1	2.4	1.6
検討中である	51	34	17	15.5	16.4	13.9
導入予定はない	239	148	91	72.6	71.5	74.6
合計	329	207	122	100.0	100.0	100.0

〔図2-3-16〕ASNの導入状況



(3) 商慣習の見直し及びデジタル化に関する質問への回答 (続き)

【ASNの活用状況（発荷側）】

<製造>

納品先との関係におけるASNの活用状況について、一つ選択してください（取引先の件数におけるASNの使用割合を回答してください）。

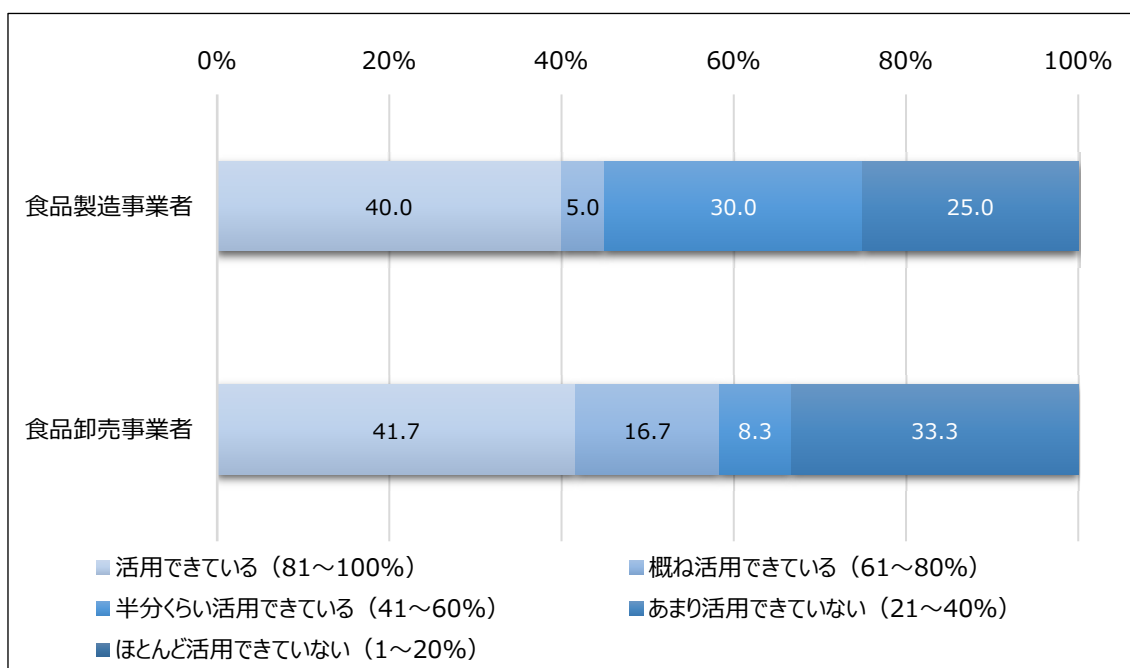
<食品卸>

貴社が発荷主となる場合の取引先とのASNの活用状況について、一つ選択してください（取引先の件数におけるASNの使用割合を回答してください）。

〔表2-3-17〕 ASN の活用状況（発荷側）

	回答数			構成比 (%)		
	全体	製造	食品卸	全体	製造	食品卸
活用できている (81~100%)	13	8	5	40.6	40.0	41.7
概ね活用できている (61~80%)	3	1	2	9.4	5.0	16.7
半分くらい活用できている (41~60%)	7	6	1	21.9	30.0	8.3
あまり活用できていない (21~40%)	9	5	4	28.1	25.0	33.3
ほとんど活用できていない (1~20%)	0	0	0	0.0	0.0	0.0
合計	32	20	12	100.0	100.0	100.0

〔図2-3-17〕 ASN の導入状況（発荷側）



（３） 商慣習の見直し及びデジタル化に関する質問への回答（続き）

【ASNの活用状況（着荷側）】

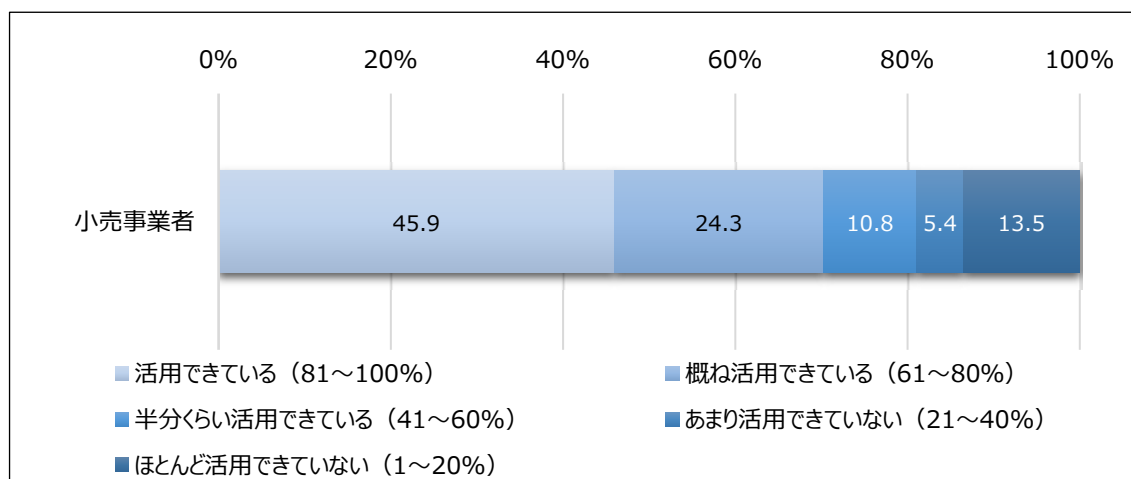
<小売>

貴社が発荷主となる場合の取引先とのASNの活用状況について、一つ選択してください（取引先の件数におけるASNの使用割合を回答してください）。

〔表 2 - 3 -18〕 ASN の活用状況（着荷側）

	回答数	構成比（％）
活用できている（81～100％）	17	45.9
概ね活用できている（61～80％）	9	24.3
半分くらい活用できている（41～60％）	4	10.8
あまり活用できていない（21～40％）	2	5.4
ほとんど活用できていない（1～20％）	5	13.5
合計	37	100.0

〔図 2 - 3 -18〕 ASN の活用状況（着荷側）



(3) 商慣習の見直し及びデジタル化に関する質問への回答 (続き)

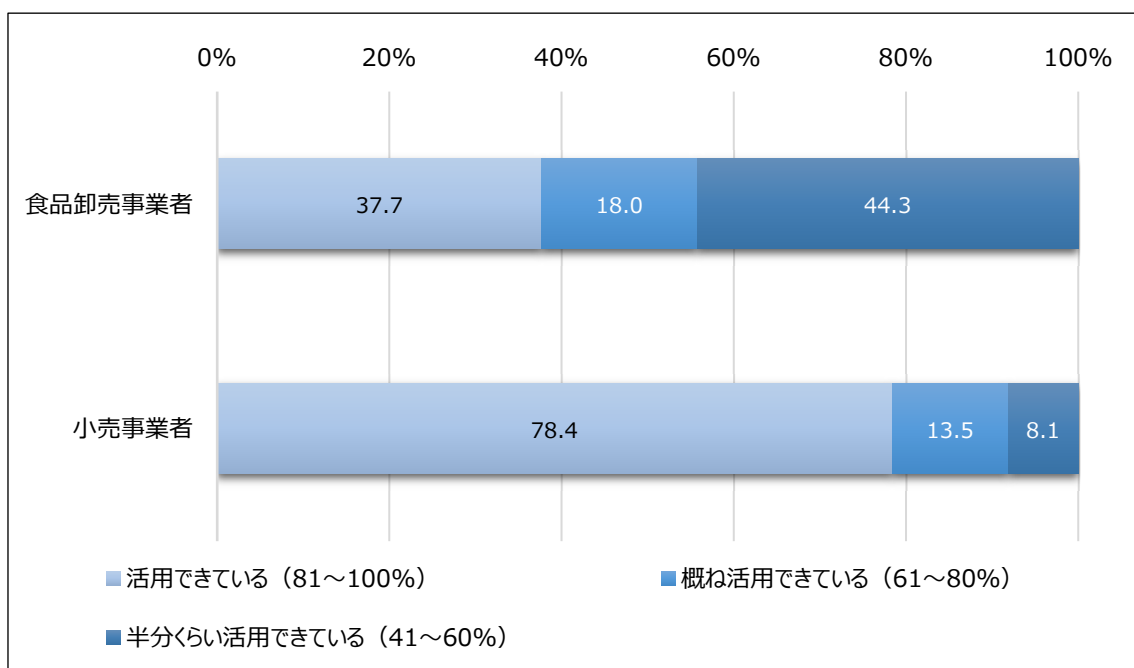
【自動発注システムの導入状況】

<食品卸> <小売> 貴社における自動発注システムの導入状況について、一つ選択してください。

〔表 2 - 3 - 19〕 自動発注システムの導入状況

	回答数			構成比 (%)		
	全体	食品卸	小売	全体	食品卸	小売
導入している	52	23	29	53.1	37.7	78.4
検討中である	16	11	5	16.3	18.0	13.5
導入していない	30	27	3	30.6	44.3	8.1
合計	98	61	37	100.0	100.0	100.0

〔図 2 - 3 - 19〕 自動発注システムの導入状況



（３） 商慣習の見直し及びデジタル化に関する質問への回答（続き）

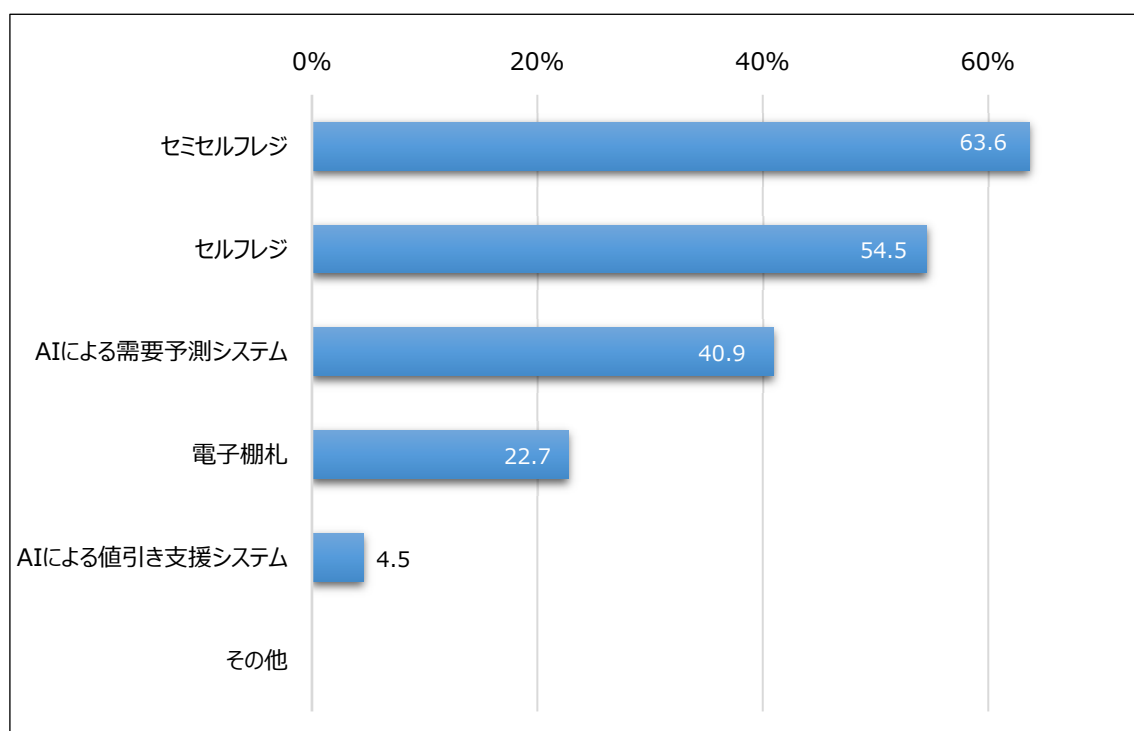
【DX化に向けた取組状況】

＜小売＞ 貴社におけるDX化に向けた取組状況について、選択してください（複数回答可）。

【表 2 - 3 - 20】 DX 化に向けた取組状況（小売事業者）

	回答数	構成比（％）
セミセルフレジ	28	63.6
セルフレジ	24	54.5
AI による需要予測システム	18	40.9
電子棚札	10	22.7
AI による値引き支援システム	2	4.5
その他	0	0.0
合計	44	100.0

【図 2 - 3 - 20】 DX 化に向けた取組状況（小売事業者）



(4) 環境配慮に関する質問への回答

① プラスチック条約の認知度及び関心度

【プラスチック条約の認知度及び関心度】

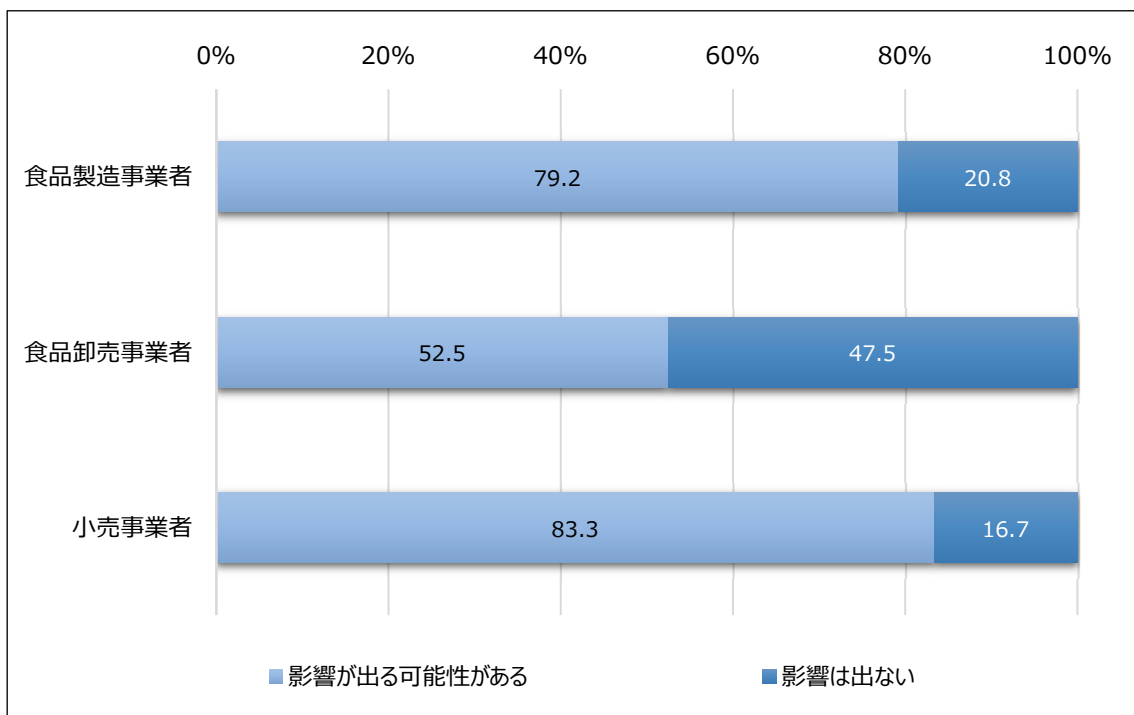
<製造> <食品卸> <小売>

プラスチック汚染対策に関して、EU包装規則を始め世界的にプラスチック使用に対する規制を設ける動きが強まっております。プラスチックの使用が規制されることにより、貴社の事業を行う上で影響が出る可能性があるか回答してください。

〔表 2-4-1〕 プラスチック条約の認知度及び関心度

	回答数				構成比 (%)			
	全体	製造	食品卸	小売	全体	製造	食品卸	小売
影響が出る可能性がある	268	164	64	40	71.1	79.2	52.5	83.3
影響は出ない	109	43	58	8	28.9	20.8	47.5	16.7
合計	377	207	122	48	100.0	100.0	100.0	100.0

〔表 2-4-1〕 プラスチック条約の認知度及び関心度



(4) 環境配慮に関する質問への回答(続き)

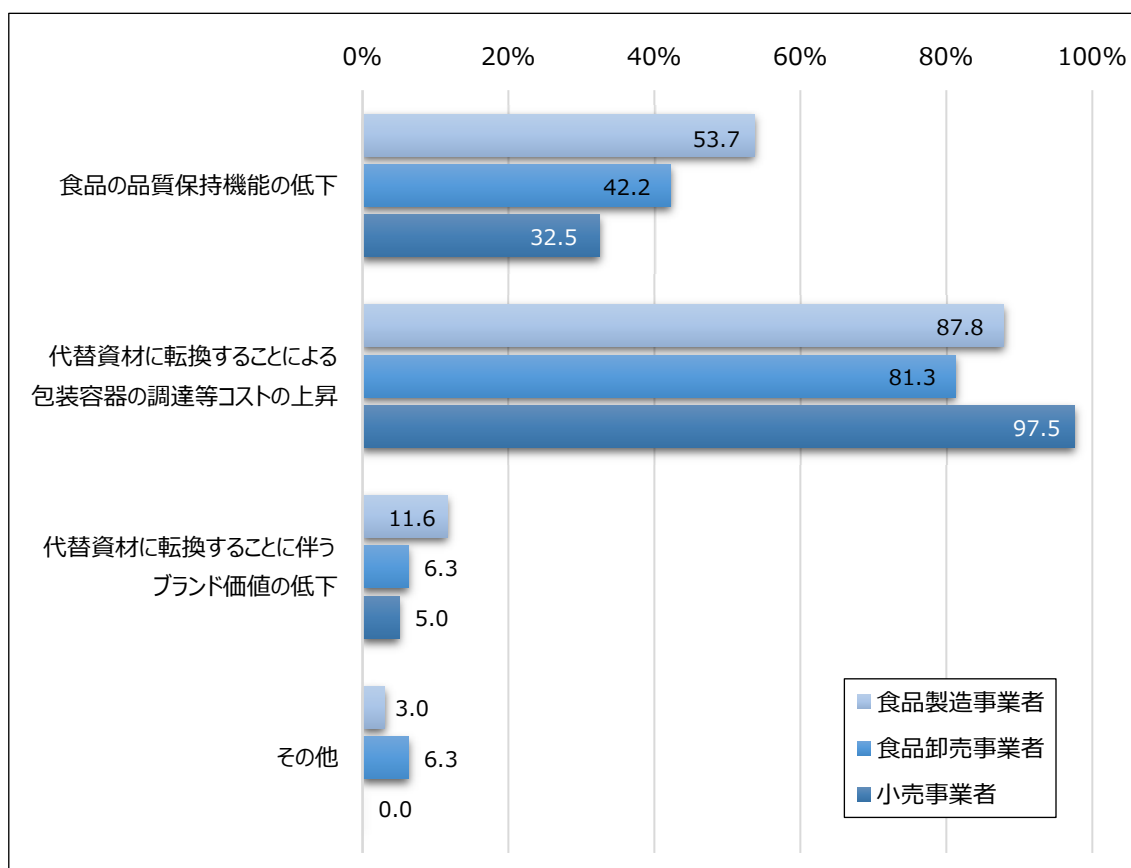
<製造> <食品卸> <小売>

前問で「影響が出る可能性がある」と回答した場合、どのような影響が出る可能性があるか回答してください。
(複数選択可)

[表2-4-2] プラスチック条約の影響度

	回答数				構成比 (%)			
	全体	製造	食品卸	小売	全体	製造	食品卸	小売
食品の品質保持機能の低下	128	88	27	13	47.8	53.7	42.2	32.5
代替資材に転換することによる包装容器の調達等コストの上昇	235	144	52	39	87.7	87.8	81.3	97.5
代替資材に転換することに伴うブランド価値の低下	25	19	4	2	9.3	11.6	6.3	5.0
その他	9	5	4	0	3.4	3.0	6.3	0.0
合計	268	164	64	40	100.0	100.0	100.0	100.0

[表2-4-2] プラスチック条約の影響度



(4) 環境配慮に関する質問への回答（続き）

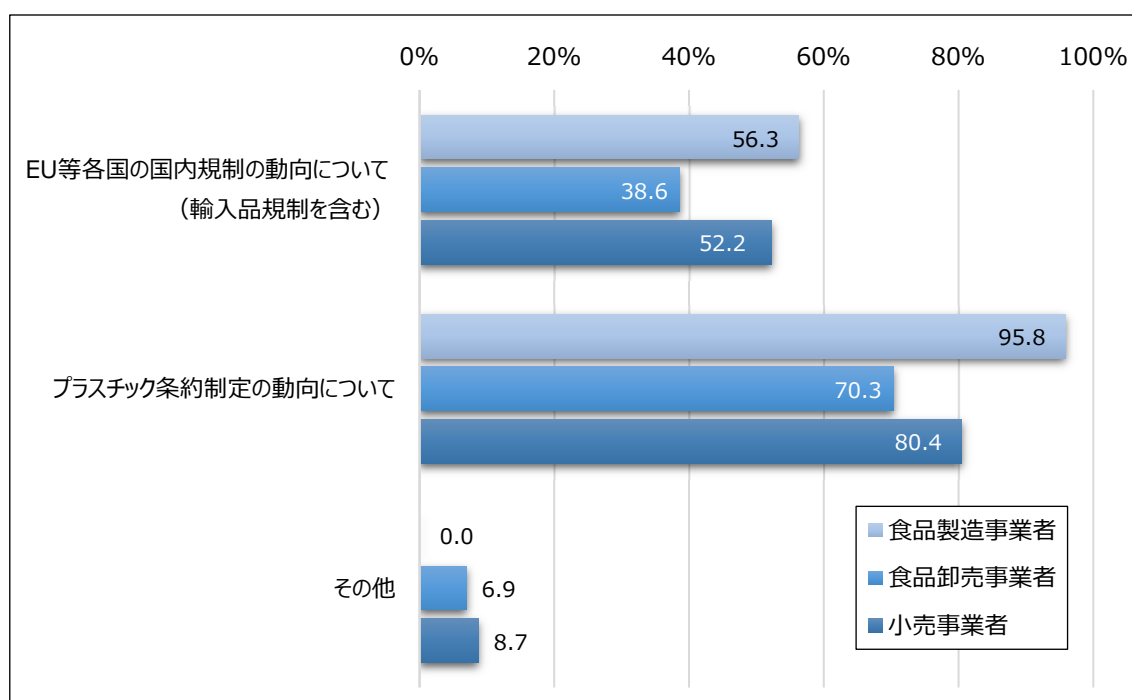
<製造> <食品卸> <小売>

プラスチックの使用に対する国際的な情勢について、どのような情報が必要か回答してください。（複数選択可）

〔表 2 -4-3〕 プラスチック条約の情報

	回答数				構成比（％）			
	全体	製造	食品卸	小売	全体	製造	食品卸	小売
EU 等各国の国内規制の動向について（輸入品規制を含む）	157	94	39	24	50.0	56.3	38.6	52.2
プラスチック条約制定の動向について	268	160	71	37	85.4	95.8	70.3	80.4
その他	11	0	7	4	3.5	0.0	6.9	8.7
合計	314	167	101	46	100.0	100.0	100.0	100.0

〔表 2 -4-3〕 プラスチック条約の情報



(4) 環境配慮に関する質問への回答 (続き)

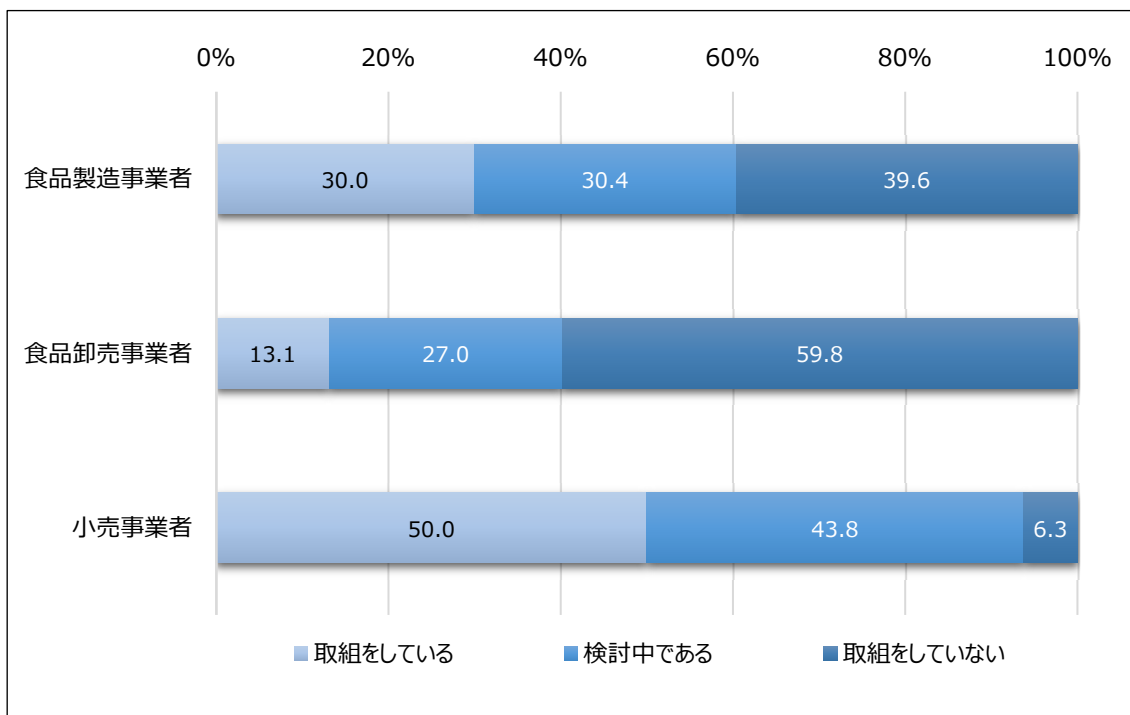
<製造> <食品卸> <小売>

プラスチック排出削減に向けた取組を行っていますか。一つ選択してください。

[表 2-4-4] プラスチック排出削減の取組

	回答数				構成比 (%)			
	全体	製造	食品卸	小売	全体	製造	食品卸	小売
取組をしている	102	62	16	24	27.1	30.0	13.1	50.0
検討中である	117	63	33	21	31.0	30.4	27.0	43.8
取組をしていない	158	82	73	3	41.9	39.6	59.8	6.3
合計	377	207	122	48	100.0	100.0	100.0	100.0

[表 2-4-4] プラスチック排出削減の取組



(4) 環境配慮に関する質問への回答(続き)

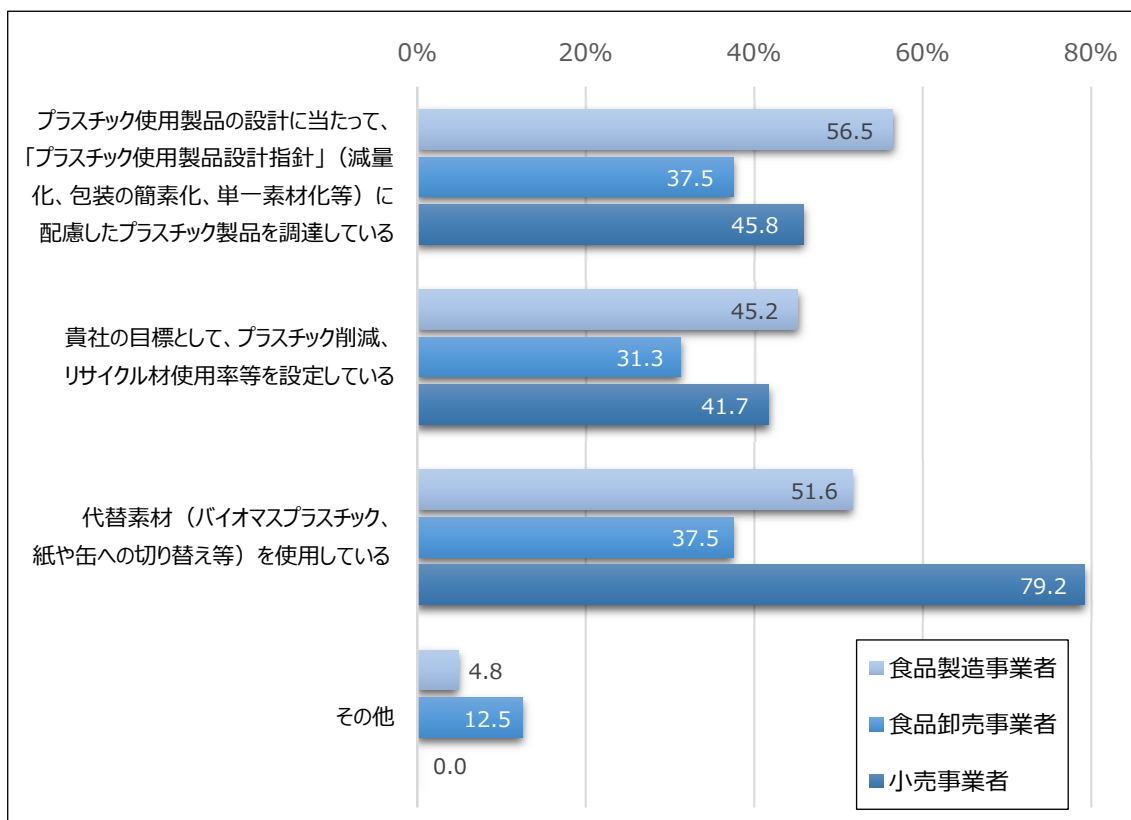
<製造> <食品卸> <小売>

前問で「取組をしている」と回答した場合、具体的な取組内容について回答してください(複数回答可)。

〔表2-4-5〕プラスチック排出削減の取組内容

	回答数				構成比(%)			
	全体	製造	食品卸	小売	全体	製造	食品卸	小売
「プラスチック使用製品設計指針」(減量化、包装の簡素化、単一素材化等)に配慮したプラスチック製品を調達している	52	35	6	11	51.0	56.5	37.5	45.8
貴社の目標として、プラスチック削減、リサイクル材使用率等を設定している	43	28	5	10	42.2	45.2	31.3	41.7
代替素材(バイオマスプラスチック、紙や缶への切り替え等)を使用している	57	32	6	19	55.9	51.6	37.5	79.2
その他	5	3	2	0	4.9	4.8	12.5	0.0
合計	102	62	16	24	100.0	100.0	100.0	100.0

〔図2-4-5〕プラスチック排出削減の取組内容



(4) 環境配慮に関する質問への回答 (続き)

② 食品ロス削減・食品リサイクルの取組状況

【食品ロス削減・食品リサイクルの取組状況】

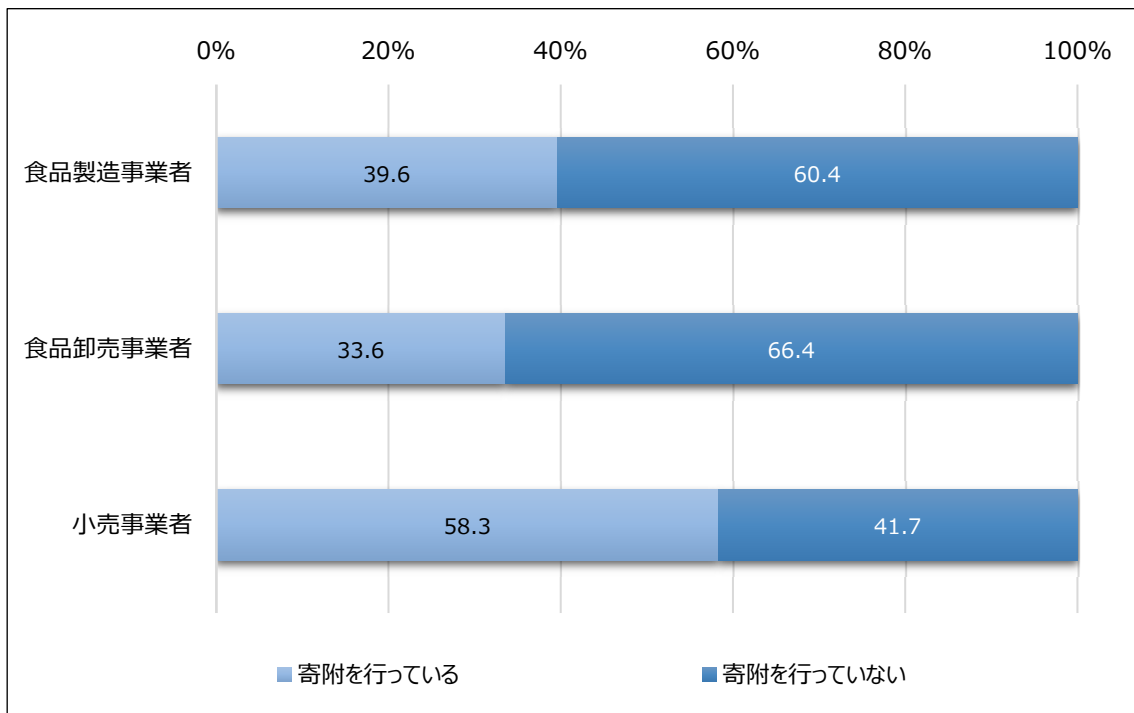
<製造> <食品卸> <小売>

フードバンク・子ども食堂等への食品の寄附を行っていますか。一つ選択してください。

〔表 2-4-6〕 食品の寄附の状況

	回答数				構成比 (%)			
	全体	製造	食品卸	小売	全体	製造	食品卸	小売
寄附を行っている	151	82	41	28	40.1	39.6	33.6	58.3
寄附を行っていない	226	125	81	20	59.9	60.4	66.4	41.7
合計	377	207	122	48	100.0	100.0	100.0	100.0

〔表 2-4-6〕 食品の寄附の状況



(4) 環境配慮に関する質問への回答(続き)

【食品ロス削減・食品リサイクルの取組状況】

<製造> <食品卸> <小売>

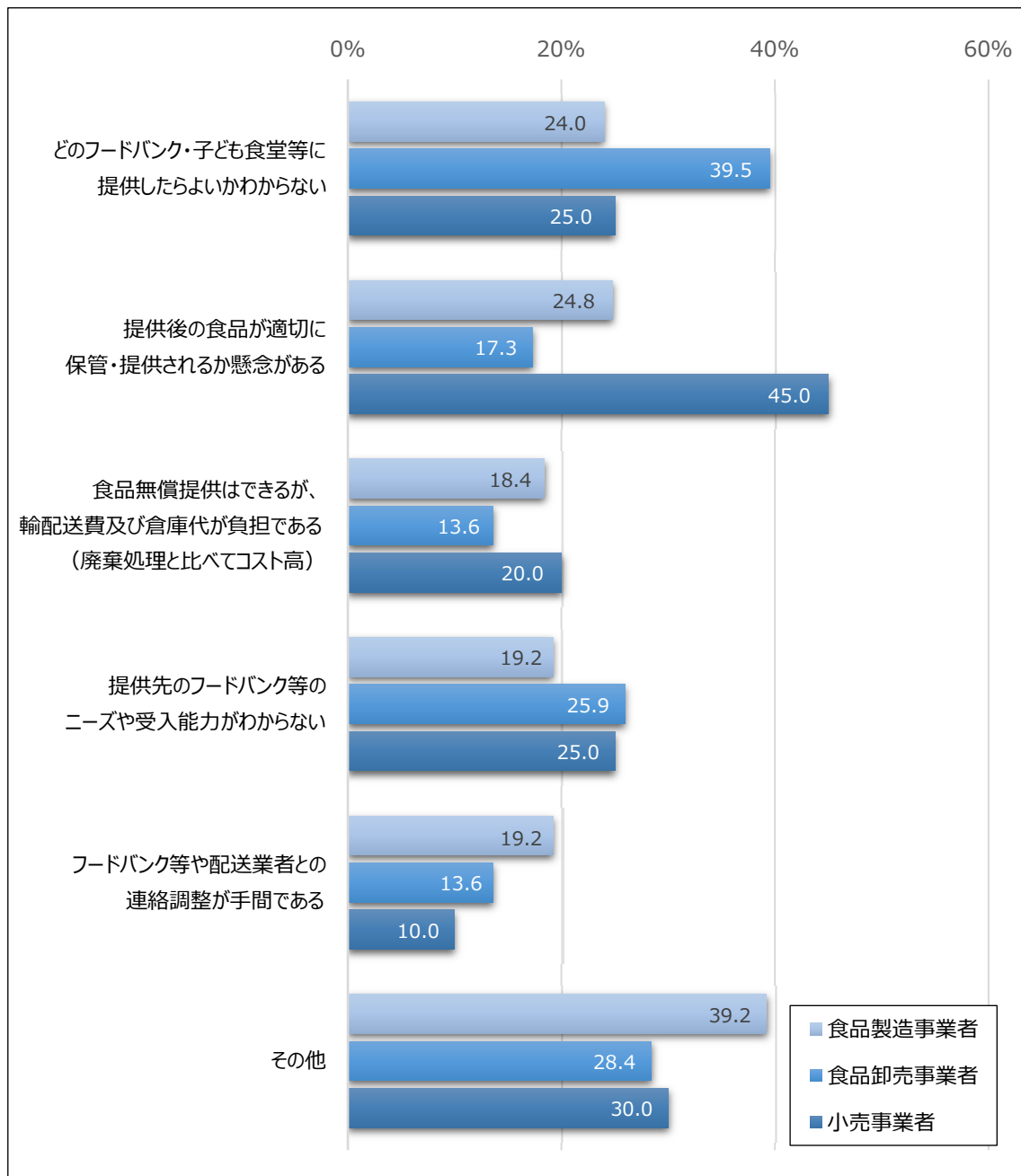
前問で「寄附を行っていない」と回答した場合、行わない理由(課題や問題点)について回答してください(複数選択可)。

[表2-4-7] 食品の寄附を行わない理由

	回答数				構成比(%)			
	全体	食品	食品卸	小売	全体	食品	食品卸	小売
どのフードバンク・子ども食堂等に提供したらよいかわからない	67	30	32	5	29.6	24.0	39.5	25.0
提供後の食品が適切に保管・提供されるか懸念がある	54	31	14	9	23.9	24.8	17.3	45.0
食品無償提供はできるが、輸配送費及び倉庫代が負担である(廃棄処理と比べてコスト高)	38	23	11	4	16.8	18.4	13.6	20.0
提供先のフードバンク等のニーズや受入能力がわからない	50	24	21	5	22.1	19.2	25.9	25.0
フードバンク等や配送業者との連絡調整が手間である	37	24	11	2	16.4	19.2	13.6	10.0
その他	78	49	23	6	34.5	39.2	28.4	30.0
合計	226	125	81	20	100.0	100.0	100.0	100.0

(4) 環境配慮に関する質問への回答 (続き)

〔図2-4-7〕食品の寄附を行わない理由



(4) 環境配慮に関する質問への回答（続き）

<製造> <食品卸> <小売>

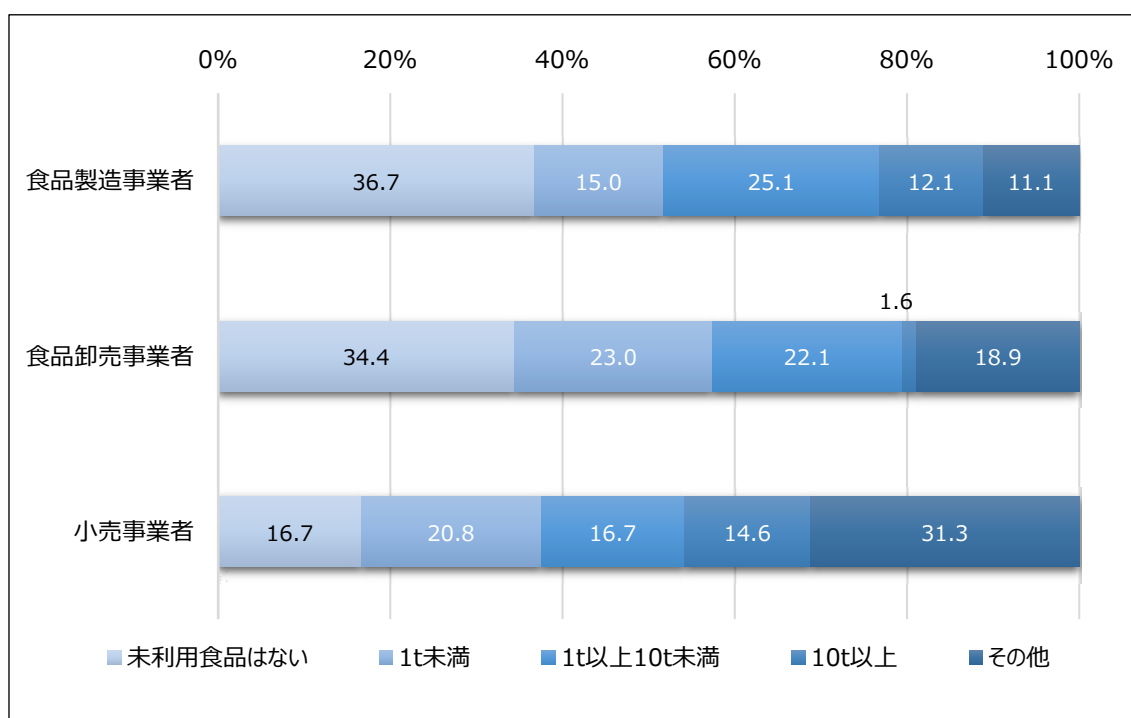
フードバンク・子ども食堂等への食品寄附実施可能の有無に関わらず、食品寄附に充てることが可能な未利用食品の量について回答してください。

※「年間約〇〇トン」という回答になるよう数字を入力してください。

[表 2-4-8] 未利用食品の量

		回答数				構成比 (%)			
		全体	製造	食品卸	小売	全体	製造	食品卸	小売
未利用食品はない		126	76	42	8	33.4	36.7	34.4	16.7
未利用食品がある	1t未満	69	31	28	10	18.3	15.0	23.0	20.8
	1t以上 10t未満	87	52	27	8	23.1	25.1	22.1	16.7
	10t以上	34	25	2	7	9.0	12.1	1.6	14.6
	その他	61	23	23	15	16.2	11.1	18.9	31.3
合計		377	207	122	48	100.0	100.0	100.0	100.0

[図 2-4-8] 未利用食品の量



(4) 環境配慮に関する質問への回答（続き）

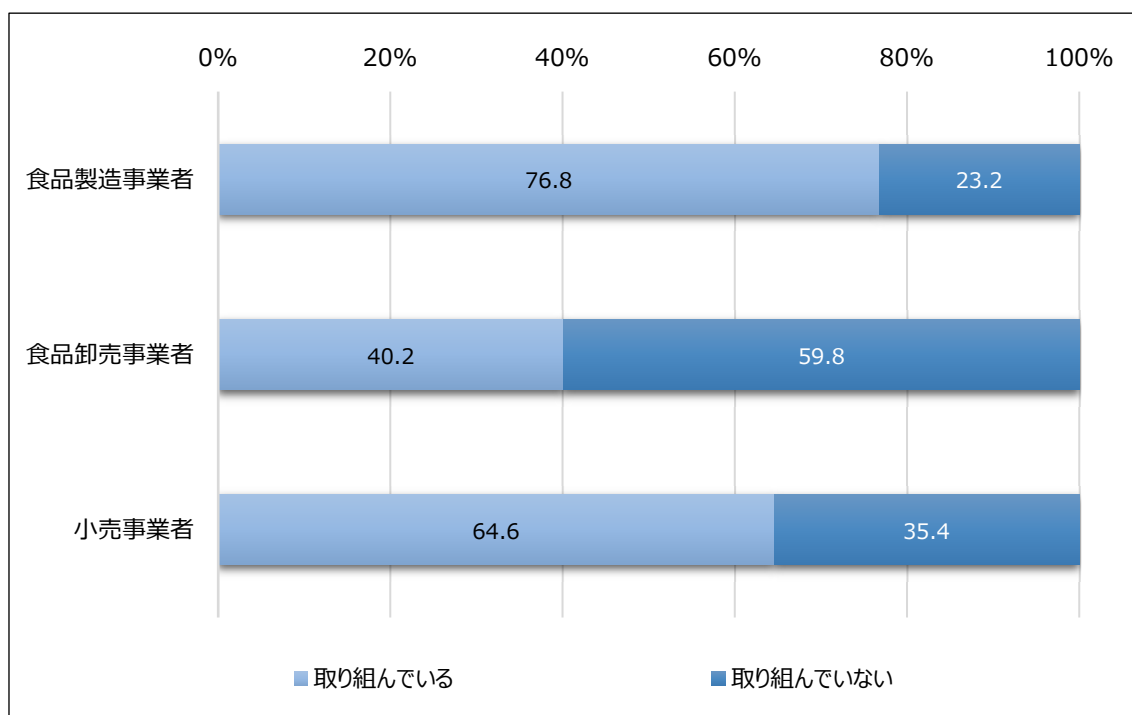
<製造> <食品卸> <小売>

食品廃棄物の処理方法について再生利用等（肥料や家畜の飼料等として食品廃棄物をリサイクルすること）に取り組んでいますか。一つ選択してください。

〔表 2-4-9〕食品ロス削減の取組状況

	回答数				構成比 (%)			
	全体	製造	食品卸	小売	全体	製造	食品卸	小売
取り組んでいる	239	159	49	31	63.4	76.8	40.2	64.6
取り組んでいない	138	48	73	17	36.6	23.2	59.8	35.4
合計	377	207	122	48	100.0	100.0	100.0	100.0

〔図 2-4-9〕食品ロス削減の取組状況



(4) 環境配慮に関する質問への回答（続き）

＜製造＞ ＜食品卸＞ ＜小売＞

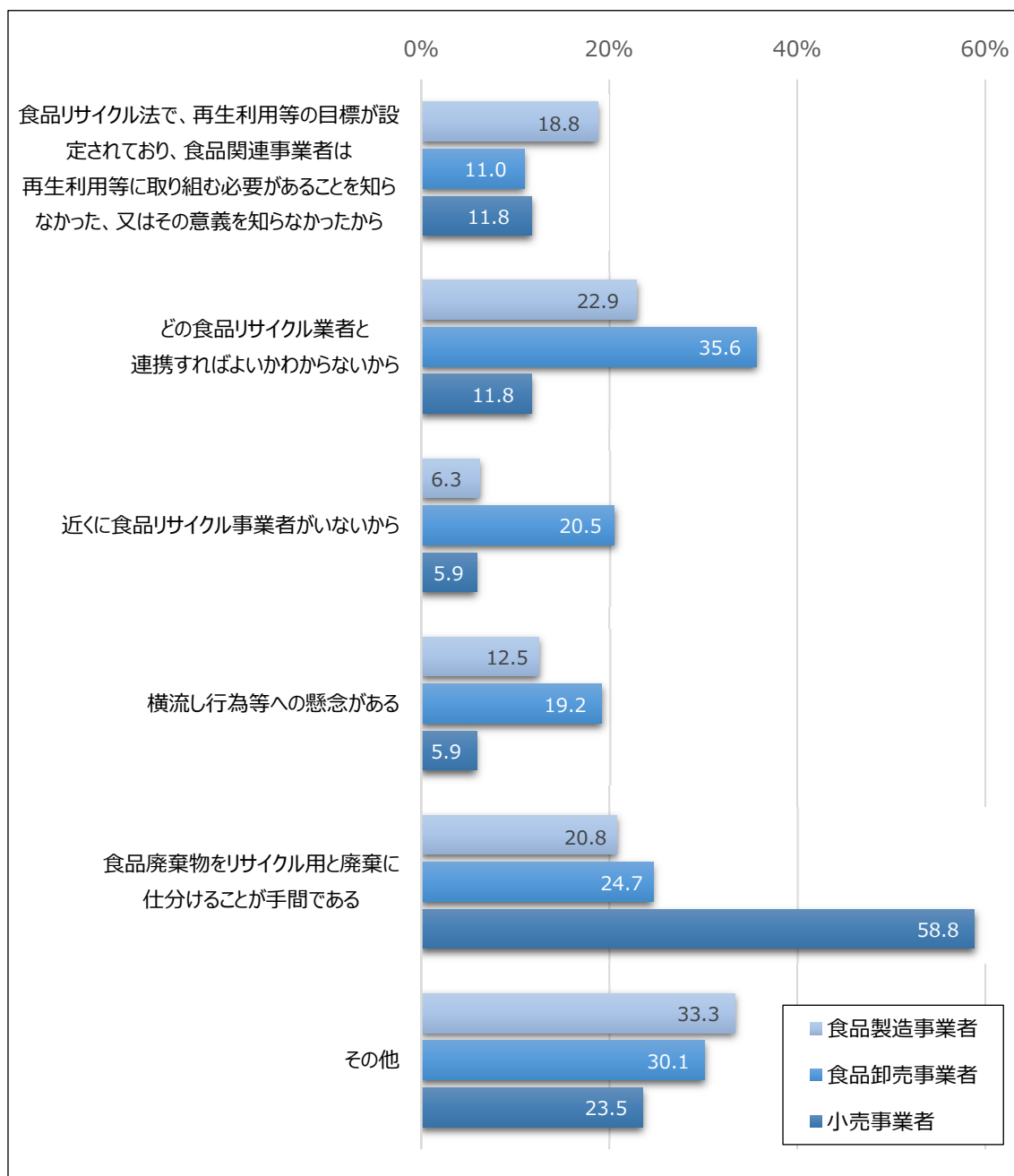
前問で再生利用等に「取り組んでいない」と回答した場合、取り組まない理由（課題や問題点）について回答してください。（複数選択可）

〔表 2-4-10〕 食品ロス削減に取り組まない理由

	回答数				構成比（％）			
	全体	製造	食品卸	小売	全体	製造	食品卸	小売
食品リサイクル法で、再生利用等の目標が設定されており、食品関連事業者は再生利用等に取り組む必要があることを知らなかった、又はその意義を知らなかったから	19	9	8	2	13.8	18.8	11.0	11.8
どの食品リサイクル業者と連携すればよいかわからないから	39	11	26	2	28.3	22.9	35.6	11.8
近くに食品リサイクル事業者がいないから	19	3	15	1	13.8	6.3	20.5	5.9
横流し行為等への懸念がある	21	6	14	1	15.2	12.5	19.2	5.9
食品廃棄物をリサイクル用と廃棄に仕分けることが手間である	38	10	18	10	27.5	20.8	24.7	58.8
その他	42	16	22	4	30.4	33.3	30.1	23.5
合計	138	48	73	17	100.0	100.0	100.0	100.0

（４）環境配慮に関する質問への回答（続き）

〔図 2 -4-10〕 食品ロス削減に取り組まない理由



3. 生鮮取引適正化ガイドラインフォローアップ調査の結果

仲卸業者、小売事業者に対して、下記の質問を行った。

- (1) 生鮮取引適正化ガイドラインの定着状況に関する質問への回答…………… 7 7
- (2) 取引シェア第1位の取引先との間の課題に関する質問への回答…………… 8 3

(1) 生鮮取引適正化ガイドラインの定着状況に関する質問への回答

【生鮮適正化ガイドラインの認知状況】

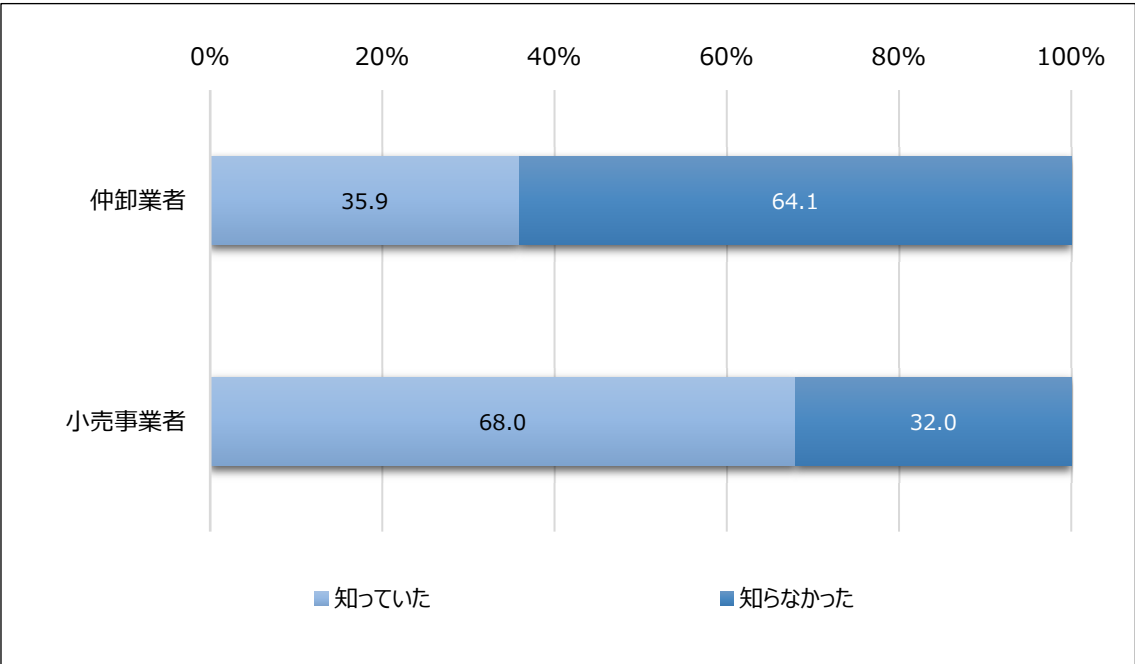
＜仲卸＞ ＜小売＞

令和6年3月に農林水産省は「卸売市場の仲卸業者等と小売業者との間における生鮮食料品等の取引の適正化に関するガイドライン」をとりまとめ、現在、その普及・啓発を行っているところですが、本ガイドラインの認知状況をお伺いしたく存じます。該当するものを選んでください。

〔表3-1-1〕 生鮮取引適正化ガイドラインの認知状況

	回答数			構成比（％）		
	全体	仲卸	小売	全体	仲卸	小売
知っていた	86	69	17	39.6	35.9	68.0
知らなかった	131	123	8	60.4	64.1	32.0
合計	217	192	25	100.0	100.0	100.0

〔図3-1-1〕 生鮮取引適正化ガイドラインの認知状況



(1) 生鮮取引適正化ガイドラインの定着状況に関する質問への回答（続き）

【生鮮取引適正化ガイドラインの活用状況】

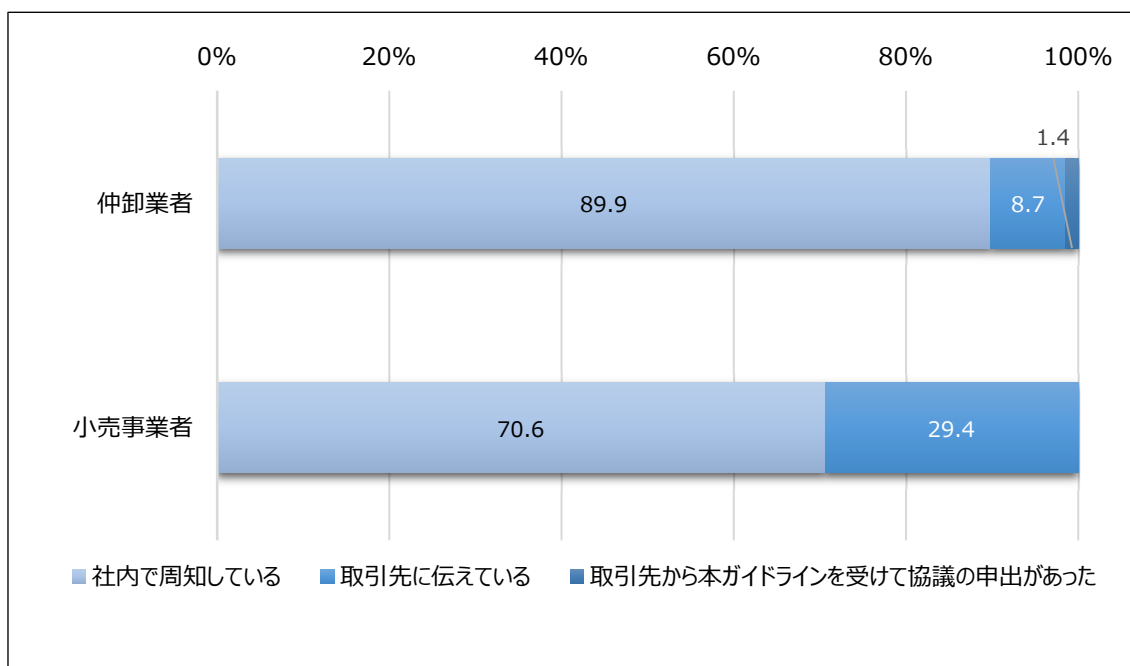
<仲卸> <小売>

前質問で「知っていた」と回答された方にお聞きます。該当するものを選んでください。

〔表 3 - 1 - 2〕 生鮮取引適正化ガイドラインの活用状況

	回答数			構成比（％）		
	全体	仲卸	小売	全体	仲卸	小売
社内で周知している	74	62	12	86.0	89.9	70.6
取引先に伝えている	11	6	5	12.8	8.7	29.4
取引先から本ガイドラインを受けて協議の申出があった	1	1	0	1.2	1.4	0.0
合計	86	69	17	100.0	100.0	100.0

〔図 3 - 1 - 2〕 生鮮取引適正化ガイドラインの活用状況



(1) 生鮮取引適正化ガイドラインの定着状況に関する質問への回答（続き）

【生鮮取引適正化ガイドラインによる改善効果】

＜仲卸＞

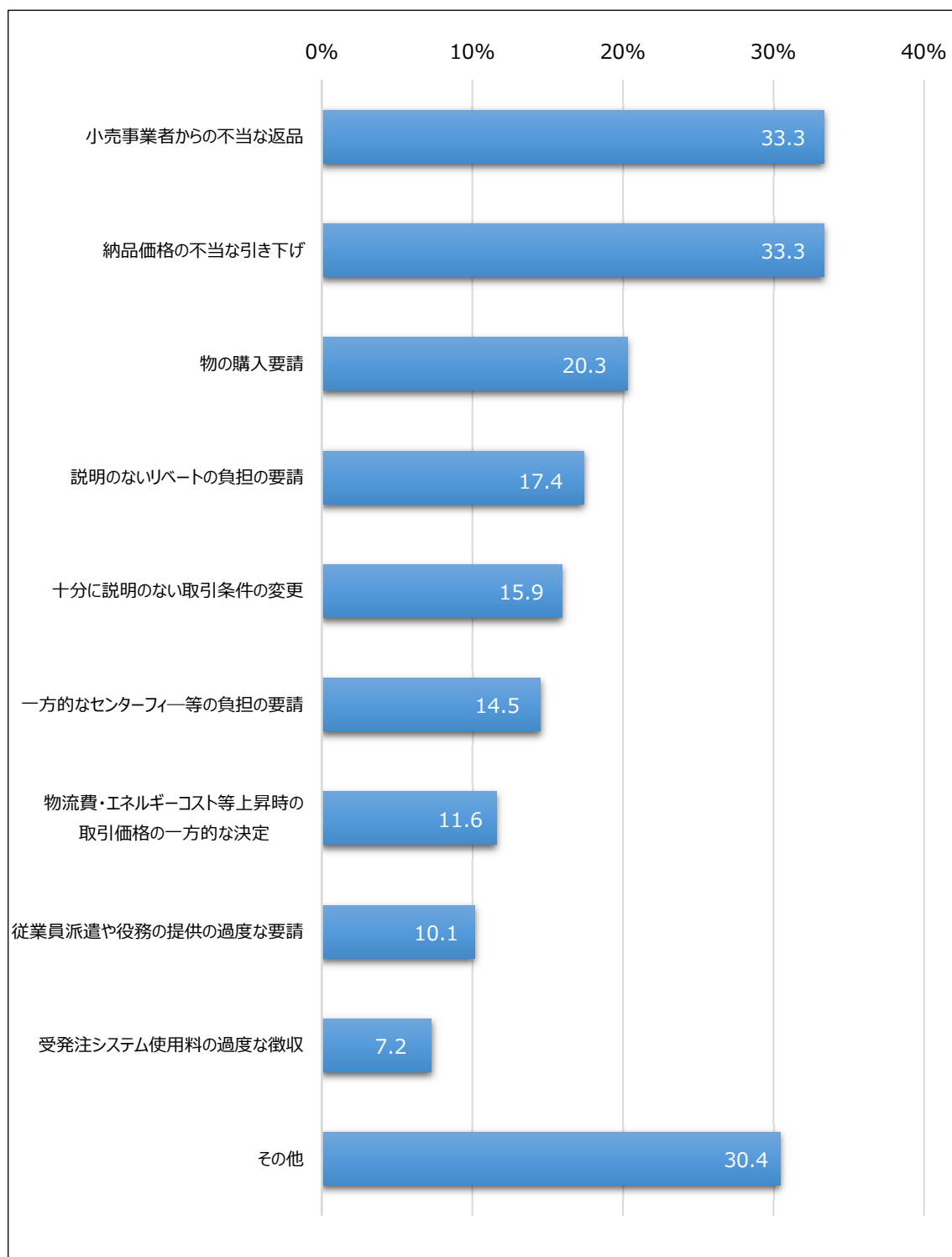
p.77の質問で「知っていた」と回答された方にお聞きます。以下のうち、本ガイドラインや小売事業者との協議により取引の改善が図られたと感じている項目を選んでください。（複数回答可）

〔表3-1-3〕生鮮取引適正化ガイドラインによる改善効果（仲卸業者）

	回答数	構成比（%）
小売事業者からの不当な返品	23	33.3
納品価格の不当な引き下げ	23	33.3
物の購入要請	14	20.3
説明のないリバートの負担の要請	12	17.4
十分に説明のない取引条件の変更	11	15.9
一方的なセンターフィー等の負担の要請	10	14.5
物流費・エネルギーコスト等上昇時の取引価格の一方的な決定	8	11.6
従業員派遣や役務の提供の過度な要請	7	10.1
受発注システム使用料の過度な徴収	5	7.2
その他	21	30.4
合計	69	100.0

(1) 生鮮取引適正化ガイドラインの定着状況に関する質問への回答（続き）

〔図3-1-3〕生鮮取引適正化ガイドラインによる改善効果（仲卸業者）



(1) 生鮮取引適正化ガイドラインの定着状況に関する質問への回答 (続き)

【生鮮取引適正化ガイドラインによる改善効果】

＜小売＞

p.77の質問で「知っていた」と回答された方にお聞きます。以下のうち、本ガイドラインや仲卸業者等との協議により取引の改善が図られたと感じている項目を選んでください。(複数回答可)

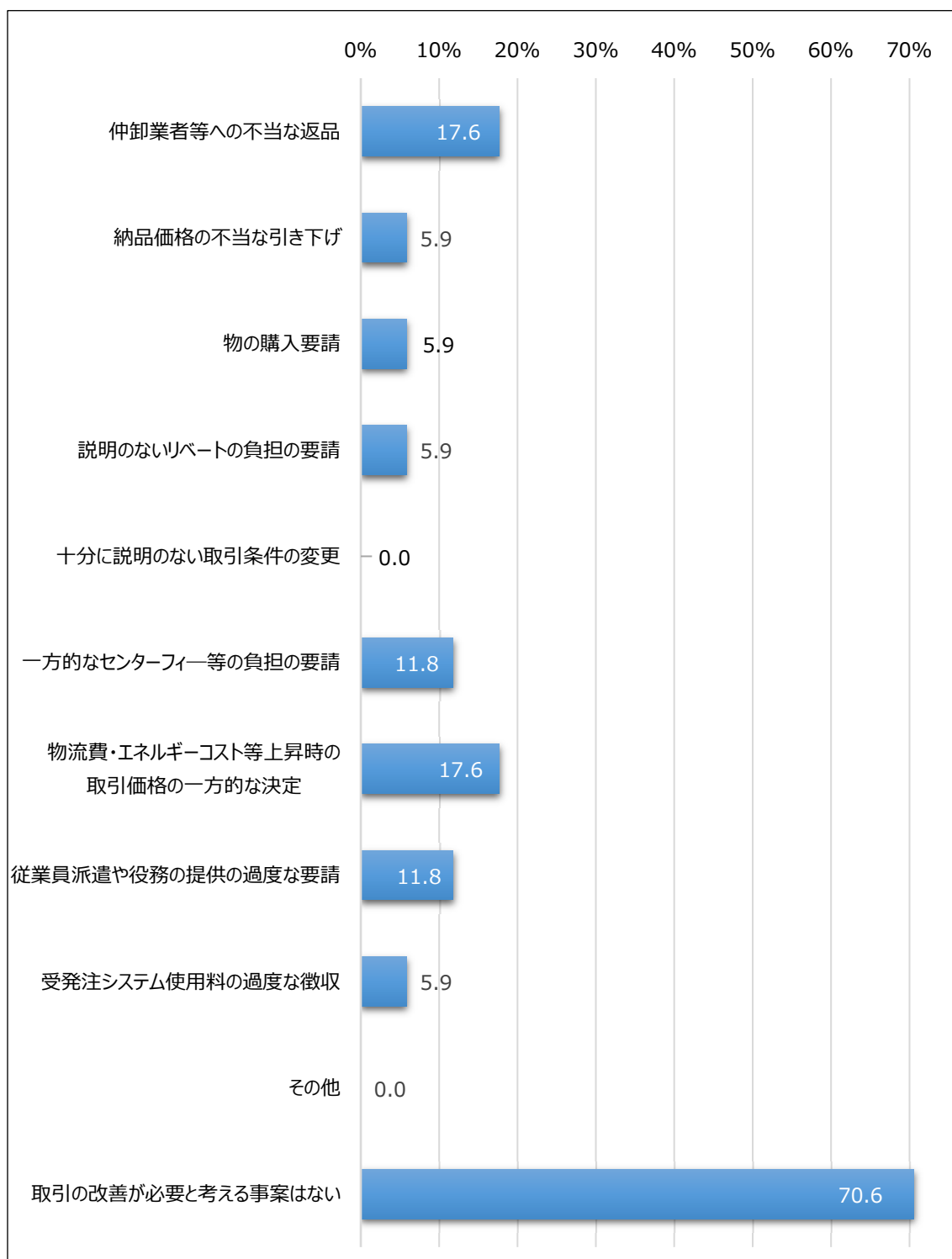
改善が必要と考える事案がない場合は、冒頭にチェックを入れてください。また、取引先との間で以下のような取引上の問題が生じないよう、貴社で取り組まれている事例がありましたら、「その他」にチェックを入れ、その内容をご記載ください。

【表3-1-4】生鮮取引適正化ガイドラインによる改善効果（小売事業者）

	回答数	構成比 (%)
仲卸業者等への不当な返品	3	17.6
納品価格の不当な引き下げ	1	5.9
物の購入要請	1	5.9
説明のないリバートの負担の要請	1	5.9
十分に説明のない取引条件の変更	0	0.0
一方的なセンターフィー等の負担の要請	2	11.8
物流費・エネルギーコスト等上昇時の取引価格の一方的な決定	3	17.6
従業員派遣や役務の提供の過度な要請	2	11.8
受発注システム使用料の過度な徴収	1	5.9
その他	0	0.0
取引の改善が必要と考える事案はない	12	70.6
合計	17	100.0

〔１〕 生鮮取引適正化ガイドラインの定着状況に関する質問への回答（続き）

〔図３－１－４〕 生鮮取引適正化ガイドラインによる改善効果（小売事業者）



(2) 取引シェア第1位の取引先との間の課題に関する質問への回答

【取引シェア第1位の会社との間の課題】

＜仲卸＞ 貴社が取引されている事業者のうち、最も売上が高い会社（以下「第1位の会社」とします。）についてお伺いします。

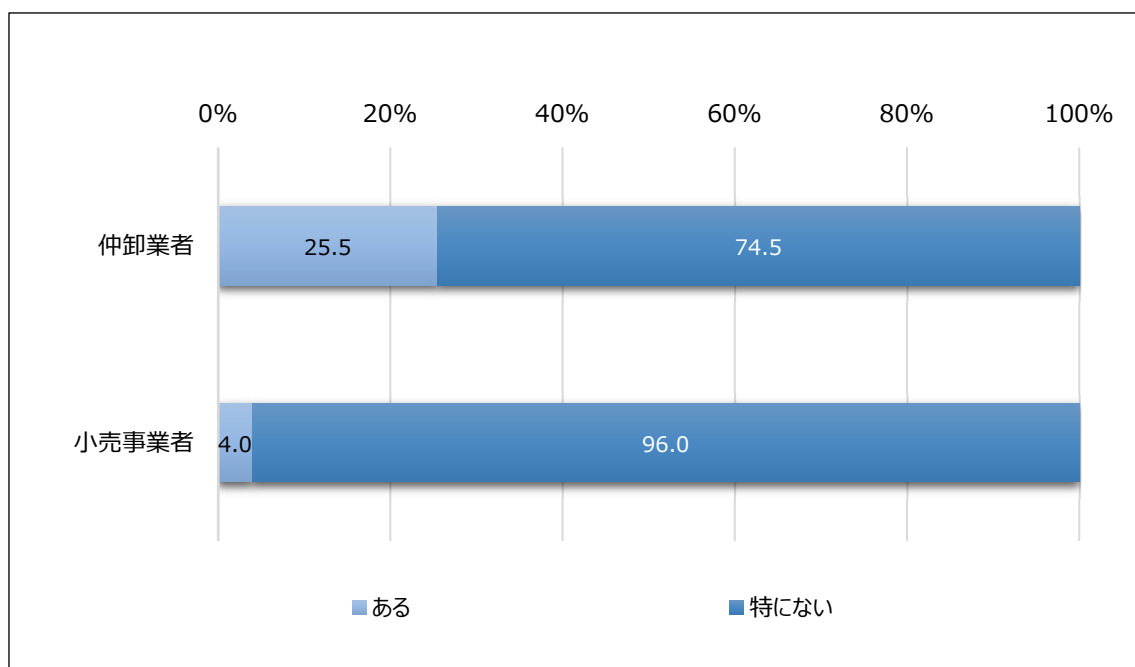
＜小売＞ 貴社が取引されている事業者のうち、最も生鮮食料品の取引額の大きい会社（以下「第1位の会社」とします。）についてお伺いします。

第1位の会社との取引関係における貴社の課題について、該当するものを選んでください。

〔表3-2-1〕 第1位の会社との間の課題

	回答数			構成比 (%)		
	全体	仲卸	小売	全体	仲卸	小売
ある	50	49	1	23.0	25.5	4.0
特にない	167	143	24	77.0	74.5	96.0
合計	217	192	25	100.0	100.0	100.0

〔図3-2-1〕 第1位の会社との間の課題



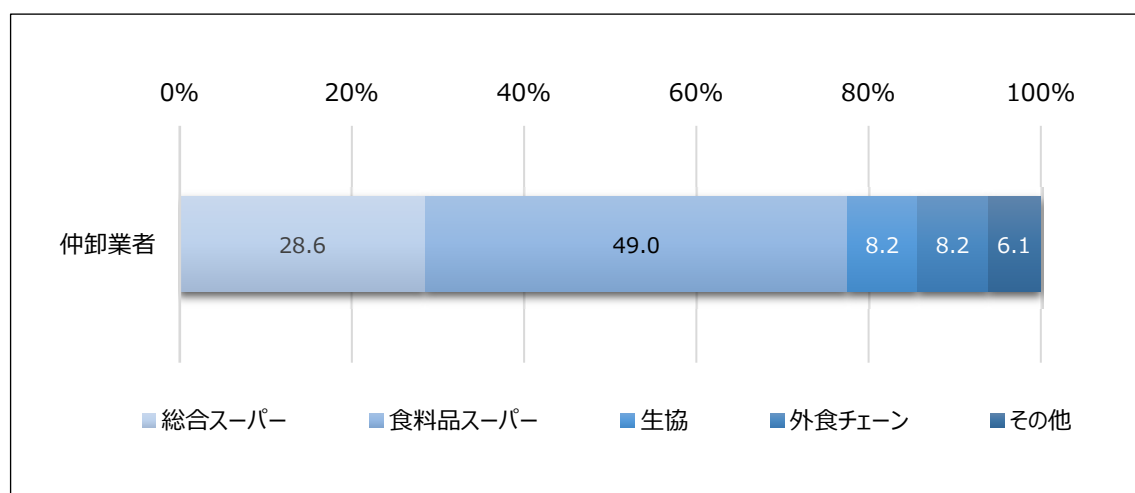
〔 2 〕 取引シェア第 1 位の取引先との間の課題に関する質問への回答（続き）

＜仲卸＞ 前質問で「ある」と回答された方にお聞きます。第 1 位の会社の業態について、該当するものを選んでください。

〔表 3 - 2 - 2〕 第 1 位の会社の業種（仲卸業者）

	回答数	構成比（％）
百貨店	0	0.0
総合スーパー	14	28.6
食料品スーパー	24	49.0
コンビニエンスストア	0	0.0
ディスカウントストア	0	0.0
ドラッグストア	0	0.0
生協	4	8.2
ホームセンター	0	0.0
外食チェーン（ファミリーレストラン、ファーストフード店等）	4	8.2
その他個人経営飲食店等（寿司店、洋食店、中華料理店等）	0	0.0
その他	3	6.1
合計	49	100.0

〔図 3 - 2 - 2〕 第 1 位の会社の業種（仲卸業者）



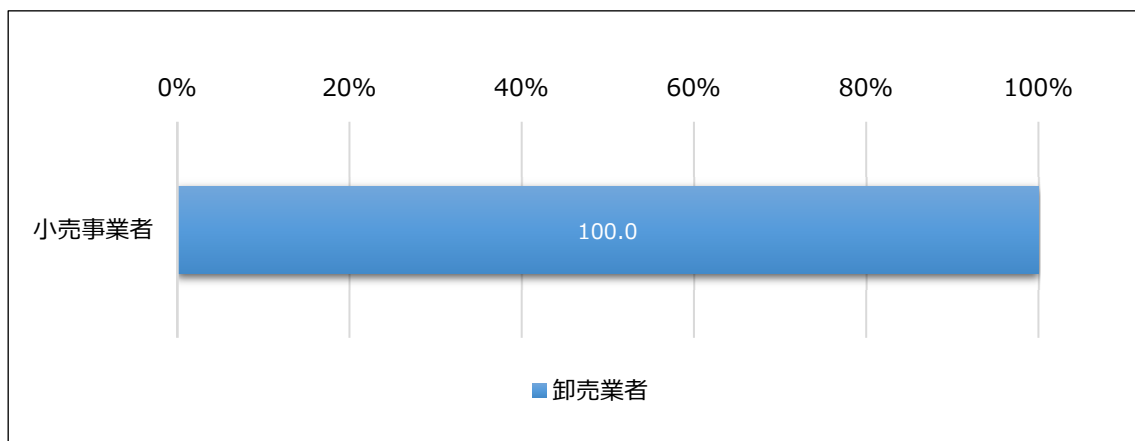
(2) 取引シェア第1位の取引先との間の課題に関する質問への回答(続き)

＜小売＞ p.83の質問で「ある」と回答された方にお聞きます。第1位の会社の業態について、該当するものを選んでください。

〔表3-2-3〕第1位の会社の業種(小売事業者)

	回答数	構成比(%)
仲卸業者	0	0.0
卸売業者	1	100.0
J A	0	0.0
農業生産法人	0	0.0
生産者個人	0	0.0
食品製造事業者	0	0.0
食品卸売事業者	0	0.0
その他	0	0.0
合計	1	100.0

〔図3-2-3〕第1位の会社の業種(小売事業者)



(2) 取引シェア第1位の取引先との間の課題に関する質問への回答（続き）

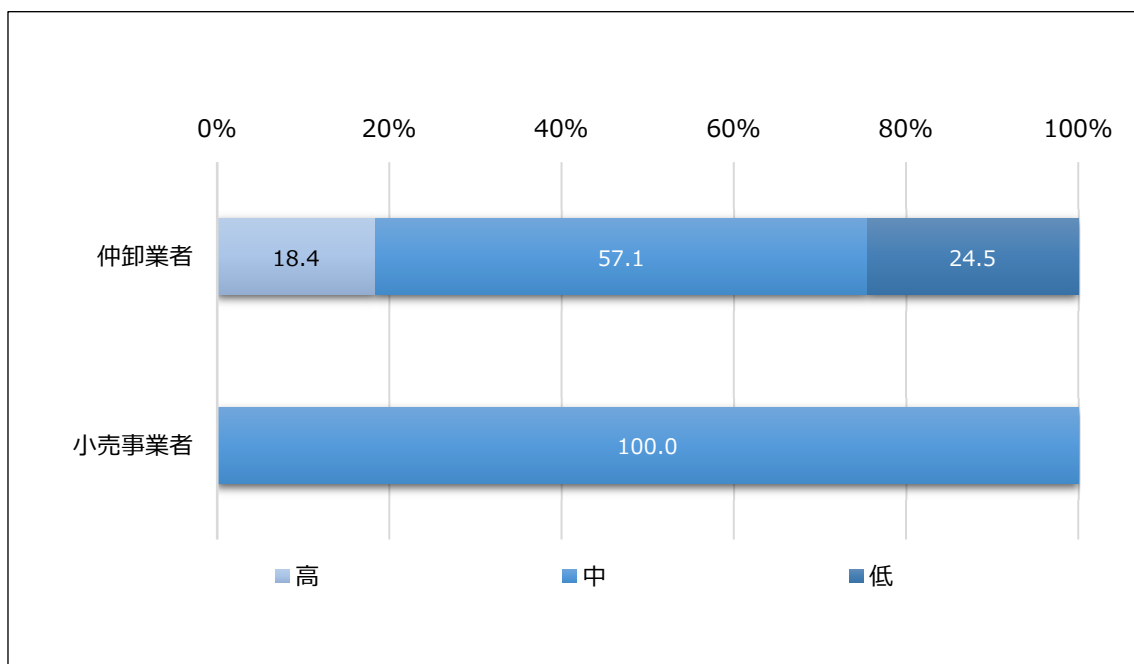
＜仲卸＞ ＜小売＞

p.83の質問で「ある」と回答された方にお聞きます。第1位の会社との取引の割合について、該当するものを選んでください。

〔表3-2-4〕第1位の会社との取引の割合

	回答数			構成比 (%)		
	全体	仲卸	小売	全体	仲卸	小売
高（貴社の生鮮食料品売上高に占める第一位の会社の売上高が7割以上くらい）	9	9	0	18.0	18.4	0.0
中（貴社の生鮮食料品売上高に占める第一位の会社の売上高が3割以上7割未満くらい）	29	28	1	58.0	57.1	100.0
低（貴社の生鮮食料品売上高に占める第一位の会社の売上高が3割未満くらい）	12	12	0	24.0	24.5	0.0
合計	50	49	1	100.0	100.0	100.0

〔図3-2-4〕第1位の会社との取引の割合



(2) 取引シェア第1位の取引先との間の課題に関する質問への回答（続き）

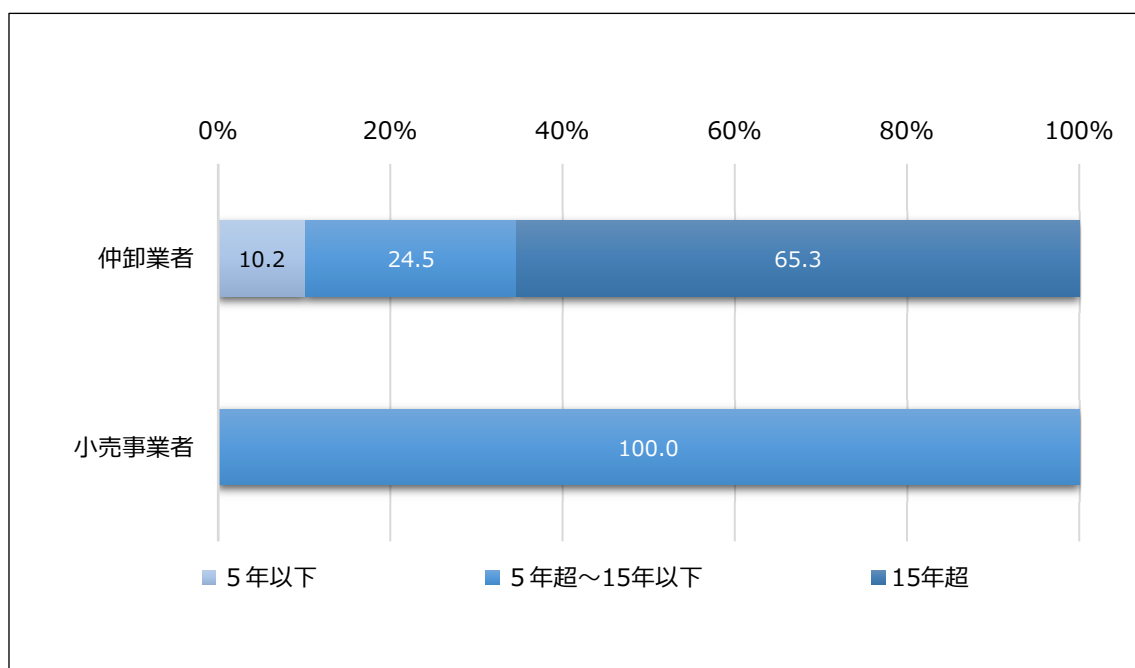
<仲卸> <小売>

p.83の質問で「ある」と回答された方にお聞きます。第1位の会社との取引年数について、該当するものを選んでください。

〔表3-2-5〕第1位の会社との取引年数

	回答数			構成比 (%)		
	全体	仲卸	小売	全体	仲卸	小売
5年以下	5	5	0	10.0	10.2	0.0
5年超～15年以下	13	12	1	26.0	24.5	100.0
15年超	32	32	0	64.0	65.3	0.0
合計	50	49	1	100.0	100.0	100.0

〔図3-2-5〕第1位の会社との取引年数



(2) 取引シェア第1位の取引先との間の課題に関する質問への回答(続き)

【第1位の会社との間の課題】

＜仲卸＞ p.83の質問で「ある」と回答された方にお聞きます。第1位の会社との取引関係における貴社の課題について、該当するものを選んでください。

- ※ 内容は、下表を参考に選択してください。
- ※ 理由は、課題となっている理由を可能な範囲で具体的に記入してください。
- ※ 要因は、課題を改善することが出来ない要因を選択してください。

＜小売＞ p.83の質問で「ある」と回答された方にお聞きます。貴社と第1位の会社との取引関係において、貴社で対策をとっているもの（取引先から申入れを受けたものを含む）があれば、該当するものを選んでください。

選 択 項 目	概 要
1. 取引価格や単価	原料相場が高騰しているが、納品する商品価格は据え置きされ、コストの上乗せでの価格交渉に応じられない など
2. 代金の減額 (リベート等)	当方の責めに帰すべく理由もなく、先方の都合によりあらかじめ定めた代金が減額される、セールへの協力、リベートやバックマージン等の請求がある など
3. 代金の支払遅延	商品を受領後に定められた支払期日までに代金が支払われない など
4. 買ったたき	類似商品の価格や流通している市場価格に比べ著しく低い代金を定められる など
5. 納品時間、納品期限等の指定	指定時間が限定的かつ短い、又は賞味期限に関する3分の1ルール等を踏まえた過剰な納品期限を設定した納品を求められる など
6. 契約条件の明確化・協議	契約条件が曖昧なまま負担の要請や納品条件を指示される、コスト上昇分の取引価格への上乗せを了承しても取引数量を曖昧なままにされて後日、実質的に取引の停止と言えるほど減らされてしまう など
7. 物流コストの負担	トラックドライバー不足等により配送コストが増加しているが、値上げ交渉を拒まれ、自社でコスト増加分を負担している など
8. センターフィー、受発注システム使用料の負担	物流センターのセンターフィーや受発注システムの使用料を合理的な根拠が示されことなく徴収される など
9. 検品	過剰な条件等による検品を求められる など
10. 返品	商品を受領後、当方に責任のある不良品等以外のものを返品される など
11. 受領拒否	先方の指示等により注文された商品について当方に責任がないのに受領を拒まれる など
12. 労務の提供	先方の業務等に対し、当方の従業員派遣など労務の提供を求められる など
13. 購入・利用強制	先方が指定する物品や役務を強制的に購入、又は利用することを求められる など

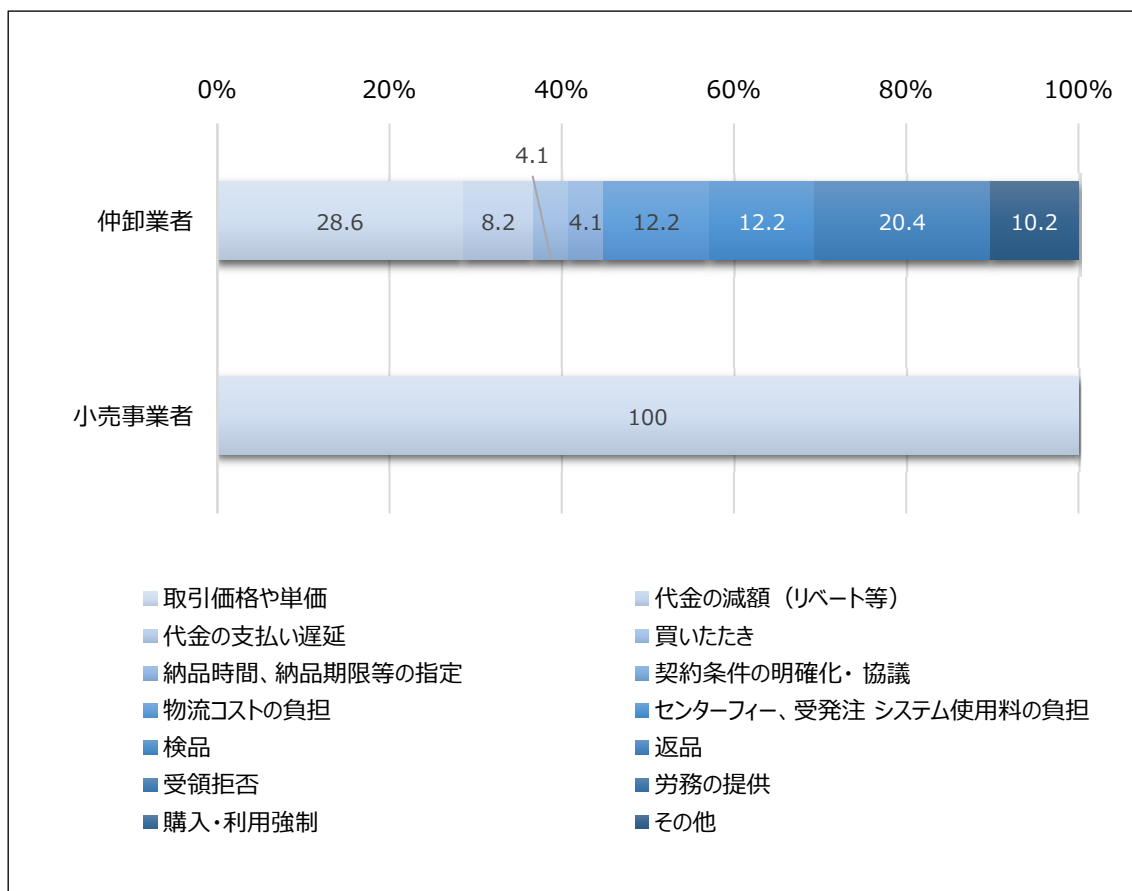
(2) 取引シェア第1位の取引先との間の課題に関する質問への回答 (続き)

〔表3-2-6〕第1位の会社との間の課題の内容

	回答数			構成比 (%)		
	全体	仲卸	小売	全体	仲卸	小売
1. 取引価格や単価	15	14	1	30.0	28.6	100.0
2. 代金の減額 (リベート等)	4	4	0	8.0	8.2	0.0
3. 代金の支払遅延	0	0	0	0.0	0.0	0.0
4. 買いたたき	2	2	0	4.0	4.1	0.0
5. 納品時間、納品期限等の指定	2	2	0	4.0	4.1	0.0
6. 契約条件の明確化・協議	0	0	0	0.0	0.0	0.0
7. 物流コストの負担	6	6	0	12.0	12.2	0.0
8. センターフィー、受発注システム使用料の負担	6	6	0	12.0	12.2	0.0
9. 検品	0	0	0	0.0	0.0	0.0
10. 返品	10	10	0	20.0	20.4	0.0
11. 受領拒否	0	0	0	0.0	0.0	0.0
12. 労務の提供	0	0	0	0.0	0.0	0.0
13. 購入・利用強制	0	0	0	0.0	0.0	0.0
14. その他	5	5	0	10.0	10.2	0.0
合計	50	49	1	100.0	100.0	100.0

(2) 取引シェア第1位の取引先との間の課題に関する質問への回答(続き)

[図3-2-6] 第1位の会社との間の課題の内容



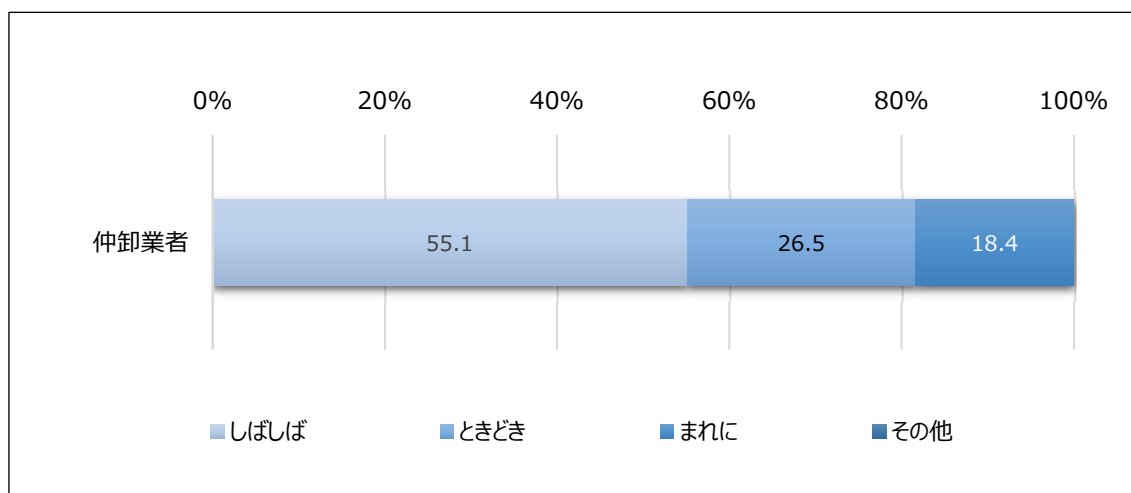
(2) 取引シェア第1位の取引先との間の課題に関する質問への回答(続き)

[表3-2-7] 第1位の会社との間の課題の頻度(仲卸業者)

	回 答 数					構成比 (%)				
	しばしば(同じことが 何度も重なって行われる)	ときどき(ある時間 において繰り返される)	まれに(非常に少ない)	その他	合 計	しばしば(同じことが 何度も重なって行われる)	ときどき(ある時間 において繰り返される)	まれに	その他	合 計
1. 取引価格や単価	7	4	3	0	14	50.0	28.6	21.4	0.0	100.0
2. 代金の減額(リベート 等)	3	0	1	0	4	75.0	0.0	25.0	0.0	100.0
3. 代金の支払い遅延	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
4. 買いたたき	1	1	0	0	2	50.0	50.0	0.0	0.0	100.0
5. 納品時間、納品期限等の 指定	0	0	2	0	2	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0
6. 契約条件の明確化・協 議	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
7. 物流コストの負担	3	1	2	0	6	50.0	16.7	33.3	0.0	100.0
8. センターフィー、受発注 システム使用料の負担	4	2	0	0	6	66.7	33.3	0.0	0.0	100.0
9. 検品	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
10. 返品	4	5	1	0	10	40.0	50.0	10.0	0.0	100.0
11. 受領拒否	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
12. 労務の提供	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
13. 購入・利用強制	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
14. その他	5	0	0	0	5	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
合計	27	13	9	0	49	55.1	26.5	18.4	0.0	100.0

(2) 取引シェア第1位の取引先との間の課題に関する質問への回答(続き)

[図3-2-7] 第1位の会社との間の課題の頻度(仲卸業者)



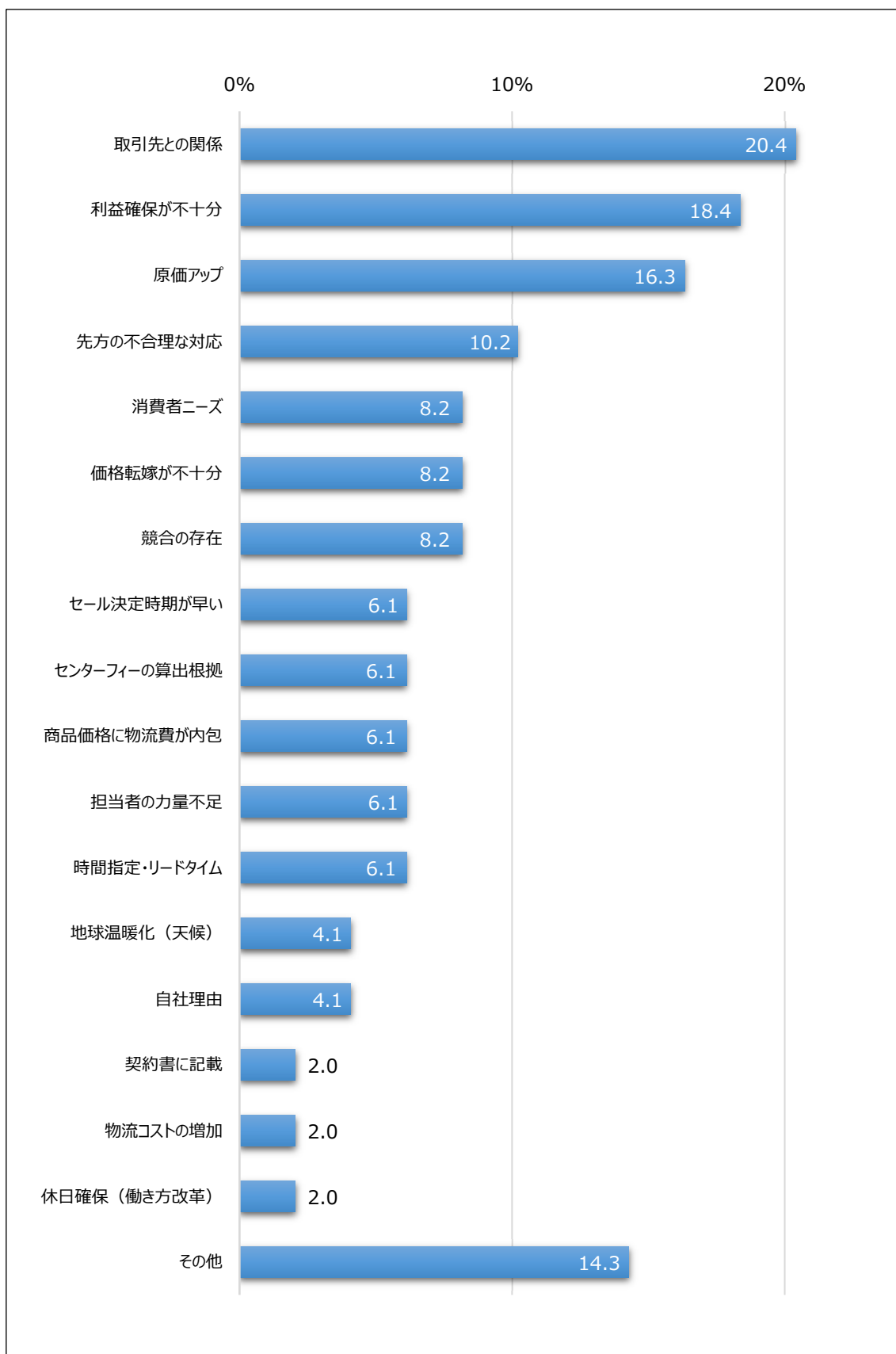
(2) 取引シェア第1位の取引先との間の課題に関する質問への回答(続き)

[表3-2-8] 第1位の会社との間の課題の理由(仲卸業者)

	回答数(複数回答)																		合計 (回答事業者数)
	取引先との関係	利益確保が不十分	原価アップ	先方の不合理な対応	消費者ニーズ	価格転嫁が不十分	競合の存在	セールの決定時期が早い	センターフィーの算出根拠	商品価格に物流費が内包	担当者の力量不足	時間指定・リードタイム	地球温暖化(天候)	自社理由	契約書に記載	物流コストの増加	休日確保(働き方改革)	その他	
1. 取引価格や単価	5	1	7	0	4	3	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	14
2. 代金の減額(リベート等)	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	4
4. 買いたたき	2	1	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
5. 納品時間、納品期限等の指定	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
7. 物流コストの負担	0	1	0	0	0	1	1	1	0	3	0	0	0	0	0	1	0	1	6
8. センターフィー、受発注システム使用料の負担	0	2	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6
10. 返品	0	1	1	5	0	0	1	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	3	10
14. その他	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	1	0	0	1	1	5
合計	10	9	8	5	4	4	4	3	3	3	3	3	2	2	1	1	1	7	49
構成比(%)	20.4	18.4	16.3	10.2	8.2	8.2	8.2	6.1	6.1	6.1	6.1	6.1	4.1	4.1	2.0	2.0	2.0	14.3	

〔2〕 取引シェア第1位の取引先との間の課題に関する質問への回答（続き）

〔図3-2-8〕 第1位の会社との間の課題の理由（仲卸業者）



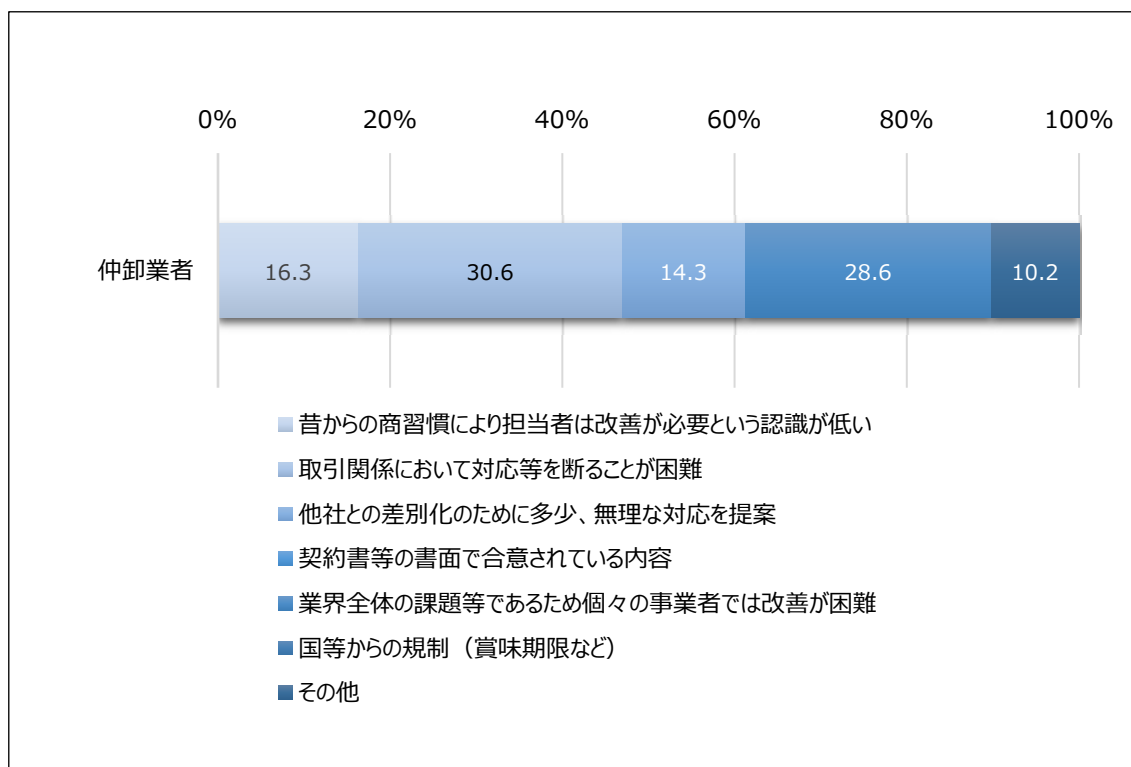
(2) 取引シェア第1位の取引先との間の課題に関する質問への回答(続き)

[表3-2-9] 第1位の会社との間の課題の要因(仲卸業者)

		回 答 数							
		昔からの商習慣により担当者は改善が必要という認識が低い	取引関係において対応等を断ることが困難	他社との差別化のために多少、無理な対応を提案	契約書等の書面で合意されている内容	業界全体の課題等であるため個々の事業者では改善が困難	国等からの規制(賞味期限など)	その他	合計
1. 取引価格や単価	回答数	4	3	4	0	2	0	1	14
	構成比(%)	28.6	21.4	28.6	0.0	14.3	0.0	7.1	100.0
2. 代金の減額(リベート等)	回答数	1	3	0	0	0	0	0	4
	構成比(%)	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
3. 代金の支払い遅延	回答数	0	0	0	0	0	0	0	0
	構成比(%)	-	-	-	-	-	-	-	-
4. 買ったたき	回答数	0	1	0	0	1	0	0	2
	構成比(%)	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	100.0
5. 納品時間、納品期限等の指定	回答数	0	1	1	0	0	0	0	2
	構成比(%)	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
6. 契約条件の明確化・協議	回答数	0	0	0	0	0	0	0	0
	構成比(%)	-	-	-	-	-	-	-	-
7. 物流コストの負担	回答数	0	0	0	0	5	0	1	6
	構成比(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	83.3	0.0	16.7	100.0
8. センターフィー、受発注システム使用料の負担	回答数	0	4	0	0	2	0	0	6
	構成比(%)	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	100.0
9. 検品	回答数	0	0	0	0	0	0	0	0
	構成比(%)	-	-	-	-	-	-	-	-
10. 返品	回答数	3	2	1	0	2	0	2	10
	構成比(%)	30.0	20.0	10.0	0.0	20.0	0.0	20.0	100.0
11. 受領拒否	回答数	0	0	0	0	0	0	0	0
	構成比(%)	-	-	-	-	-	-	-	-
12. 労務の提供	回答数	0	0	0	0	0	0	0	0
	構成比(%)	-	-	-	-	-	-	-	-
13. 購入・利用強制	回答数	0	0	0	0	0	0	0	0
	構成比(%)	-	-	-	-	-	-	-	-
14. その他	回答数	0	1	1	0	2	0	1	5
	構成比(%)	0.0	20.0	20.0	0.0	40.0	0.0	20.0	100.0
合計	回答数	8	15	7	0	14	0	5	49
	構成比(%)	16.3	30.6	14.3	0.0	28.6	0.0	10.2	100.0

(2) 取引シェア第1位の取引先との間の課題に関する質問への回答(続き)

[図3-2-9] 第1位の会社との間の課題の要因(仲卸業者)



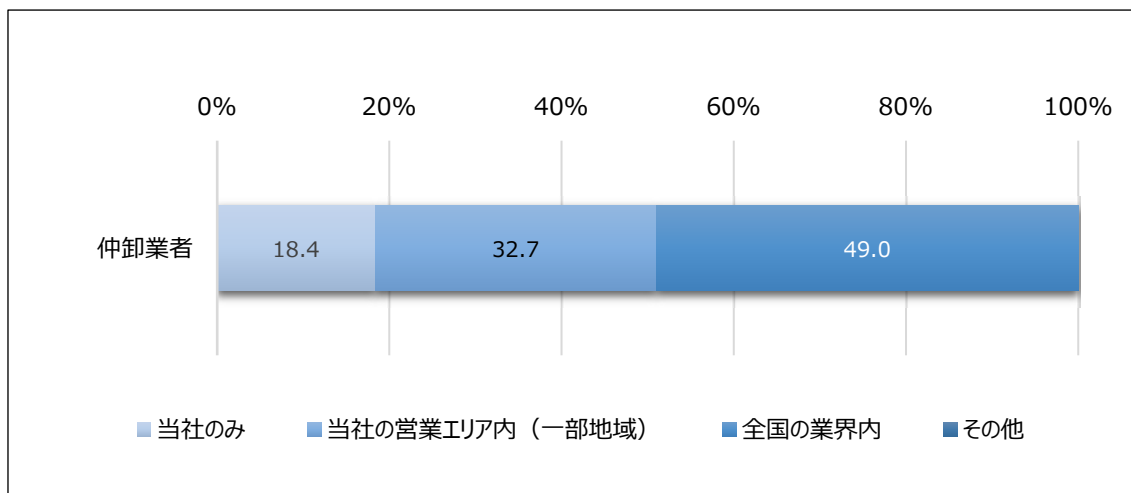
(2) 取引シェア第1位の取引先との間の課題に関する質問への回答(続き)

[表3-2-10] 第1位の会社との間の課題の範囲(仲卸業者)

	回 答 数					構 成 比 (%)				
	当社のみ	当社の営業エリア内 (一部地域)	全国の業界内	その他	合計	当社のみ	当社の営業エリア内 (一部地域)	全国の業界内	その他	合計
1. 取引価格や単価	4	6	4	0	14	28.6	42.9	28.6	0.0	100.0
2. 代金の減額(リベート等)	2	0	2	0	4	50.0	0.0	50.0	0.0	100.0
3. 代金の支払い遅延	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
4. 買いたたき	1	0	1	0	2	50.0	0.0	50.0	0.0	100.0
5. 納品時間、納品期限等の指定	0	1	1	0	2	0.0	50.0	50.0	0.0	100.0
6. 契約条件の明確化・協議	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
7. 物流コストの負担	1	1	4	0	6	16.7	16.7	66.7	0.0	100.0
8. センターフィー、受発注システム使用料の負担	0	1	5	0	6	0.0	16.7	83.3	0.0	100.0
9. 検品	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
10. 返品	1	3	6	0	10	10.0	30.0	60.0	0.0	100.0
11. 受領拒否	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
12. 労務の提供	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
13. 購入・利用強制	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
14. その他	0	4	1	0	5	0.0	80.0	20.0	0.0	100.0
合計	9	16	24	0	49	18.4	32.7	49.0	0.0	100.0

(2) 取引シェア第1位の取引先との間の課題に関する質問への回答(続き)

[図3-2-10] 第1位の会社との間の課題の範囲(仲卸業者)



(別添)

令和 6 年度のアンケート調査票

1. 食品製造事業者へのアンケート調査票（取引状況調査）

本アンケート調査を通して、食品等の取引・流通の実態（価格転嫁の状況、物流課題への対応、商慣習の実態、環境配慮の取組状況等）について調査を実施させていただき、少しでも課題解決となるよう取り組んでまいりたいと考えております。本アンケートの所要時間は約 15 分です。

無記名での回答となっておりますので、忌憚のないご意見を頂戴できますと幸いです。

● 貴社の概要

【問 1】 貴社の主な業種について、一つ選択してください。

- ☐ 食品製造事業者
- ☐ 食品卸売事業者 → 食品卸売事業者へのアンケート調査票へ
- ☐ 小売事業者 → 小売事業者へのアンケート調査票へ

【問 2】 貴社の業種について、「日本標準産業分類」の小分類名称から、最も売上の大きい業種を一つ選択してください。

- ☐ 畜産食料品製造業
- ☐ 水産食料品製造業
- ☐ 野菜缶詰・果実缶詰・農産保存食料品製造業
- ☐ 調味料製造業
- ☐ 糖類製造業
- ☐ 精穀・製粉製造業
- ☐ パン・菓子製造業
- ☐ 動植物油脂製造業
- ☐ でんぷん製造業
- ☐ めん類製造業
- ☐ 豆腐・油揚げ製造業
- ☐ 冷凍調理食品製造業
- ☐ レトルト食品製造業
- ☐ 他に分類されない食料品製造業
- ☐ 清涼飲料製造業
- ☐ 酒類製造業
- ☐ 茶・コーヒー製造業

【問 3】 貴社の本社が所在する地域を一つ選択してください。

- ☐ 北海道
- ☐ 東北（青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島）
- ☐ 関東（茨城、栃木、群馬、山梨、長野、埼玉、千葉、東京、神奈川）
- ☐ 北陸（新潟、富山、石川、福井）
- ☐ 東海（岐阜、静岡、愛知、三重）
- ☐ 近畿（滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山）
- ☐ 中四国（鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知）

☐ 九州（福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄）

【問４】 貴社の資本金について、一つ選択してください。

- ☐ 1,000 万円以下
☐ 1,000 万円超 5,000 万円以下
☐ 5,000 万円超 1 億円以下
☐ 1 億円超 3 億円以下
☐ 3 億円超

【問５】 貴社の売上高について、一つ選択してください。

- ☐ 1 億円以下
☐ 1 億円超 5 億円以下
☐ 5 億円超 10 億円以下
☐ 10 億円超 50 億円以下
☐ 50 億円超 100 億円以下
☐ 100 億円超

【問６】 貴社の従業員数について、一つ選択してください。

- ☐ 5人以下
☐ 5人超 20人以下
☐ 20人超 50人以下
☐ 50人超 100人以下
☐ 100人超 300人以下
☐ 300人超 1,000人以下
☐ 1,000人超

● 価格転嫁

【問７】 １年以内の価格転嫁の協議状況についてお答えください。（協議先の件数のうち最も割合の高いものを回答してください。）

	協議できた	協議できなかった	必要がないため協議 を申し入れていない	納品者(発注者)か ら協議の申し入れが あった
原材料費	☐	☐	☐	☐
エネルギーコスト	☐	☐	☐	☐
労務費	☐	☐	☐	☐
物流費	☐	☐	☐	☐

【問 8】 上記の質問の協議の反映状況について、一つずつ選択してください。

	概ね反映した (81～100%)	一部反映した (41～80%)	あまり反映しなかった (1～40%)	全く反映しなかった
原材料費	☐	☐	☐	☐
エネルギーコスト	☐	☐	☐	☐
労務費	☐	☐	☐	☐
物流費	☐	☐	☐	☐

【問 9】 運賃の値上げについて、物流事業者から申し入れがあった場合の反映状況について、一つ選択してください。

- ☐ 概ね反映した（81～100%）
- ☐ 一部反映した（41～80%）
- ☐ あまり反映しなかった（1～40%）
- ☐ 全く反映していない（0%）
- ☐ 全ての物流事業者から申し入れがなかった（物流事業者と契約していない場合を含む）

【問 10】 運賃の値上げについて、申し入れがなかった物流事業者への対応状況について、一つ選択してください。

- ☐ 自ら協議を申し入れた
- ☐ 自らは協議を申し入れていない
- ☐ 全ての物流事業者から申し入れがあった（申し入れがなかった物流事業者はいない）
- ☐ 物流事業者に配送を委託していない

● 物流

【問 11】 貴社が発荷主となる場合の納品先での荷待ち（30 分以上）の発生状況について、一つ選択してください。（納品先の件数のうち、最も割合の高いものを回答してください。）

- ☐ 頻繁に発生しており、常態化している
- ☐ 時々発生している
- ☐ 稀に発生している
- ☐ 全く発生していない

【問 12】 納品先での荷待ちの発生状況について、ここ 2～3 年の状況の変化について、一つ選択してください。（納品先の件数のうち、最も割合の高いものを回答してください。）

- ☐ 改善している
- ☐ 概ね改善している
- ☐ 変化していない
- ☐ やや悪化している
- ☐ 悪化している

【問 13】 納品先のトラック予約システムの整備状況について、一つ選択してください。（納品先の件数のうち、最も割合の高いものを回答してください。）

- ☐ 整備されている
- ☐ 今後整備される予定である
- ☐ 整備を検討されている
- ☐ 整備される予定は聞いていない

【問 14】 貴社が着荷主となる場合の荷待ち（30 分以上）の発生頻度について、一つ選択してください。

- ☐ 頻繁に発生しており、常態化している
- ☐ 時々発生している
- ☐ 稀に発生している
- ☐ 全く発生していない

【問 15】 貴社が着荷主となる場合の荷待ちの発生状況について、ここ 2 ～ 3 年の状況の変化について、一つ選択してください。

- ☐ 改善している
- ☐ 概ね改善している
- ☐ 変化していない
- ☐ やや悪化している
- ☐ 悪化している

【問 16】 貴社のトラック予約システムの整備状況について、一つ選択してください。

- ☐ 整備している
- ☐ 今後整備する予定である
- ☐ （整備を）検討中である
- ☐ 整備する予定はない → 【問 18】へ

【問 17】 上記で、「整備している」「今後整備する予定である」「検討中である」と回答した場合、貴社で導入した又は導入予定のトラック予約システムについて、選択してください（複数選択可）。

- ☐ MOVO Berth（株式会社 Hacobu）
- ☐ トラック簿（株式会社モノフル）
- ☐ N-torus（一般社団法人日本加工食品卸協会）
- ☐ telesa-reserve（株式会社 TSUNAGUTE）
- ☐ EPARK（株式会社 EPARK）
- ☐ その他（自由記述）

【問 18】 全体出荷量のうち、パレット輸送の割合について、一つ選択してください。

- ☐ ほぼパレット化できている（7 割以上）
- ☐ 半数近くパレット化できている（約 5 割）

- ☐ 一部パレット化できている（3割程度）
☐ ほとんどパレット化できていない（1割以下）
☐ パレット化できていない（0割） → 【問21】へ
☐ パレット化の必要がない → 【問21】へ

【問19】 上記で「ほぼパレット化できている」「半数近くパレット化できている」「一部パレット化できている」「ほとんどパレット化できていない」と回答した場合、出荷で使用しているパレットについて、およその割合（%）を数字で記入してください（使用していない場合は0と記載してください）。※合計が100（%）になるように入力してください。

パレットサイズ	割合（%）
T11 型（1,100x1,100mm）	
T12 型（1,200x1,000mm）	
P パレット(ビール)（900x1,100mm）	
その他のサイズのパレット	

【問20】 貴社の物流センターで使用しているパレットについて選択してください。（複数選択可）

- ☐ JPR（日本パレットレンタル株式会社）のレンタルパレットを使用している
☐ upr（ユーピーアール株式会社）のレンタルパレットを使用している
☐ 三甲リース株式会社のレンタルパレットを使用している
☐ 自社専用パレットを使用している
☐ その他（自由記述）

●商慣習の見直し及びデジタル化

【問21】 納品期限の状況について、一つ選択してください。

- ☐ 全ての商品が1/2ルールである
☐ 半分以上の商品が1/2ルールである
☐ 1/2ルールの商品もあるが半分以上は1/3ルールである
☐ 1/2ルールへの緩和はない
☐ 納品期限についてルールはない
☐ その他（自由記述）

【問22】 ここ2～3年の納品期限の状況の変化について、一つ選択してください。

- ☐ 改善している
☐ 概ね改善している
☐ 変化していない
☐ やや悪化している
☐ 悪化している

【問 23】 貴社の商品のうち、ドライ品（常温品）について、発注を受けてから納品するまでのリードタイムについて、下記の納品先ごとに、最も割合が高いものを選択してください。（該当しない場合には「扱っていない」を選択してください。）

納品先	リードタイム0日 (当日納品)	リードタイム1日 (翌日納品)	リードタイム2日	リードタイム3日	リードタイム4日以上	扱っていない
BtoB（工場等）	☐	☐	☐	☐	☐	☐
食品卸の物流センター	☐	☐	☐	☐	☐	☐
小売事業者の物流センター	☐	☐	☐	☐	☐	☐
店舗（スーパーマーケット、レストラン等）	☐	☐	☐	☐	☐	☐

【問 24】 貴社の商品のうち、日配品（チルド品）について、発注を受けてから納品するまでのリードタイムについて、下記の納品先ごとに、最も割合が高いものを選択してください。（該当しない場合には「扱っていない」を選択してください。）

納品先	リードタイム0日 (当日納品)	リードタイム1日 (翌日納品)	リードタイム2日	リードタイム3日	リードタイム4日以上	扱っていない
BtoB（工場等）	☐	☐	☐	☐	☐	☐
食品卸の物流センター	☐	☐	☐	☐	☐	☐
小売事業者の物流センター	☐	☐	☐	☐	☐	☐
店舗（スーパーマーケット、レストラン等）	☐	☐	☐	☐	☐	☐

【問 25】 貴社の商品のうち、冷凍品について、発注を受けてから納品するまでのリードタイムについて、下記の納品先ごとに、最も割合が高いものを選択してください。（該当しない場合には「扱っていない」を選択してください。）

納品先	リードタイム0日 (当日納品)	リードタイム1日 (翌日納品)	リードタイム2日	リードタイム3日	リードタイム4日以上	扱っていない
BtoB（工場等）	☐	☐	☐	☐	☐	☐
食品卸の物流センター	☐	☐	☐	☐	☐	☐
小売事業者の物流センター	☐	☐	☐	☐	☐	☐
店舗（スーパーマーケット、レストラン等）	☐	☐	☐	☐	☐	☐

【問 26】 ここ2～3年のリードタイムの状況の変化について、一つ選択してください。

- ☐ 改善している
☐ 概ね改善している
☐ 変化していない
☐ やや悪化している
☐ 悪化している

【問 27】 納品伝票の電子化について、一つ選択してください。

- ☐ 電子化が進んでいる
☐ 電子化が予定されている
☐ 全く進んでいない（紙伝票のままである）

【問 28】 伝票の電子化について、ここ2～3年の状況の変化について、一つ選択してください。

- ☐ 改善している
☐ 概ね改善している
☐ 変化していない
☐ やや悪化している
☐ 悪化している

【問 29】 貴社における ASN の導入状況について、一つ選択してください。

- ☐ 導入している
- ☐ 導入予定である → 【問 31】へ
- ☐ 検討中である → 【問 31】へ
- ☐ 導入予定はない → 【問 31】へ

【問 30】 上記で「導入している」と回答した場合、納品先との関係における ASN の活用状況について、一つ選択してください（取引先の件数における ASN の使用割合を回答してください）。

- ☐ 活用できている（81～100%）
- ☐ 概ね活用できている（61～80%）
- ☐ 半分くらい活用できている（41～60%）
- ☐ あまり活用できていない（21～40%）
- ☐ ほとんど活用できていない（1～20%）

●環境配慮

【問 31】 プラスチック汚染対策に関して、EU 包装規則を始め世界的にプラスチック使用に対する規制を設ける動きが強まっております。プラスチックの使用が規制されることにより、貴社の事業を行う上で影響が出る可能性があるか回答してください。

- ☐ 影響が出る可能性がある
- ☐ 影響は出ない → 【問 33】へ

【問 32】 上記で「影響が出る可能性がある」と回答した場合、どのような影響が出る可能性があるか回答してください。（複数選択可）

- ☐ 食品の品質保持機能の低下
- ☐ 代替資材に転換することによる包装容器の調達等コストの上昇
- ☐ 代替資材に転換することに伴うブランド価値の低下
- ☐ その他(自由記述)

【問 33】 プラスチックの使用に対する国際的な情勢について、どのような情報が必要か回答してください。（複数選択可）

- ☐ EU 等各国の国内規制の動向について（輸入品規制を含む）
- ☐ プラスチック条約制定の動向について
- ☐ その他(自由記述)

【問 34】 プラスチック排出削減に向けた取組を行っていますか。一つ選択してください。

- ☐ 取組をしている
- ☐ 検討中である → 【問 36】へ
- ☐ 取組をしていない → 【問 36】へ

【問 35】 上記で「取組をしている」と回答した場合、具体的な取組内容について回答してください（複数回答可）。

- ☐ プラスチック使用製品の設計に当たって、「プラスチック使用製品設計指針（減量化、包装の簡素化、単一素材化等）」に配慮したプラスチック製品を調達している
<https://plastic-circulation.env.go.jp/about/pro/seido>
- ☐ 貴社の目標として、プラスチック削減、リサイクル材使用率等を設定している
- ☐ 代替素材（バイオマスプラスチック、紙や缶への切り替え等）を使用している
- ☐ その他(自由記述)

【問 36】 フードバンク・子ども食堂への食品の寄附を行っていますか。一つ選択してください。

- ☐ 寄附を行っている → 【問 38】へ
- ☐ 寄附を行っていない

【問 37】 上記で「寄附を行っていない」と回答した場合、行わない理由（課題や問題点）について回答してください。（複数選択可）

- ☐ どのフードバンク・子ども食堂等に提供したらよいかわからない
- ☐ 提供後の食品が適切に保管・提供されるか懸念がある
- ☐ 食品無償提供はできるが、輸配送費及び倉庫代が負担である（廃棄処理と比べてコスト高）
- ☐ 提供先のフードバンク等のニーズや受入能力がわからない
- ☐ フードバンク等や配送業者との連絡調整が手間である
- ☐ その他(自由記述)

【問 38】 フードバンク・子ども食堂等への食品寄附実施可能の有無に関わらず、食品寄附に充てることが可能な未利用食品の量について回答してください。※「年間約〇〇トン」という回答になるよう数字を入力してください。

--

【問 39】 食品廃棄物の処理方法について再生利用等（肥料や家畜の飼料等として食品廃棄物をリサイクルすること）に取り組んでいますか。一つ選択してください。

- ☐ 取り組んでいる → 回答終了
- ☐ 取り組んでいない

【問 40】 上記で再生利用等に「取り組んでいない」と回答した場合、取り組まない理由（課題や問題点）について回答してください。（複数選択可）

- ☐ 食品リサイクル法で、再生利用等の目標が設定されており、食品関連事業者は再生利用等に取り組む必要があることを知らなかった、又はその意義を知らなかったから
- ☐ どの食品リサイクル業者と連携すればよいかわからないから
- ☐ 近くに食品リサイクル事業者がないから
- ☐ 横流し行為等への懸念がある
- ☐ 食品廃棄物をリサイクル用と廃棄に仕分けることが手間である
- ☐ その他(自由記述)

質問は以上です。アンケートフォーム（Microsoft Forms）よりご回答ください。

2. 食品卸売事業者へのアンケート調査票（取引状況調査）

本アンケート調査を通して、食品等の取引・流通の実態（価格転嫁の状況、物流課題への対応、商慣習の実態、環境配慮の取組状況等）について調査を実施させていただき、少しでも課題解決となるよう取り組んでまいりたいと考えております。本アンケートの所要時間は約 15 分です。

無記名での回答となっておりますので、忌憚のないご意見を頂戴できますと幸いです。

● 貴社の概要

【問 1】 貴社の主な業種について、一つ選択してください。

- ☐ 食品製造事業者 → 食品製造事業者へのアンケート調査票へ
- ☐ 食品卸売事業者
- ☐ 小売事業者 → 小売事業者へのアンケート調査票へ

【問 2】 貴社が扱っている商材について一つ選択してください。

- ☐ 一般消費者用酒類・食品
- ☐ 業務用酒類・食品
- ☐ 上記の両方

【問 3】 貴社の本社が所在する地域を一つ選択してください。

- ☐ 北海道
- ☐ 東北（青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島）
- ☐ 関東（茨城、栃木、群馬、山梨、長野、埼玉、千葉、東京、神奈川）
- ☐ 北陸（新潟、富山、石川、福井）
- ☐ 東海（岐阜、静岡、愛知、三重）
- ☐ 近畿（滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山）
- ☐ 中四国（鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知）
- ☐ 九州（福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄）

【問 4】 貴社の資本金について、一つ選択してください。

- ☐ 1,000 万円以下
- ☐ 1,000 万円超 5,000 万円以下
- ☐ 5,000 万円超 1 億円以下
- ☐ 1 億円超 3 億円以下
- ☐ 3 億円超

【問 5】 貴社の売上高について、一つ選択してください。

- ☐ 1 億円以下
- ☐ 1 億円超 5 億円以下
- ☐ 5 億円超 10 億円以下
- ☐ 10 億円超 50 億円以下
- ☐ 50 億円超 100 億円以下

☐ 100 億円超

【問 6】 貴社の従業員数について、一つ選択してください。

☐ 5人以下

☐ 5人超 20人以下

☐ 20人超 50人以下

☐ 50人超 100人以下

☐ 100人超 300人以下

☐ 300人超 1,000人以下

☐ 1,000人超

● 価格転嫁

【問 7】 1年以内の価格転嫁の協議状況についてお答えください。（協議先の件数のうち最も割合の高いものを回答してください。）

	協議できた	協議できなかった	必要がないため協議 を申し入れていない	納品者(発注者)から 協議の申し入れがあった
原材料費	☐	☐	☐	☐
エネルギーコスト	☐	☐	☐	☐
労務費	☐	☐	☐	☐
物流費	☐	☐	☐	☐

【問 8】 上記の質問の協議の反映状況について、一つずつ選択してください。

	概ね反映した (81～100%)	一部反映した (41～80%)	あまり反映しなかった (1～40%)	全く反映しなかった
原材料費	☐	☐	☐	☐
エネルギーコスト	☐	☐	☐	☐
労務費	☐	☐	☐	☐
物流費	☐	☐	☐	☐

【問 9】 運賃の値上げについて、物流事業者から申し入れがあった場合の反映状況について、一つ選択してください。

☐ 概ね反映した（81～100%）

☐ 一部反映した（41～80%）

☐ あまり反映しなかった（1～40%）

☐ 全く反映していない（0%）

☐ 全ての物流事業者から申し入れがなかった（物流事業者と契約していない場合を含む）

【問 10】 運賃の値上げについて、申し入れがなかった物流事業者への対応状況について、一つ選択してください。

- ☐ 自ら協議を申し入れた
- ☐ 自らは協議を申し入れていない
- ☐ 全ての物流事業者から申し入れがあった（申し入れがなかった物流事業者はいない）
- ☐ 物流事業者に配送を委託していない

●物流

【問 11】 貴社が発荷主となる場合の納品先での荷待ち（30 分以上）の発生状況について、一つ選択してください。（納品先の件数のうち、最も割合の高いものを回答してください。）

- ☐ 頻繁に発生しており、常態化している
- ☐ 時々発生している
- ☐ 稀に発生している
- ☐ 全く発生していない

【問 12】 納品先での荷待ちの発生状況について、ここ 2 ～ 3 年の状況の変化について、一つ選択してください。（納品先の件数のうち、最も割合の高いものを回答してください。）

- ☐ 改善している
- ☐ 概ね改善している
- ☐ 変化していない
- ☐ やや悪化している
- ☐ 悪化している

【問 13】 納品先のトラック予約システムの整備状況について、一つ選択してください。（納品先の件数のうち、最も割合の高いものを回答してください。）

- ☐ 整備されている
- ☐ 今後整備される予定である
- ☐ 整備を検討されている
- ☐ 整備される予定は聞いていない

【問 14】 貴社が着荷主となる場合の荷待ち（30 分以上）の発生頻度について、一つ選択してください。

- ☐ 頻繁に発生しており、常態化している
- ☐ 時々発生している
- ☐ 稀に発生している
- ☐ 全く発生していない

【問 15】 貴社が着荷主となる場合の荷待ちの発生状況について、ここ 2 ～ 3 年の状況の変化について、一つ選択してください。

- ☐ 改善している
- ☐ 概ね改善している
- ☐ 変化していない
- ☐ やや悪化している
- ☐ 悪化している

【問 16】 貴社のトラック予約システムの整備状況について、一つ選択してください。

- ☐ 整備している
- ☐ 今後整備する予定である
- ☐ （整備を）検討中である
- ☐ 整備する予定はない → 【問 18】へ

【問 17】 上記で、「整備している」「今後整備する予定である」「検討中である」と回答した場合、貴社で導入した又は導入予定のトラック予約システムについて、選択してください（複数選択可）。

- ☐ MOVO Berth（株式会社 Hacobu）
- ☐ トラック簿（株式会社モノフル）
- ☐ N-torus（一般社団法人日本加工食品卸協会）
- ☐ telesa-reserve（株式会社 TSUNAGUTE）
- ☐ EPARK（株式会社 EPARK）
- ☐ その他（自由記述）

【問 18】 全体出荷量のうち、パレット輸送の割合について、一つ選択してください。

- ☐ ほぼパレット化できている（7 割以上）
- ☐ 半数近くパレット化できている（約 5 割）
- ☐ 一部パレット化できている（3 割程度）
- ☐ ほとんどパレット化できていない（1 割以下）
- ☐ パレット化できていない（0 割） → 【問 21】へ
- ☐ パレット化の必要がない → 【問 21】へ

【問 19】 上記で「ほぼパレット化できている」「半数近くパレット化できている」「一部パレット化できている」「ほとんどパレット化できていない」と回答した場合、出荷で使用しているパレットについて、およその割合（％）を数字で記入してください（使用していない場合は0と記載してください）。※以下4問の合計が100（％）になるように入力してください。

パレットサイズ	割合（％）
T11 型（1,100x1,100mm）	
T12 型（1,200x1,000mm）	
P パレット(ビール)（900x1,100mm）	
その他のサイズのパレット	

【問 20】 貴社の物流センターで使用しているパレットについて選択してください。（複数選択可）

- ☐ JPR（日本パレットレンタル株式会社）のレンタルパレットを使用している
- ☐ upr（ユーピーアール株式会社）のレンタルパレットを使用している
- ☐ 三甲リース株式会社のレンタルパレットを使用している
- ☐ 自社専用パレットを使用している
- ☐ その他（自由記述）

●商慣習の見直し及びデジタル化

【問 21】 納品期限の状況について、一つ選択してください。

- ☐ 全ての商品が 1/2 ルールである
- ☐ 半分以上の商品が 1/2 ルールである
- ☐ 1/2 ルールの商品もあるが半分以上は 1/3 ルールである
- ☐ 1/2 ルールへの緩和はない
- ☐ 納品期限についてルールはない
- ☐ その他（自由記述）

【問 22】 ここ2～3年の納品期限の状況の変化について、一つ選択してください。

- ☐ 改善している
- ☐ 概ね改善している
- ☐ 変化していない
- ☐ やや悪化している
- ☐ 悪化している

【問 23】 貴社の商品のうち、ドライ品（常温品）について、発注を受けてから納品するまでのリードタイムについて、下記の納品先ごとに、最も割合が高いものを選択してください。（該当しない場合には「扱っていない」を選択してください。）

納品先	リードタイム0日 (当日納品)	リードタイム1日 (翌日納品)	リードタイム2日	リードタイム3日	リードタイム4日以上	扱っていない
BtoB（工場等）	☐	☐	☐	☐	☐	☐
食品卸の物流センター	☐	☐	☐	☐	☐	☐
小売事業者の物流センター	☐	☐	☐	☐	☐	☐
店舗（スーパーマーケット、レストラン等）	☐	☐	☐	☐	☐	☐

【問 24】 貴社の商品のうち、日配品（チルド品）について、発注を受けてから納品するまでのリードタイムについて、下記の納品先ごとに、最も割合が高いものを選択してください。（該当しない場合には「扱っていない」を選択してください。）

納品先	リードタイム0日 (当日納品)	リードタイム1日 (翌日納品)	リードタイム2日	リードタイム3日	リードタイム4日以上	扱っていない
BtoB（工場等）	☐	☐	☐	☐	☐	☐
食品卸の物流センター	☐	☐	☐	☐	☐	☐
小売事業者の物流センター	☐	☐	☐	☐	☐	☐
店舗（スーパーマーケット、レストラン等）	☐	☐	☐	☐	☐	☐

【問 25】 貴社の商品のうち、冷凍品について、発注を受けてから納品するまでのリードタイムについて、下記の納品先ごとに、最も割合が高いものを選択してください。（該当しない場合には「扱っていない」を選択してください。）

納品先	リードタイム0日 (当日納品)	リードタイム1日 (翌日納品)	リードタイム2日	リードタイム3日	リードタイム4日以上	扱っていない
BtoB（工場等）	☐	☐	☐	☐	☐	☐
食品卸の物流センター	☐	☐	☐	☐	☐	☐
小売事業者の物流センター	☐	☐	☐	☐	☐	☐
店舗（スーパーマーケット、レストラン等）	☐	☐	☐	☐	☐	☐

【問 26】 ここ2～3年のリードタイムの状況の変化について、一つ選択してください。

- ☐ 改善している
☐ 概ね改善している
☐ 変化していない
☐ やや悪化している
☐ 悪化している

【問 27】 納品伝票の電子化について、一つ選択してください。

- ☐ 電子化が進んでいる
☐ 電子化が予定されている
☐ 全く進んでいない（紙伝票のままである）

【問 28】 伝票の電子化について、ここ2～3年の状況の変化について、一つ選択してください。

- ☐ 改善している
☐ 概ね改善している
☐ 変化していない
☐ やや悪化している
☐ 悪化している

【問 29】 貴社における ASN の導入状況について、一つ選択してください。

- ☐ 導入している
- ☐ 導入予定である → 【問 31】へ
- ☐ 検討中である → 【問 31】へ
- ☐ 導入予定はない → 【問 31】へ

【問 30】 上記で「導入している」と回答した場合、貴社が発荷主となる場合の取引先との ASN の活用状況について、一つ選択してください（取引先の件数における ASN の使用割合を回答してください）。

- ☐ 活用できている（81～100%）
- ☐ 概ね活用できている（61～80%）
- ☐ 半分くらい活用できている（41～60%）
- ☐ あまり活用できていない（21～40%）
- ☐ ほとんど活用できていない（1～20%）

●環境配慮

【問 31】 プラスチック汚染対策に関して、EU 包装規則を始め世界的にプラスチック使用に対する規制を設ける動きが強まっております。プラスチックの使用が規制されることにより、貴社の事業を行う上で影響が出る可能性があるか回答してください。

- ☐ 影響が出る可能性がある
- ☐ 影響は出ない → 【問 33】へ

【問 32】 上記で「影響が出る可能性がある」と回答した場合、どのような影響が出る可能性があるか回答してください。（複数選択可）

- ☐ 食品の品質保持機能の低下
- ☐ 代替資材に転換することによる包装容器の調達等コストの上昇
- ☐ 代替資材に転換することに伴うブランド価値の低下
- ☐ その他(自由記述)

【問 33】 プラスチックの使用に対する国際的な情勢について、どのような情報が必要か回答してください。（複数選択可）

- ☐ EU 等各国の国内規制の動向について（輸入品規制を含む）
- ☐ プラスチック条約制定の動向について
- ☐ その他(自由記述)

【問 34】 プラスチック排出削減に向けた取組を行っていますか。一つ選択してください。

- ☐ 取組をしている
- ☐ 検討中である → 【問 36】へ
- ☐ 取組をしていない → 【問 36】へ

【問 35】 上記で「取組をしている」と回答した場合、具体的な取組内容について回答してください（複数回答可）。

- ☐ プラスチック使用製品の設計に当たって、「プラスチック使用製品設計指針（減量化、包装の簡素化、単一素材化等）」に配慮したプラスチック製品を調達している
<https://plastic-circulation.env.go.jp/about/pro/seido>
- ☐ 貴社の目標として、プラスチック削減、リサイクル材使用率等を設定している
- ☐ 代替素材（バイオマスプラスチック、紙や缶への切り替え等）を使用している
- ☐ その他(自由記述)

【問 36】 フードバンク・子ども食堂への食品の寄附を行っていますか。一つ選択してください。

- ☐ 寄附を行っている → 【問 38】へ
- ☐ 寄附を行っていない

【問 37】 上記で「寄附を行っていない」と回答した場合、行わない理由（課題や問題点）について回答してください。（複数選択可）

- ☐ どのフードバンク・子ども食堂等に提供したらよいかわからない
- ☐ 提供後の食品が適切に保管・提供されるか懸念がある
- ☐ 食品無償提供はできるが、輸配送費及び倉庫代が負担である（廃棄処理と比べてコスト高）
- ☐ 提供先のフードバンク等のニーズや受入能力がわからない
- ☐ フードバンク等や配送業者との連絡調整が手間である
- ☐ その他(自由記述)

【問 38】 フードバンク・子ども食堂等への食品寄附実施可能の有無に関わらず、食品寄附に充てることが可能な未利用食品の量について回答してください。※「年間約〇〇トン」という回答になるよう数字を入力してください。

--

【問 39】 食品廃棄物の処理方法について再生利用等（肥料や家畜の飼料等として食品廃棄物をリサイクルすること）に取り組んでいますか。一つ選択してください。

- ☐ 取り組んでいる → 回答終了
- ☐ 取り組んでいない

【問 40】 上記で再生利用等に「取り組んでいない」と回答した場合、取り組まない理由（課題や問題点）について回答してください。（複数選択可）

- ☐ 食品リサイクル法で、再生利用等の目標が設定されており、食品関連事業者は再生利用等に取り組む必要があることを知らなかった、又はその意義を知らなかったから
- ☐ どの食品リサイクル業者と連携すればよいかわからないから
- ☐ 近くに食品リサイクル事業者がないから
- ☐ 横流し行為等への懸念がある
- ☐ 食品廃棄物をリサイクル用と廃棄に仕分けることが手間である
- ☐ その他(自由記述)

質問は以上です。アンケートフォーム（Microsoft Forms）よりご回答ください。

3. 小売事業者へのアンケート調査票（取引状況調査）

本アンケート調査を通して、食品等の取引・流通の実態（価格転嫁の状況、物流課題への対応、商慣習の実態、環境配慮の取組状況等）について調査を実施させていただき、少しでも課題解決となるよう取り組んでまいりたいと考えております。本アンケートの所要時間は約 15 分です。

無記名での回答となっておりますので、忌憚のないご意見を頂戴できますと幸いです。

● 貴社の概要

【問 1】 貴社の主な業種について、一つ選択してください。

- ☐ 食品製造事業者 → 食品製造事業者の調査票へ
- ☐ 食品卸売事業者 → 食品卸売事業者の調査票へ
- ☐ 小売事業者

【問 2】 貴社の主な業種の詳細について、一つ選択してください。

- ☐ 百貨店
- ☐ 総合スーパー
- ☐ 食品スーパー
- ☐ コンビニエンスストア
- ☐ ディスカウントストア
- ☐ ドラッグストア
- ☐ 生協
- ☐ その他

【問 3】 貴社の本社が所在する地域を一つ選択してください。

- ☐ 北海道
- ☐ 東北（青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島）
- ☐ 関東（茨城、栃木、群馬、山梨、長野、埼玉、千葉、東京、神奈川）
- ☐ 北陸（新潟、富山、石川、福井）
- ☐ 東海（岐阜、静岡、愛知、三重）
- ☐ 近畿（滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山）
- ☐ 中四国（鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知）
- ☐ 九州（福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄）

【問 4】 貴社の資本金について、一つ選択してください。

- ☐ 1,000 万円以下
- ☐ 1,000 万円超 5,000 万円以下
- ☐ 5,000 万円超 1 億円以下
- ☐ 1 億円超 3 億円以下
- ☐ 3 億円超

【問 5】 貴社の売上高について、一つ選択してください。

- ☐ 1 億円以下
☐ 1 億円超 5 億円以下
☐ 5 億円超 10 億円以下
☐ 10 億円超 50 億円以下
☐ 50 億円超 100 億円以下
☐ 100 億円超

【問 6】 貴社の従業員数について、一つ選択してください。

- ☐ 5人以下
☐ 5人超 20人以下
☐ 20人超 50人以下
☐ 50人超 100人以下
☐ 100人超 300人以下
☐ 300人超 1,000人以下
☐ 1,000人超

● 価格転嫁

【問 7】 1 年以内の価格転嫁の協議状況についてお答えください。（協議先の件数のうち最も割合の高いものを回答してください。）

	協議できた	協議できなかった	必要がないため協議 を申し入れていない	納品者(発注者)か ら協議の申し入れが あった
原材料費	☐	☐	☐	☐
エネルギーコスト	☐	☐	☐	☐
労務費	☐	☐	☐	☐
物流費	☐	☐	☐	☐

【問 8】 上記の質問の協議の反映状況について、一つずつ選択してください。

	概ね反映した (81～100%)	一部反映した (41～80%)	あまり反映しなかった (1～40%)	全く反映しなかった
原材料費	☐	☐	☐	☐
エネルギーコスト	☐	☐	☐	☐
労務費	☐	☐	☐	☐
物流費	☐	☐	☐	☐

【問 9】 運賃の値上げについて、物流事業者から申し入れがあった場合の反映状況について、一つ選択してください。

- ☐ 概ね反映した（81～100%）
- ☐ 一部反映した（41～80%）
- ☐ あまり反映しなかった（1～40%）
- ☐ 全く反映していない（0%）
- ☐ 全ての物流事業者から申し入れがなかった（物流事業者と契約していない場合を含む）

【問 10】 運賃の値上げについて、申し入れがなかった物流事業者への対応状況について、一つ選択してください。

- ☐ 自ら協議を申し入れた
- ☐ 自らは協議を申し入れていない
- ☐ 全ての物流事業者から申し入れがあった（申し入れがなかった物流事業者はいない）
- ☐ 物流事業者に配送を委託していない

●物流

【問 11】 貴社の物流センターの利用状況について、選択してください。

- ☐ 利用している
- ☐ 利用していない → 【問 13】へ

【問 12】 貴社で利用している物流センター（食品）のみで該当するものを選択してください（複数選択可）。

- ☐ 自社所有の物流センター
- ☐ 他社所有の物流センター（専用センター）
- ☐ 他社所有の物流センター（汎用センター）
- ☐ その他

【問 13】 貴社が着荷主となる場合の荷待ち（30 分以上）の発生頻度について、一つ選択してください（貴社の物流センターのうち最も割合の高いものを回答してください）。

- ☐ 頻繁に発生しており、常態化している
- ☐ 時々発生している
- ☐ 稀に発生している
- ☐ 全く発生していない

【問 14】 貴社が着荷主となる場合の荷待ちの発生状況について、ここ 2 ～ 3 年の状況の変化について、一つ選択してください。

- ☐ 改善している
- ☐ 概ね改善している
- ☐ 変化していない

- ☐ やや悪化している
- ☐ 悪化している

【問 15】 貴社のトラック予約システムの整備状況について、一つ選択してください。

- ☐ 整備している
- ☐ 今後整備する予定である
- ☐ （整備を）検討中である
- ☐ 整備する予定はない → 【問 17】へ

【問 16】 上記で、「整備している」「今後整備する予定である」「検討中である」と回答した場合、貴社で導入した又は導入予定のトラック予約システムについて、選択してください（複数選択可）。

- ☐ MOVO Berth（株式会社 Hacobu）
- ☐ トラック簿（株式会社モノフル）
- ☐ N-torus（一般社団法人日本加工食品卸協会）
- ☐ telesa-reserve（株式会社 TSUNAGUTE）
- ☐ EPARK（株式会社 EPARK）
- ☐ その他（自由記述）

【問 17】 物流センターの入荷量のうち、パレット輸送の割合について、一つ選択してください。

- ☐ ほぼパレット化できている（7割以上）
- ☐ 半数近くパレット化できている（約5割）
- ☐ 一部パレット化できている（3割程度）
- ☐ ほとんどパレット化できていない（1割以下）
- ☐ パレット化できていない（0割） → 【問 20】へ
- ☐ パレット化の必要がない → 【問 20】へ

【問 18】 上記で「ほぼパレット化できている」「半数近くパレット化できている」「一部パレット化できている」「ほとんどパレット化できていない」と回答した場合、入荷時に使用されているパレットについて、およその割合（%）を数字で記入してください（使用していない場合は0と記載してください）。※合計が100（%）になるように入力してください。

パレットサイズ	割合（%）
T11 型（1,100x1,100mm）	
T12 型（1,200x1,000mm）	
P パレット(ビール)（900x1,100mm）	
その他のサイズのパレット	

【問 19】 貴社の物流センターで使用しているパレットについて選択してください。（複数選択可）

- ☐ JPR（日本パレットレンタル株式会社）のレンタルパレットを使用している
- ☐ upr（ユーピーアール株式会社）のレンタルパレットを使用している
- ☐ 三甲リース株式会社のレンタルパレットを使用している
- ☐ 自社専用パレットを使用している
- ☐ その他（自由記述）

●商慣習の見直し及びデジタル化

【問 20】 貴社における納品期限の状況について、一つ選択してください。

- ☐ 全ての商品が 1/2 ルールである → 【問 22】へ
- ☐ 半分以上の商品が 1/2 ルールである
- ☐ 1/2 ルールの商品もあるが半分以上は 1/3 ルールである
- ☐ 1/2 ルールへの緩和はない → 【問 22】へ
- ☐ 納品期限についてルールはない → 【問 22】へ
- ☐ その他（自由記述） → 【問 22】へ

【問 21】 上記で「半分以上の商品が 1/2 ルールである」及び「1/2 ルールの商品もあるが半分以上は 1/3 ルールである」を選択した場合、対象となるカテゴリーについて選択してください（複数回答可）。

- ☐ ドライ品（常温品）で採用している
- ☐ 日配品（チルド品）で採用している
- ☐ 冷凍品で採用している
- ☐ その他（自由記述）

【問 22】 ここ 2～3 年の納品期限の状況の変化について、一つ選択してください。

- ☐ 改善している
- ☐ 概ね改善している
- ☐ 変化していない
- ☐ やや悪化している
- ☐ 悪化している

【問 23】 貴社の商品について、発注を受けてから納品されるまでのリードタイムについて、下記の商品ごとに、最も割合が高いものを選択してください。（該当しない場合には「扱っていない」を選択してください。）

納品先	リードタイム0日 (当日納品)	リードタイム1日 (翌日納品)	リードタイム2日	リードタイム3日	リードタイム4日以上	扱っていない
ドライ品（常温品）	☐	☐	☐	☐	☐	☐
日配品（チルド品）	☐	☐	☐	☐	☐	☐
冷凍品	☐	☐	☐	☐	☐	☐
ドライ品（常温品）	☐	☐	☐	☐	☐	☐

【問 24】 ここ2～3年のリードタイムの状況の変化について、一つ選択してください。

- ☐ 延長している
☐ 変化していない
☐ 短縮している

【問 25】 貴社が着荷主となる場合の納品伝票の電子化について、一つ選択してください。

- ☐ 電子化が進んでいる
☐ 電子化が予定されている
☐ 全く進んでいない（紙伝票のままである）

【問 26】 伝票の電子化について、ここ2～3年の状況の変化について、一つ選択してください。

- ☐ 改善している
☐ 概ね改善している
☐ 変化していない
☐ やや悪化している
☐ 悪化している

【問27】 貴社が着荷主となる場合の取引先とのASNの活用状況について、一つ選択してください（取引先の件数におけるASNの使用割合を回答してください）。

- ☐ 活用できている（81～100%）
- ☐ 概ね活用できている（61～80%）
- ☐ 半分かくらい活用できている（41～60%）
- ☐ あまり活用できていない（21～40%）
- ☐ ほとんど活用できていない（1～20%）

【問28】 貴社における自動発注システムの導入状況について、一つ選択してください。

- ☐ 導入している
- ☐ 検討中である
- ☐ 導入していない

【問29】 貴社におけるDX化に向けた取組状況について、選択してください（複数回答可）。

- ☐ AI による需要予測システム
- ☐ AI による値引き支援システム
- ☐ 電子棚札
- ☐ セルフレジ
- ☐ セミセルフレジ
- ☐ その他（自由記述）

●環境配慮

【問 30】 プラスチック汚染対策に関して、EU 包装規則を始め世界的にプラスチック使用に対する規制を設ける動きが強まっております。プラスチックの使用が規制されることにより、貴社の事業を行う上で影響が出る可能性があるか回答してください。

- ☐ 影響が出る可能性がある
- ☐ 影響は出ない → 【問 32】へ

【問 31】 上記で「影響が出る可能性がある」と回答した場合、どのような影響が出る可能性があるか回答してください。（複数選択可）

- ☐ 食品の品質保持機能の低下
- ☐ 代替資材に転換することによる包装容器の調達等コストの上昇
- ☐ 代替資材に転換することに伴うブランド価値の低下
- ☐ その他(自由記述)

【問 32】 プラスチックの使用に対する国際的な情勢について、どのような情報が必要か回答してください。（複数選択可）

- ☐ EU 等各国の国内規制の動向について（輸入品規制を含む）
- ☐ プラスチック条約制定の動向について
- ☐ その他(自由記述)

【問 33】 プラスチック排出削減に向けた取組を行っていますか。一つ選択してください。

- ☐ 取組をしている
- ☐ 検討中である → 【問 35】へ
- ☐ 取組をしていない → 【問 35】へ

【問 34】 上記で「取組をしている」と回答した場合、具体的な取組内容について回答してください（複数回答可）。

- ☐ プラスチック使用製品の設計に当たって、「プラスチック使用製品設計指針（減量化、包装の簡素化、単一素材化等）」に配慮したプラスチック製品を調達している
<https://plastic-circulation.env.go.jp/about/pro/seido>
- ☐ 貴社の目標として、プラスチック削減、リサイクル材使用率等を設定している
- ☐ 代替素材（バイオマスプラスチック、紙や缶への切り替え等）を使用している
- ☐ その他(自由記述)

【問 35】 フードバンク・子ども食堂への食品の寄附を行っていますか。一つ選択してください。

- ☐ 寄附を行っている → 【問 37】へ
- ☐ 寄附を行っていない

【問 36】 上記で「寄附を行っていない」と回答した場合、行わない理由（課題や問題点）について回答してください。（複数選択可）

- ☐ どのフードバンク・子ども食堂等に提供したらよいかわからない
- ☐ 提供後の食品が適切に保管・提供されるか懸念がある
- ☐ 食品無償提供はできるが、輸配送費及び倉庫代が負担である（廃棄処理と比べてコスト高）
- ☐ 提供先のフードバンク等のニーズや受入能力がわからない
- ☐ フードバンク等や配送業者との連絡調整が手間である
- ☐ その他(自由記述)

【問 37】 フードバンク・子ども食堂等への食品寄附実施可能の有無に関わらず、食品寄附に充てることが可能な未利用食品の量について回答してください。※「年間約〇〇トン」という回答になるよう数字を入力してください。

--

【問 38】 食品廃棄物の処理方法について再生利用等（肥料や家畜の飼料等として食品廃棄物をリサイクルすること）に取り組んでいますか。一つ選択してください。

- ☐ 取り組んでいる → 回答終了
- ☐ 取り組んでいない

【問 39】 上記で再生利用等に「取り組んでいない」と回答した場合、取り組まない理由（課題や問題点）について回答してください。（複数選択可）

- ☐ 食品リサイクル法で、再生利用等の目標が設定されており、食品関連事業者は再生利用等に取り組む必要があることを知らなかった、又はその意義を知らなかったから
- ☐ どの食品リサイクル業者と連携すればよいかわからないから
- ☐ 近くに食品リサイクル事業者がないから
- ☐ 横流し行為等への懸念がある
- ☐ 食品廃棄物をリサイクル用と廃棄に仕分けることが手間である
- ☐ その他(自由記述)

質問は以上です。アンケートフォーム（Microsoft Forms）よりご回答ください。

4. 仲卸業者へのアンケート調査票（生鮮取引適正化ガイドラインフォローアップ調査）

●回答事業者様の企業規模

【問1】 貴社の資本金額について御回答ください。（百万円）

【問2】 貴社の従業員数について御回答ください。（人）

●生鮮ガイドラインの定着状況

【問3】 令和6年3月に農林水産省は「卸売市場の仲卸業者等と小売業者との間における生鮮食料品等の取引の適正化に関するガイドライン（別添）」をとりまとめ、現在、その普及・啓発を行っているところですが、本ガイドラインの認知状況をお伺いしたく存じます。該当する□にチェック（✓）を入れてください。

- ☐ 知っていた
☐ 知らなかった → 【問6】へ

【問4】 問3で「知っていた」と回答された方にお聞きます。該当する□にチェック（✓）を入れてください。

- ☐ 社内で周知している
☐ 取引先に伝えている
☐ 取引先から本ガイドラインを受けて協議の申出があった

【問5】 問3で「知っていた」と回答された方にお聞きます。以下のうち、本ガイドラインや小売事業者との協議により取引の改善が図られたと感じている項目の□にチェック（✓）を入れてください。（複数回答可）

- ☐ 小売事業者からの不当な返品
（例：一部の品質が悪いとの理由、バーコードや値札シール貼付後、納品後一定期間後の返品）
- ☐ 納品価格の不当な引き下げ
（例：セール時の一律の値引き、別の取引先価格を引き合いにした値下げ）
- ☐ 物流費・エネルギーコスト等上昇時の取引価格の一方的な決定
（例：労務費等の高騰を資料に基づく要請に反した一方的な価格の据え置き、季節商品の値上げ要請に速やかに対応しない）
- ☐ 説明のないリベートの負担の要請
（例：使途不明、算定根拠のない協賛金・物流費の要請、会費等の要求を断った際の取引打ち切り）
- ☐ 一方的なセンターフィー等の負担の要請
（例：明確な説明がないセンターフィーの設定料率変更）

- ☐ 受発注システム使用料の過度な徴収
(例：取引開始条件としてのオンラインシステム開発費用や月次使用料の負担要請)
- ☐ 物の購入要請
(例：恵方巻等イベントの商品購入の催促や取引打ち切りのほのめかし)
- ☐ 従業員派遣や役務の提供の過度な要請
(例：店舗新規開店時の従業員派遣や人件費の負担要請)
- ☐ 十分に説明のない取引条件の変更
(例：店舗への急なサービスでの配送依頼、これまでにない色むらの指摘を理由とした価格引き下げ、産地が異なるだけでの返品)
- ☐ その他（自由記載）

●第1位の取引先との間の課題

貴社が取引されている事業者のうち、最も売上高の高い会社（以下「第1位の会社」とします。）についてお伺いします。

【問6】第1位の会社との取引関係における貴社の課題について、該当する☐にチェック（✓）を入れてください。

☐ ある

☐ 特にない → 【問15】へ

【問7～11】問6で「ある」と回答された方にお聞きます。第1位の会社との取引関係における貴社の課題について、各項目の該当する☐にチェック（✓）を入れてください。

注1：「内容」は、以下の＜選択項目の概要＞を参考に選択してください。

注2：「理由」は、課題となっている理由を可能な範囲で具体的に記入してください。

注3：「要因」は、課題を改善することが出来ない要因を選択してください。

注4：各項目で「その他」を選択した場合、（ ）内に可能な範囲で具体的に記入してください。

	項 目 （貴社として最も大きな課題を一つ選択してください）
【問7】 内容	☐ 取引価格や単価 ☐ 代金の支払遅延 ☐ 納品時間・期限等の指定 ☐ 物流コストの負担 ☐ 検品 ☐ 過度の情報開示 ☐ 購入・利用強制 ☐ 代金の減額（リベート等） ☐ 買ったたき ☐ 契約条件の明確化・協議 ☐ センターフィー・受発注システム使用料の負担 ☐ 返品 ☐ PB商品の契約 ☐ その他 ☐ 受領拒否 ☐ 労務の提供 ＜その他の場合、具体的に記入してください＞ → { }

【問 8】 頻度	☐ しばしば（同じ事が何度も重なって行われる） ☐ とときどき（ある時間を置いて繰り返される） ☐ まれに（非常に少ない） ☐ その他 <その他の場合、具体的に記入してください> → [	]
【問 9】 理由	<具体的に記入してください> → [	]
【問 10】 要因	☐ 昔からの商習慣により担当者は改善が必要という認識が低い ☐ 取引関係において対応等を断ることが困難 ☐ 他社との差別化のために多少、無理な対応を提案 ☐ 契約書等の書面で合意されている内容 ☐ 業界全体の課題等であるため個々の事業者では改善が困難 ☐ 国等からの規制（賞味期限など） ☐ その他 <その他の場合、具体的に記入してください> → [	]
【問 11】 範囲	☐ 当社のみ ☐ 当社の営業エリア内（一部地域） ☐ 全国の業界内 ☐ その他 <その他の場合、具体的に記入してください> → [	]

<選択項目の概要>

	選択項目	概 要
課題の内容	● 取引価格や単価	→ 原料相場が高騰しているが納品する商品価格は据置きされ、コストの上乗せでの価格の交渉に応じてくれない など
	● 代金の減額（リベート等）	→ 当方の責めに帰すべき理由もなく、先方の都合によりあらかじめ定めた代金が減額される、セールへの協力、リベートやバックマージン等の請求がある など
	● 代金の支払遅延	→ 商品を受領後に定められた支払期日までに代金が支払われない など
	● 買ったとき	→ 類似商品の価格や流通している市場価格に比べ著しく低い代金を定められる など
	● 納品時間・期限等の指定	→ 指定時間が限定的かつ短い、又は賞味期限に関する 1 / 3 ルール等を踏まえた過剰な納品期限を設定した納品を求められる など
	● 契約条件の明確化・協議	→ 契約条件が曖昧なまま負担の要請や納品条件を指示される、コスト上昇分の取引価格への上乗せを了承しても取引数量を曖昧なままにされて後日、実質的に取引の停止と言えるほど減らされてしまう など

● 物流コストの負担	→ トラックドライバー不足等により配送コストが増加しているが値上げ交渉を拒まれ、自社でコスト増加分を負担している など
● センターフィー、受発注システム使用料の負担	→ 物流センターのセンターフィーや受発注システムの使用料を合理的な根拠が示されることなく徴収される など
● 検品	→ 過剰な条件等による検品を求められる など
● 返品	→ 商品を受領後、当方に責任のある不良品等以外のものを返品される など
● 受領拒否	→ 先方の指示等により注文された商品について当方に責任がないのに受領を拒まれる など
● 労務の提供	→ 先方の業務等に対し当方の従業員派遣など労務の提供を求められる など
● 購入・利用強制	→ 先方が指定する物品や役務を強制的に購入又は利用することを求められる など

【問 12】第 1 位の会社の業態について、該当する ☐ にチェック（✓）を入れてください。

- ☐ 百貨店
☐ 総合スーパー
☐ 食料品スーパー
☐ コンビニエンスストア
☐ ディスカウントストア
☐ ドラッグストア
☐ 生協
☐ ホームセンター
☐ 外食チェーン（ファミリーレストラン、ファストフード店等）
☐ その他個人経営飲食店等（寿司店、洋食店、中華料理店等）
☐ その他

※ ①その他を選択した場合、具体的な業態名を記入してください。

【問 13】第 1 位の会社への取引依存度について、該当する ☐ にチェック（✓）を入れてください。

- ☐ 高（貴社全体の売上高に占める第一位の会社の売上高が 7 割以上くらい）
☐ 中（貴社全体の売上高に占める第一位の会社の売上高が 3 割以上 7 割未満くらい）
☐ 低（貴社全体の売上高に占める第一位の会社の売上高が 3 割未満くらい）

【問 14】第 1 位の会社の取引年数について、該当する ☐ にチェック（✓）を入れてください。

- ☐ 5 年以下
☐ 5 年超～15 年以下
☐ 15 年超

● 商慣行の「働き方」への影響

【問 15】商慣行と働き方の関連についてお聞きます。取引先の都合で、自社の社員の勤務時間や休暇に影響が生じていたり、課題と考えていることがあれば、ご記入下さい。（自由記載）

【社員の働き方に影響が出ている例】

- ・発注期限を 19 時としているところ、量販店が期限を守らず、社員の残業が発生している。
- ・オンライン取引システムを導入したが、出荷者の納品伝票や顧客の発注書の一部に FAX が使われているため、社員が出社して確認し、データ入力が必要となっている。
- ・事前に打ち合わせして数量を決めていたにも関わらず、週末のセールが好調で欠品が発生したため、休暇中の社員の携帯電話に連絡し、発送のため、運送業者の手配をさせる。

【社員の働き方で課題と感じている例】

- ・社員の残業を減らすため、量販店の発注期限を前倒しにしたいが、取引先の心証を悪くしそうで交渉できない。
- ・社員の勤務時間外又は休日に発注を受ける場合は、連絡拒否か追加料金を取りたいが、取引を止められたり、取引量を減らされたりするのが怖く、交渉できない。

…… 本アンケート調査に御協力をいただきまして、ありがとうございました。 ……

5. 小売事業者へのアンケート調査票（生鮮取引適正化ガイドラインフォローアップ調査）

● 回答事業者様の企業規模

【問1】貴社の資本金額について御回答ください。（百万円）

【問2】貴社の従業員数について御回答ください。（人）

● 生鮮ガイドラインの定着状況

【問3】令和6年3月に農林水産省は「卸売市場の仲卸業者等と小売業者との間における生鮮食料品等の取引の適正化に関するガイドライン（別添）」をとりまとめ、現在、その普及・啓発を行っているところですが、本ガイドラインの認知状況をお伺いしたく存じます。該当する□にチェック（✓）を入れてください。

- ☐ ガイドラインを知っていた
☐ ガイドラインを知らなかった → 【問6】へ

【問4】問3で「知っていた」と回答された方にお聞きます。該当する□にチェック（✓）を入れてください。

- ☐ 社内で周知している
☐ 取引先に伝え、協議している
☐ 取引先から本ガイドラインを受けて協議の申出があった

【問5】問3で「知っていた」と回答された方にお聞きます。以下のうち、本ガイドラインや仲卸業者等の協議を受けて取引の改善が図れた項目の□にチェック（✓）を入れてください（複数回答可）。改善が必要と考える事案がない場合は、冒頭にチェック（✓）を入れてください。

また、取引先との間で以下のような取引上の問題が生じないよう、貴社で取り組まれている事例がありましたら、「その他」の□にチェック（✓）を入れ、その内容をご記載下さい。

なお、選択肢の文言は本ガイドラインから引用しております。

- ☐ 取引の改善が必要と考える事案はない

【取引の改善が図られた事案】

- ☐ 仲卸業者等への不当な返品
（例：一部の品質が悪いとの理由、バーコードや値札シール貼付後、納品後一定期間後の返品）
☐ 納品価格の不当な引き下げ
（例：セール時の一律の値引き、別の取引先価格を引き合いにした値下げ）
☐ 物流費・エネルギーコスト等上昇時の取引価格の一方的な決定
（例：労務費等の高騰を資料に基づく要請に反した一方的な価格の据え置き、季節商品の値上げ要請に速やかに対応しない）

- ☐ 説明のないリベートの負担の要請
(例：使途不明、算定根拠のない協賛金・物流費の要請、会費等の要求を断った際取引打ち切り)
- ☐ 一方的なセンターフィー等の負担の要請
(例：明確な説明がないセンターフィーの設定料率変更)
- ☐ 受発注システム使用料の過度な徴収
(例：取引開始条件としてのオンラインシステム開発費用や月次使用料の負担要請)
- ☐ 物の購入要請
(例：恵方巻等イベントの商品購入の催促や取引打ち切りのほのめかし)
- ☐ 従業員派遣や役務の提供の過度な要請
(例：店舗新規開店時の従業員派遣や人件費の負担要請)
- ☐ 十分に説明のない取引条件の変更
(例：店舗への急なサービスでの配送依頼、これまでにない色むらの指摘を理由とした価格引き下げ、産地が異なるだけでの返品)
- ☐ その他（自由記載）

●第1位の取引先との間の課題

貴社が取引されている事業者のうち、最も生鮮食料品の取引額の大きい会社（以下「第1位の会社」とします。）についてお伺いします。

【問 6】第 1 位の会社との取引関係における貴社の課題について、該当する□にチェック（✓）を入れてください。

- ☐ ある
- ☐ 特にない → 【問 12】へ

【問 7】問 6 で「ある」と回答された方にお聞きます。貴社と第 1 位の会社との取引関係において以下の＜選択項目の概要＞に列挙した内容のうち、貴社で対策を取っているもの（取引先からの申入れ等を受けたものを含む）があれば、1 つを選択して御回答下さい。

注：「内容」は、以下の＜選択項目の概要＞を参考に選択してください。

	項 目
【問 7】 内容	☐ 取引価格や単価 ☐ 代金の減額（リベート等） ☐ 代金の支払遅延 ☐ 買ったたき ☐ 納品時間・期限等の指定 ☐ 契約条件の明確化・協議 ☐ 物流コストの負担 ☐ センターフィー・受発注システム使用料の負担 ☐ 検品 ☐ 返品 ☐ 受領拒否 ☐ 労務の提供 ☐ 購入・利用強制 ☐ その他 <その他の場合、具体的に記入してください> → [

＜選択項目の概要＞

	選択項目	概要
課題の内容	● 取引価格や単価	→ 原料相場が高騰しているが納品する商品価格を据え置き、コストを上乗せした価格での交渉に応じない など
	● 代金の減額（リベート等）	→ 仲卸業者等の責めに帰すべき理由もなく、あらかじめ定めた代金を減額する、セー ールへの協力、リベートやバックマージン等の請求をする など
	● 代金の支払遅延	→ 商品を受領後に定められた支払期日までに代金を支払わない など
	● 買いたたき	→ 類似商品の価格や流通している市場価格に比べ著しく低い代金を定める など
	● 納品時間・期限等の指定	→ 指定時間が限定的かつ短い、又は賞味期限に関する 1 / 3 ルール等を踏まえ た納品期限を設定した納品を求める など
	● 契約条件の明確化・協議	→ 契約条件が曖昧なまま経費負担を要請したり納品条件を指示する。コスト上昇 分の取引価格への上乗せを了承しても取引数量を曖昧なままにして後日、実 質的に取引の停止と言えるほど減らす。仲卸業者等の責めに帰すべき理由もな く取引数量を減らす など

● 物流コストの負担	→ トラックドライバー不足等により配送コストが増加しているが値上げ交渉を拒み、仲卸業者等にコスト増加分を負担させる など
● センターフィー、受発注システム使用料の負担	→ 物流センターのセンターフィーや受発注システムの使用料を合理的な根拠を示すことなく徴収している など
● 検品	→ 過剰な条件等による検品を求めている など
● 返品	→ 商品を受領後、仲卸業者等に責任のある不良品等以外のものを返品する など
● 受領拒否	→ 小売事業者の指示等により注文した商品について仲卸業者等に責任がないのに受領を拒む など
● 労務の提供	→ 小売事業者の業務等に対し仲卸業者等の従業員派遣など労務の提供を求める（新店舗開業の際の人員派遣等） など
● 購入・利用強制	→ 小売事業者が指定する物品や役務を強制的に購入又は利用することを求める（恵方巻の購入、試食販売の販売員手配等） など

【問 8】問 6 で「ある」と回答された方にお聞きます。具体的にどのような対策を取られたか、ご記載下さい（自由記載）

【問 9】第 1 位の会社の業態について、該当する□にチェック（✓）を入れてください。

- ☐ 仲卸業者
☐ 卸売業者
☐ JA
☐ 農業生産法人
☐ 生産者個人
☐ 食品製造事業者
☐ 食品卸売事業者
☐ その他

※ 「その他」を選択した場合、具体的な業態名を記入してください。

【問 10】第 1 位の会社との取引の割合について、該当する□にチェック（✓）を入れてください。

- ☐ 大（貴社の生鮮食料品売上高に占める第一位の会社の売上高が 7 割以上くらい）
☐ 中（貴社の生鮮食料品売上高に占める第一位の会社の売上高が 3 割以上 7 割未満くらい）
☐ 小（貴社の生鮮食料品売上高に占める第一位の会社の売上高が 3 割未満くらい）

【問 11】第 1 位の会社との取引年数について、該当する□にチェック（✓）を入れてください。

- ☐ 5 年以下
- ☐ 5 年超～15 年以下
- ☐ 15 年超

● 商慣行の「働き方」への影響

【問 12】商慣行と働き方の関連についてお聞きます。取引先との関係で、貴社がすでに取り組んでいる又は、改善できると考えている取組があれば、ご記入下さい。（自由記載）

【取引先社員の働き方に影響が出ている例】

- ・仲卸業者等の発注期限が 19 時となっているのに、発注期限を守れておらず、仲卸業者等の残業が発生したことから、発注期限を厳守するよう社内ルールを整備した。
- ・仲卸業者等がオンライン取引システムを導入したが、発注書の一部に FAX を使っているため、仲卸業者等の社員が出社して確認し、データ入力を行う作業が必要となっていることから、FAX の使用を取りやめた。
- ・仲卸業者等と事前に打ち合わせしていて数量を決めていたにも関わらず、週末のセールが好調で欠品が発生した場合は休暇中の仲卸業者等には連絡せず、別の店舗や在庫を使って調整する。【取引先社員の働き方で課題と感じている例】
- ・仲卸業者等の残業を減らすため、発注期限の前倒し交渉の受け入れや、提案をしている。
- ・仲卸業者等の勤務時間外又は休日に発注する場合は、連絡しないか追加料金を支払う取り決めになっている。

…… 本アンケート調査に御協力をいただきまして、ありがとうございました。 ……